

令和6年度

文化芸術への意識に関する  
アンケート調査

報 告 書

令和6年11月

千 葉 県



# 目 次

調査の概要	1
調査の結果	13
1. 鑑賞について	15
(1) 昨年度に鑑賞した文化芸術	15
(2) 文化芸術を鑑賞した理由	19
(3) 文化芸術を鑑賞した場所	22
(4) 昨年度の鑑賞頻度	26
(5) コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減	28
(6) コロナ禍前と比べた鑑賞についての変化（自由記述の集計）	30
(7) 鑑賞した回数や内容の満足度	31
(8) 「満足できた」理由	33
(9) 「満足できなかった」理由	35
(10) 文化芸術を鑑賞しなかった理由	38
(11) 昨年度鑑賞しなかった方の普段の余暇活動（自由記述の集計）	41
2. 自分自身の参加・出演について	42
(1) 文化芸術活動を行うことへの興味・関心	42
(2) 文化芸術活動の実施の有無	44
(3) 実施しているジャンル	46
(4) 文化芸術活動を始めた理由	50
(5) コロナ禍前と比べた活動についての変化（自由記述の集計）	53
(6) 文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点	54
(7) 文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル	57
(8) 文化芸術活動を行っていない理由	61
3. 各地域における伝統芸能について	64
(1) 居住地域において継承されている伝統芸能の有無	64
(2) 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向	66
(3) 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由	68
(4) 居住地域以外での伝統芸能への参加有無	71
(5) 居住地域以外での伝統芸能への参加理由	73

4. 障害がある方の文化芸術活動について	76
(1) 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会	76
(2) 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの	78
5. 文化施設について	82
(1) 県内文化施設の認知	82
(2) 県内文化施設の利用経験	86
6. 県が実施する事業等について	90
(1) 県が積極的に取り組むべき分野	90
(2) 県が取り組む文化施策等に対するご意見等（自由記述の集計）	94
(付) 調査票	99

# 調査の概要



# 調査の概要

## 1 調査の目的

文化芸術に関する県民の関心、要望、意向などをとらえ、次期計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査の項目

- (1) 鑑賞について
- (2) 自分自身の参加・出演について
- (3) 各地域における伝統芸能について
- (4) 障害がある方の文化芸術活動について
- (5) 文化施設について
- (6) 県が実施する事業等について

## 3 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満 18 歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000 人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (4) 調査方法 郵送法、オンライン調査法の併用  
(調査票を郵送送付し、回答を郵送・オンラインで回収する)
- (5) 調査時期 令和 6 年 6 月 18 日～7 月 12 日

## 4 調査機関

株式会社マーケティングリサーチサービス

## 5 回収結果

標本数 (A)	3,000件
総回収数 (B)	1,206件
有効回収数 (C)	1,206件
うちオンラインで回収	402件
無効回収数	0件
うちオンラインで回収	0件
回収率 (B/A)	40.20%
有効回収率 (C/A)	40.20%

## 標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人  
 標本数 : 3,000人  
 地点数 : 市部 194地点  
           郡部 6地点  
           計 200地点  
 抽出法 : 層化二段無作為抽出法

### [層 化]

1 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該 当 市 郡 (町村) 名
① 千葉地域	千葉市、市原市
② 葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③ 東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④ 印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、 印旛郡 (酒々井町、栄町)
⑤ 香取地域	香取市、香取郡 (神崎町、多古町、東庄町)
⑥ 海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦ 山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡 (九十九里町、芝山町、横芝光町)
⑧ 長生地域	茂原市、長生郡 (一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町)
⑨ 夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡 (大多喜町、御宿町)
⑩ 安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡 (鋸南町)
⑪ 君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2 各地域内においては、  
さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、  
令和6年4月1日現在市制施行の  
地域をさす。





**[標本数の配分]**

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和5年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

**[抽出]**

- 1 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
- 2 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[ \frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

- 3 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
- 4 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。  
以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域	市郡		
	市部	郡部	計
① 千葉地域	1,074,543	0	1,074,543
	600	0	600
	40	0	40
② 葛南地域	1,443,349	0	1,443,349
	795	0	795
	53	0	53
③ 東葛飾地域	1,308,633	0	1,308,633
	720	0	720
	48	0	48
④ 印旛地域	584,747	35,673	620,420
	330	15	345
	22	1	23
⑤ 香取地域	63,533	28,913	92,446
	30	15	45
	2	1	3
⑥ 海匝地域	135,411	0	135,411
	75	0	75
	5	0	5
⑦ 山武地域	135,648	39,203	174,851
	75	15	90
	5	1	6
⑧ 長生地域	76,596	50,590	127,186
	45	30	75
	3	2	5
⑨ 夷隅地域	46,432	13,943	60,375
	30	15	45
	2	1	3
⑩ 安房地域	98,695	6,404	105,099
	60	0	60
	4	0	4
⑪ 君津地域	278,368	0	278,368
	150	0	150
	10	0	10
計	5,245,955	174,726	5,420,681
	2,910	90	3,000
	194	6	200

(注) 上段は満18歳以上の人口（令和5年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区生実町	15	①千葉地域	市原市南国分寺台2丁目	15
	千葉市中央区新千葉2丁目	15		市原市ちはら台東3丁目	15
	千葉市中央区千葉寺町	15		市原市姉崎西3丁目	15
	千葉市中央区長洲1丁目	15		市川市市川3丁目	15
	千葉市中央区富士見1丁目	15		市川市新田5丁目	15
	千葉市中央区南町2丁目	15		市川市八幡1丁目	15
	千葉市中央区矢作町	15		市川市菅野5丁目	15
	千葉市花見川区柏井4丁目	15		市川市鬼高2丁目	15
	千葉市花見川区作新台5丁目	15		市川市本北方1丁目	15
	千葉市花見川区畑町	15		市川市中国分5丁目	15
	千葉市花見川区幕張町5丁目	15		市川市曾谷3丁目	15
	千葉市花見川区横戸台	15		市川市田尻4丁目	15
	千葉市稲毛区柏台	15		市川市大野町3丁目	15
	千葉市稲毛区小深町	15		市川市妙典5丁目	15
	千葉市稲毛区轟町1丁目	15		市川市新井3丁目	15
	千葉市若葉区愛生町	15	市川市福栄4丁目	15	
	千葉市若葉区御成台2丁目	15	市川市塩焼2丁目	15	
	千葉市若葉区桜木7丁目	15	船橋市東船橋1丁目	15	
	千葉市若葉区千城台東2丁目	15	②葛南地域	船橋市浜町2丁目	15
	千葉市若葉区西都賀2丁目	15		船橋市本町4丁目	15
	千葉市若葉区若松台3丁目	15		船橋市南海神1丁目	15
	千葉市緑区土気町	15		船橋市東中山2丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘5丁目	15		船橋市山手3丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野5丁目	15		船橋市藤原3丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野南3丁目	15		船橋市丸山2丁目	15
	千葉市美浜区磯辺5丁目	15		船橋市夏見台2丁目	15
	千葉市美浜区幸町2丁目	15		船橋市金杉9丁目	15
	千葉市美浜区浜田1丁目	15		船橋市三咲5丁目	15
	市原市青柳2丁目	15		船橋市八木が谷2丁目	15
	市原市惣社1丁目	15		船橋市前原東5丁目	15
	市原市五井東3丁目	15		船橋市飯山満町1丁目	15
	市原市東五所	15		船橋市薬円台4丁目	15
	市原市若宮1丁目	15		船橋市三山9丁目	15
	市原市有秋台東3丁目	15		船橋市高根台4丁目	15
	市原市泉台3丁目	15		船橋市新高根1丁目	15
	市原市喜多	15	船橋市松が丘5丁目	15	
	市原市山小川	15	船橋市大穴北8丁目	15	

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市習志野台4丁目	15	③東葛飾地域	野田市尾崎	15
	船橋市坪井東5丁目	15		野田市次木	15
	習志野市津田沼1丁目	15		柏市明原4丁目	15
	習志野市鷺沼台1丁目	15		柏市大室	15
	習志野市本大久保5丁目	15		柏市北柏3丁目	15
	習志野市香澄2丁目	15		柏市新逆井1丁目	15
	習志野市実籾本郷	15		柏市中央1丁目	15
	八千代市高津	15		柏市豊四季	15
	八千代市村上	15		柏市西原1丁目	15
	八千代市勝田台6丁目	15		柏市東柏1丁目	15
	八千代市高津団地	15		柏市増尾台2丁目	15
	八千代市八千代台西8丁目	15		柏市南柏1丁目	15
	八千代市ゆりのき台4丁目	15		柏市増尾1丁目	15
	八千代市大学町5丁目	15		柏市逆井4丁目	15
	浦安市北栄2丁目	15		柏市高柳	15
	浦安市堀江4丁目	15		流山市加4丁目	15
	浦安市東野3丁目	15		流山市南流山1丁目	15
浦安市富岡4丁目	15	流山市美原1丁目	15		
浦安市明海1丁目	15	流山市古間木	15		
③東葛飾地域	松戸市大谷口	15	流山市青田	15	
	松戸市上矢切	15	流山市おおたかの森北2丁目	15	
	松戸市古ヶ崎3丁目	15	我孫子市根戸	15	
	松戸市小金原8丁目	15	我孫子市栄	15	
	松戸市新作	15	我孫子市柴崎	15	
	松戸市千駄堀	15	我孫子市湖北台7丁目	15	
	松戸市常盤平5丁目	15	我孫子市布佐	15	
	松戸市二十世紀が丘梨元町	15	我孫子市南新木2丁目	15	
	松戸市東平賀	15	鎌ヶ谷市西道野辺	15	
	松戸市松戸	15	鎌ヶ谷市富岡3丁目	15	
	松戸市松飛台	15	鎌ヶ谷市初富本町1丁目	15	
	松戸市稔台7丁目	15	④印旛地域	成田市加良部4丁目	15
	松戸市和名ヶ谷	15		成田市大室	15
	松戸市五香5丁目	15		成田市稻荷山	15
	野田市野田	15		佐倉市千成2丁目	15
	野田市清水公園東2丁目	15		佐倉市新臼井田	15
	野田市山崎	15		佐倉市井野	15
野田市岩名	15	佐倉市中志津1丁目		15	

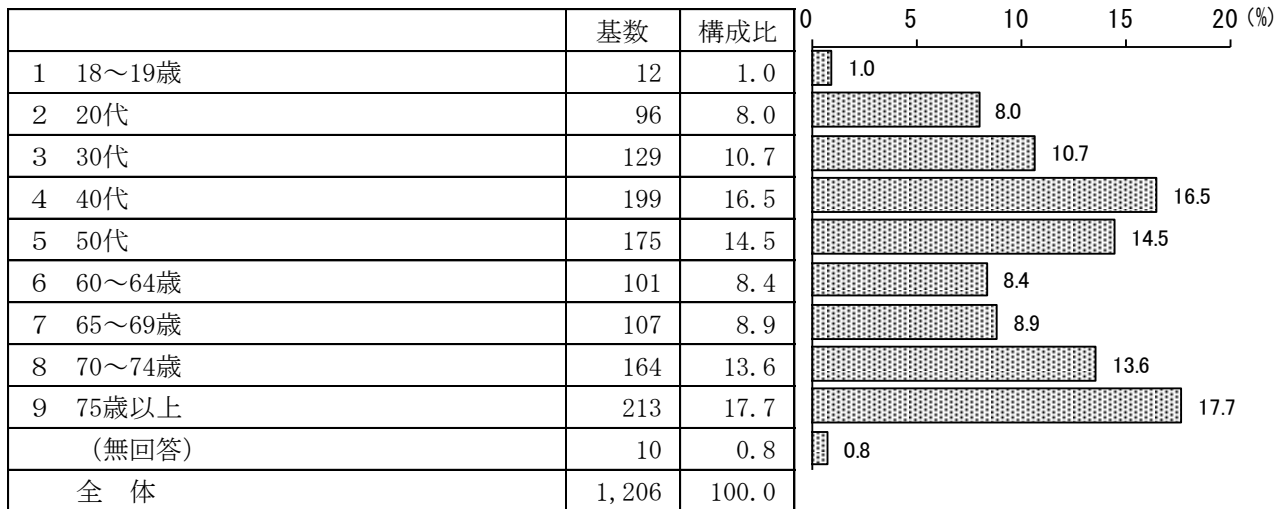
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	佐倉市ユーカリが丘5丁目	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市沢倉	15
	佐倉市大崎台1丁目	15		いすみ市深堀	15
	佐倉市染井野6丁目	15		夷隅郡大多喜町新丁	15
	四街道市大日	15	⑩ 安房地域	館山市笠名	15
	四街道市千代田3丁目	15		館山市中里	15
	四街道市さちが丘1丁目	15		鴨川市東江見	15
	四街道市もねの里3丁目	15		南房総市千倉町忽戸	15
	八街市八街い	15	⑪ 君津地域	木更津市真舟4丁目	15
	印西市小林北6丁目	15		木更津市畑沢南3丁目	15
	印西市船尾	15		木更津市永井作	15
	印西市戸神台1丁目	15		木更津市高砂3丁目	15
	白井市大松1丁目	15		君津市外箕輪4丁目	15
	白井市大山口2丁目	15		君津市大和田	15
	富里市日吉倉	15		君津市郡1丁目	15
	富里市日吉台3丁目	15		富津市小久保	15
印旛郡栄町安食台2丁目	15	袖ヶ浦市今井		15	
印旛郡栄町安食台2丁目	15	袖ヶ浦市吉野田		15	
⑤ 香取地域	香取市上小川	15			
	香取市野田	15			
	香取郡東庄町羽計	15			
⑥ 海匝地域	銚子市愛宕町	15			
	銚子市松本町3丁目	15			
	旭市ニ	15			
	旭市平松	15			
	匝瑳市川向	15			
⑦ 山武地域	東金市台方	15			
	山武市姫島	15			
	山武市松尾町田越	15			
	大網白里市柳橋	15			
	大網白里市みどりが丘3丁目	15			
山武郡九十九里町西野	15				
⑧ 長生地域	茂原市八千代1丁目	15			
	茂原市緑ヶ丘3丁目	15			
	茂原市高田	15			
	長生郡一宮町一宮	15			
	長生郡長生村一松丁	15			

## 回答者の属性

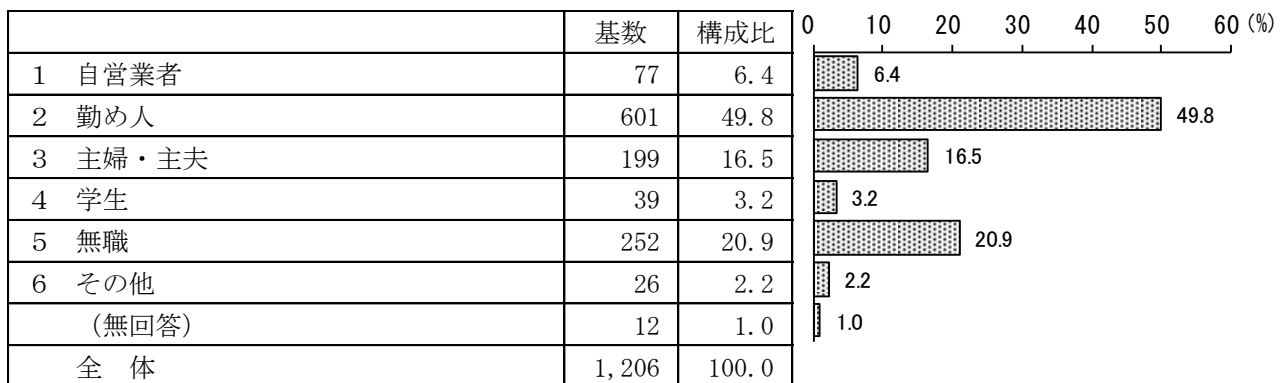
### 1. 性



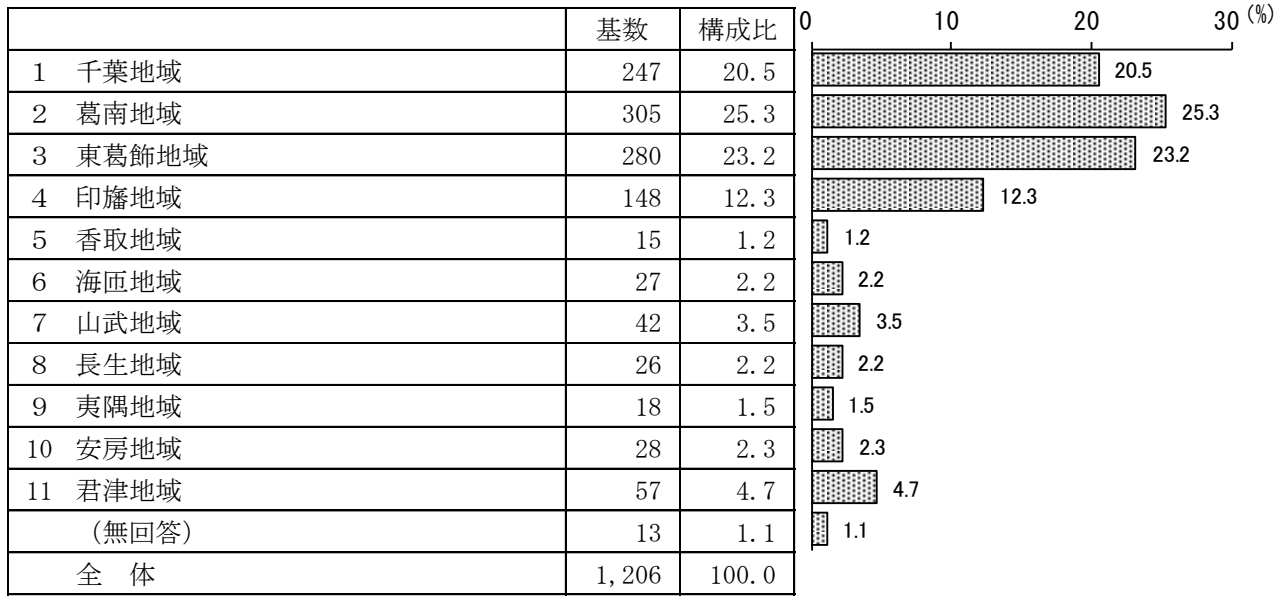
### 2. 年 代



### 3. 職 業



#### 4. 地 域



#### 5. 回答方法



## 報告書の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)  
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数 (n)						
総 数	1,206人	± 2.44	± 3.26	± 3.73	± 3.99	± 4.07
千葉地域	247	± 5.40	± 7.20	± 8.25	± 8.82	± 9.00
葛南地域	305	± 4.86	± 6.48	± 7.42	± 7.93	± 8.10
東葛飾地域	280	± 5.07	± 6.76	± 7.75	± 8.28	± 8.45
印旛地域	148	± 6.97	± 9.30	± 10.65	± 11.39	± 11.62
香取地域	15	± 21.91	± 29.21	± 33.46	± 35.77	± 36.51
海匝地域	27	± 16.33	± 21.77	± 24.94	± 26.66	± 27.21
山武地域	42	± 13.09	± 17.46	± 20.00	± 21.38	± 21.82
長生地域	26	± 16.64	± 22.19	± 25.42	± 27.17	± 27.73
夷隅地域	18	± 20.00	± 26.66	± 30.55	± 32.66	± 33.33
安房地域	28	± 16.03	± 21.38	± 24.49	± 26.18	± 26.72
君津地域	57	± 11.24	± 14.98	± 17.17	± 18.35	± 18.73
男 性	530	± 3.69	± 4.91	± 5.63	± 6.02	± 6.14
女 性	660	± 3.30	± 4.40	± 5.04	± 5.39	± 5.50





調査の結果

調査結果の解説



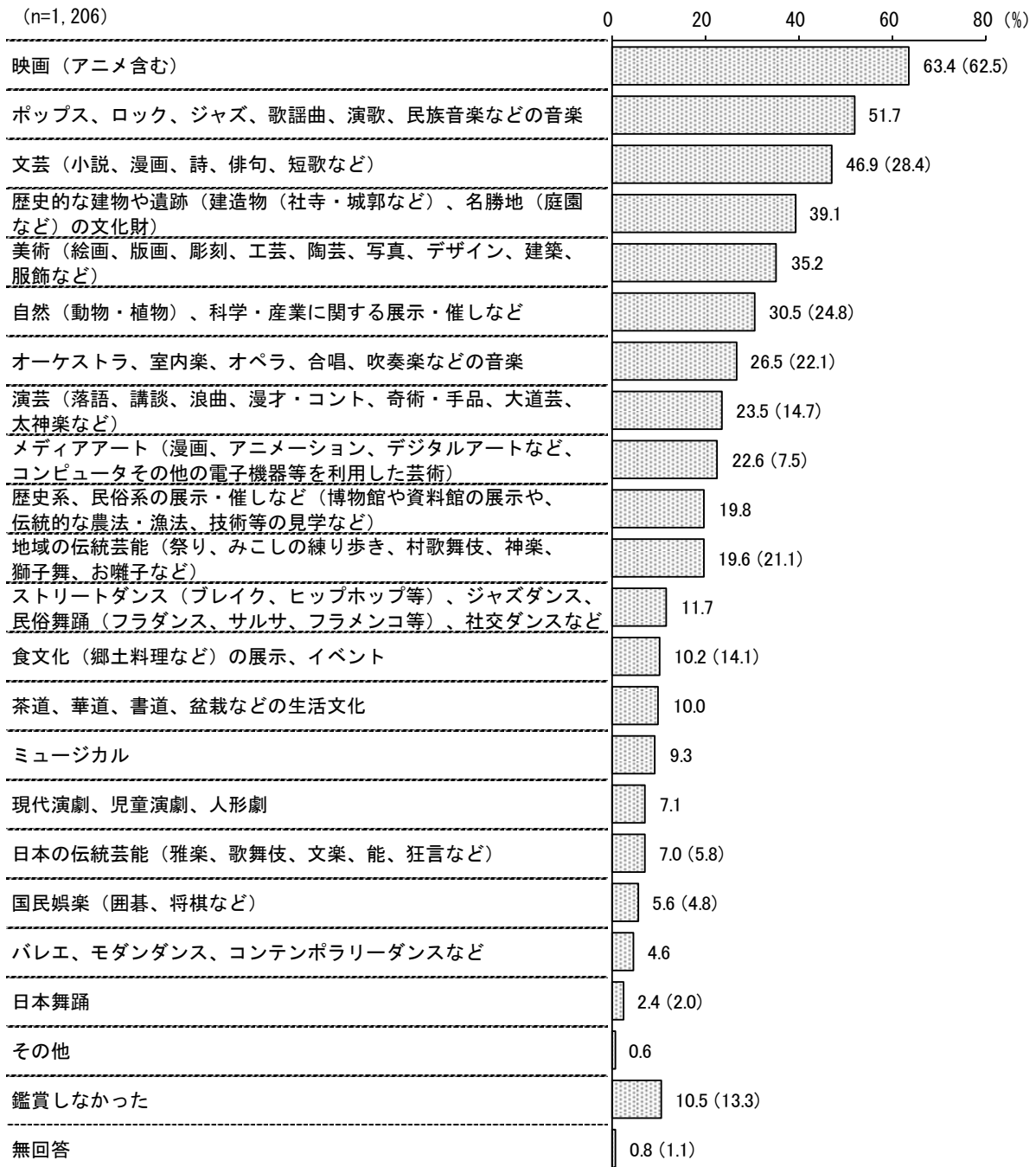
# 1. 鑑賞について

## (1) 昨年度に鑑賞した文化芸術

◇「映画（アニメ含む）」が6割を超えており最も高い

問1 あなたが昨年度(2023年4月1日～2024年3月31日)鑑賞した文化芸術はどれですか。  
(〇はいくつでも)

<図表1-1>昨年度に鑑賞した文化芸術



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,052

※「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」は、令和元年度では「音楽（クラシック）」

※「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）」は、令和元年度では「演芸（落語、講談、漫才など）」  
※「メディアアート（漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術）」は、令和元年度では「電子機器等を利用した芸術（デジタルアートなど）」  
※「地域の伝統芸能（祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など）」は、令和元年度では「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」  
※「食文化（郷土料理など）の展示、イベント」は、令和元年度では「食文化（郷土料理など）」  
※「日本の伝統芸能（雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など）」は、令和元年度では「日本の伝統芸能（歌舞伎、文楽、能、狂言など）」

昨年度に鑑賞した文化芸術について聞いたところ、「映画（アニメ含む）」（63.4%）が6割を超えて最も高く、以下「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」（51.7%）、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」（46.9%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）」（39.1%）が続く。一方で、「鑑賞しなかった」（10.5%）が1割となっている。

（図表1-1）

#### 【地域別】

地域別にみると、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」は、“東葛飾地域”（56.4%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表1-2）

#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「映画（アニメ含む）」は、男性の30代（84.2%）、女性の20代（84.2%）が8割台半ば、女性の30代（83.1%）、男性の20代（82.1%）が8割を超え、女性の40代（80.4%）が8割で、それぞれ高くなっている。

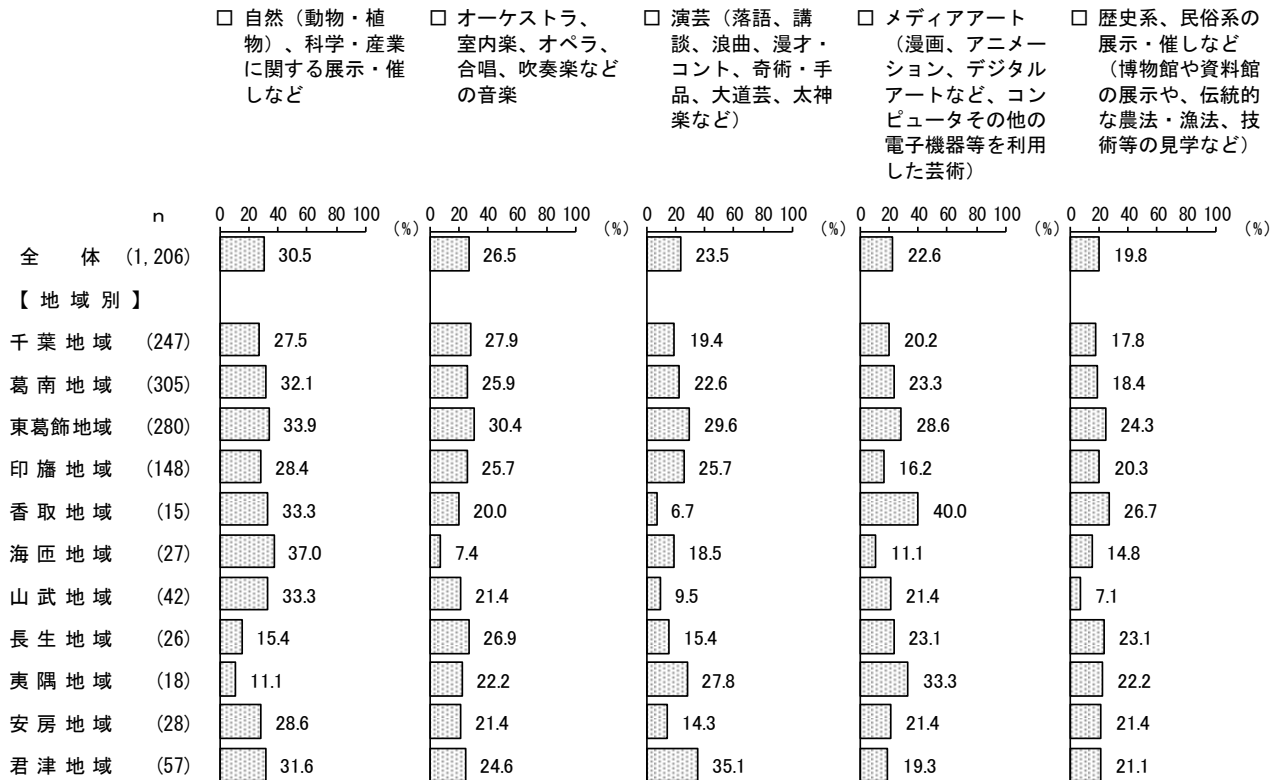
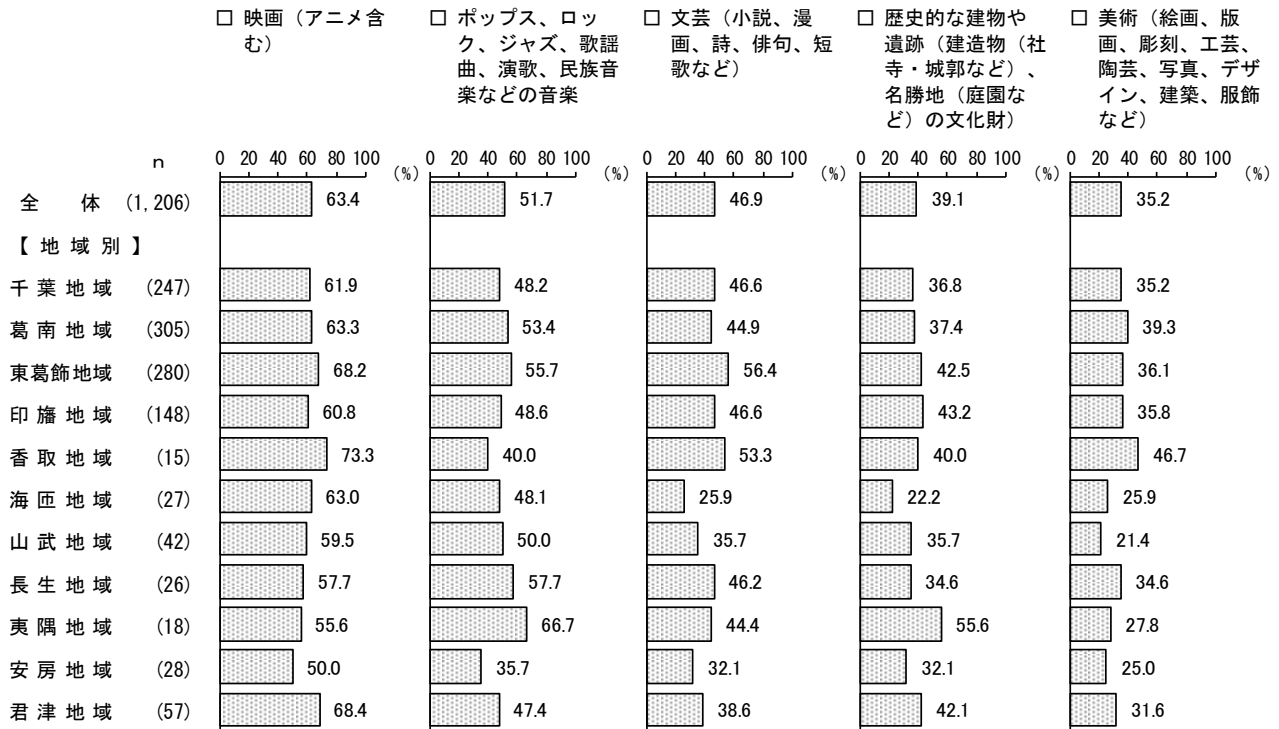
「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」は、女性の40代（58.0%）が約6割で高くなっている。

「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）」は、女性の50代（49.0%）が約5割で高くなっている。

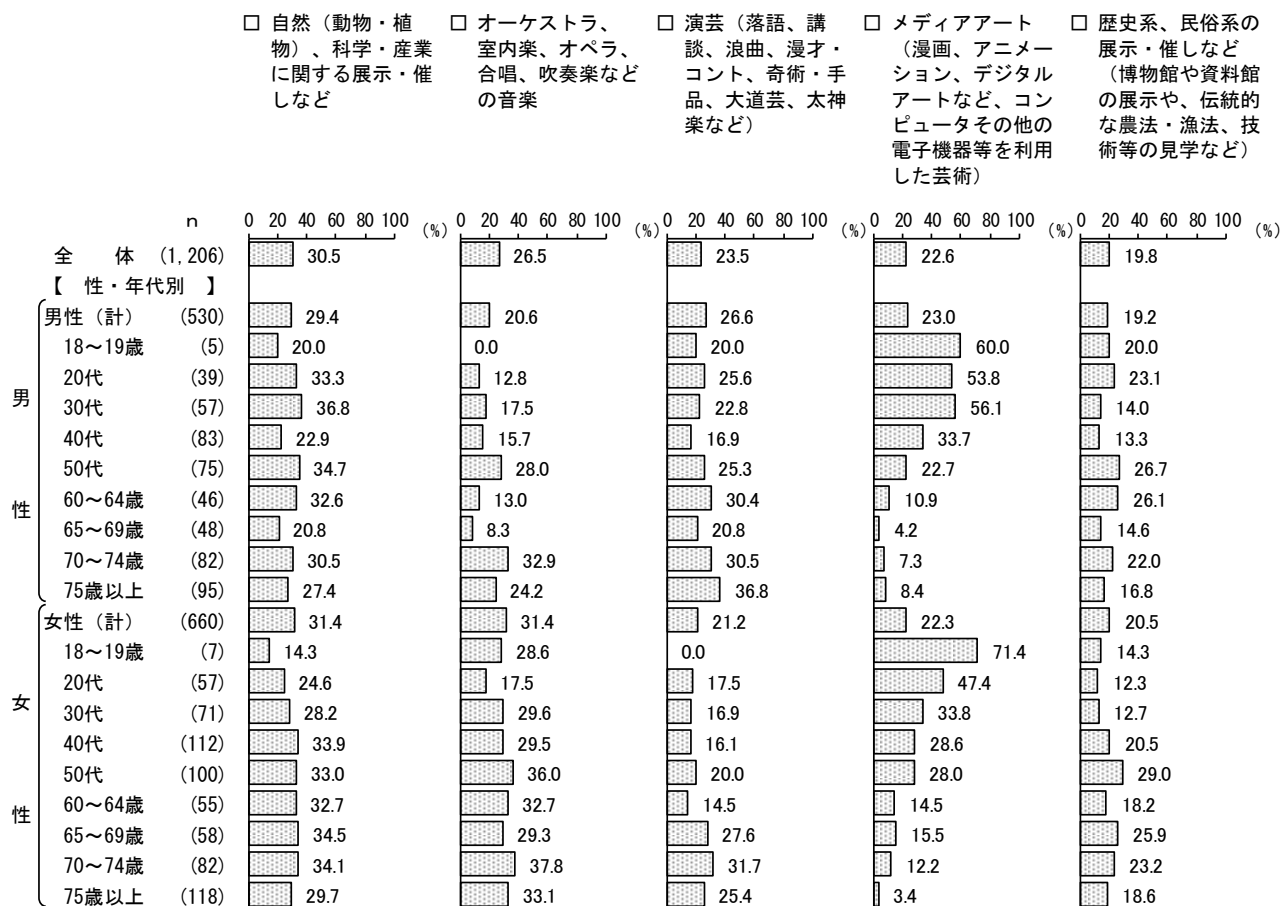
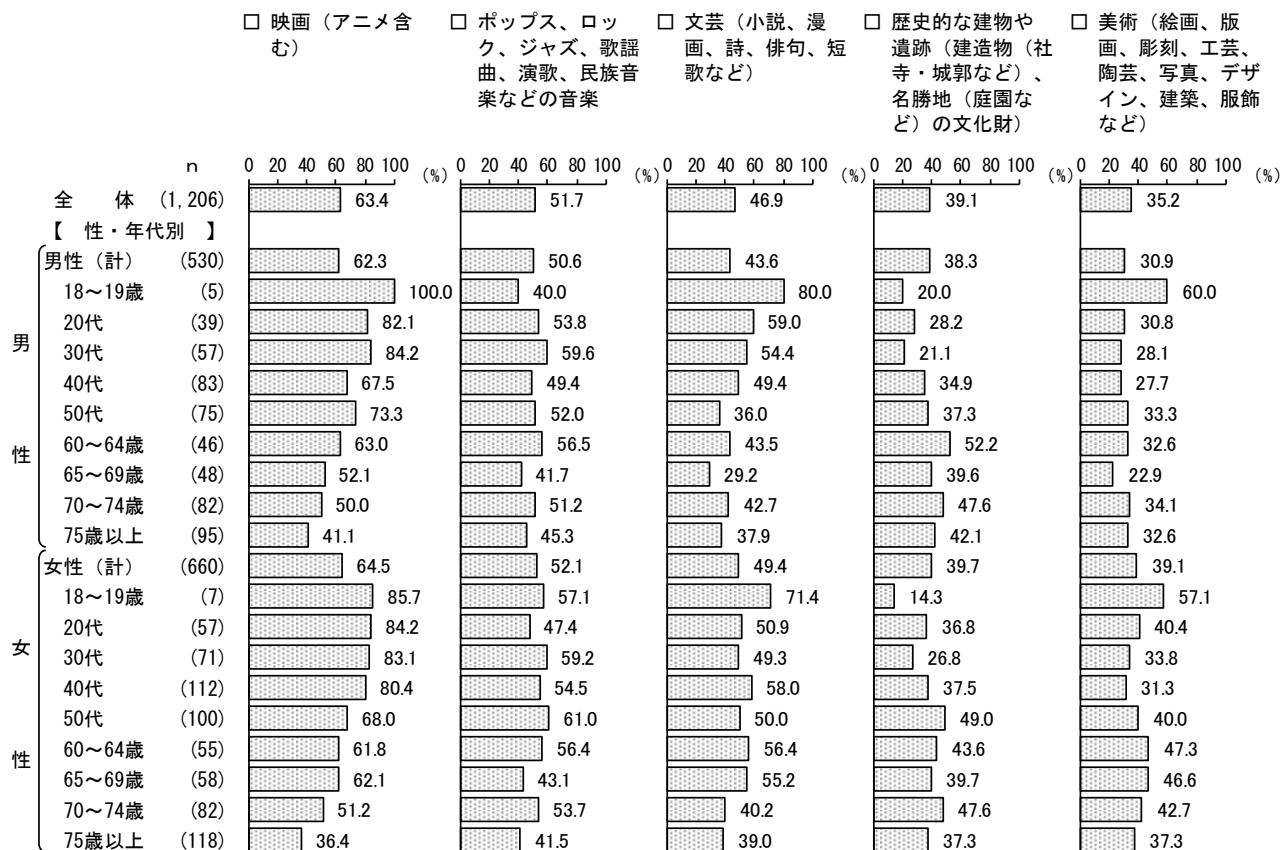
「メディアアート（漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術）」は、男性の30代（56.1%）、男性の20代（53.8%）が5割台半ば、女性の20代（47.4%）が約5割で、それぞれ高くなっている。

（図表1-3）

<図表1-2> 昨年度に鑑賞した文化芸術／地域別（上位10項目）



<図表1-3>昨年度に鑑賞した文化芸術／性・年代別（上位10項目）



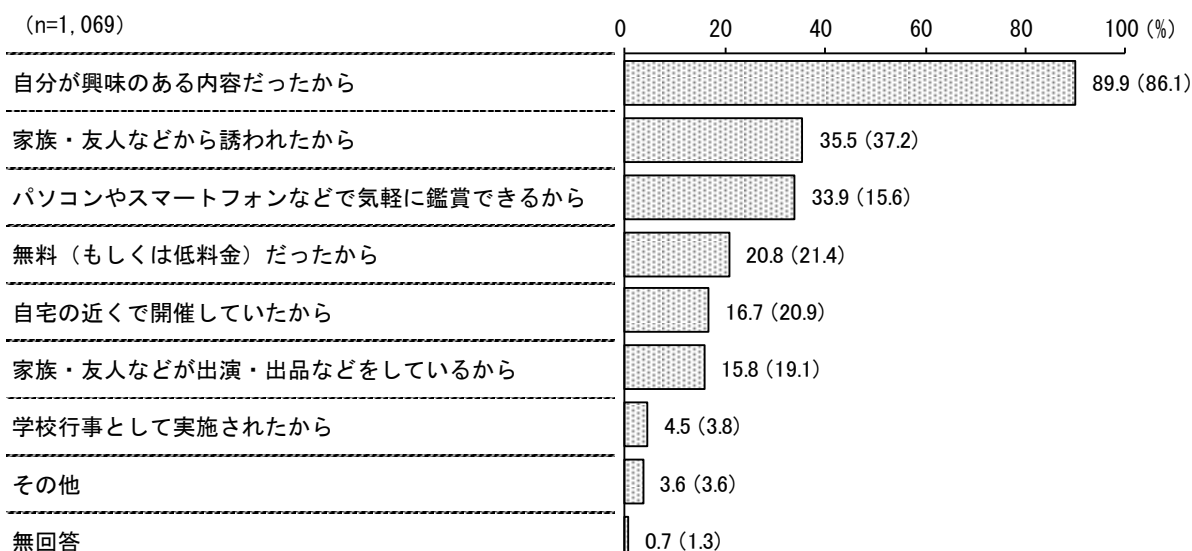
## (2) 文化芸術を鑑賞した理由

◇「自分が興味のある内容だったから」が約9割で最も高い

【問1で「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した方に】

問2 昨年度、文化芸術を鑑賞した理由はなんですか。(〇はいくつでも)

<図表1-4>文化芸術を鑑賞した理由



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=900

※「パソコンやスマートフォンなどで気軽に鑑賞できるから」は、令和元年度では「パソコンや携帯などで気軽に鑑賞できるから」

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した理由を聞いたところ、「自分が興味のある内容だったから」(89.9%)が約9割で最も高く、以下「家族・友人などから誘われたから」(35.5%)、「パソコンやスマートフォンなどで気軽に鑑賞できるから」(33.9%)、「無料(もしくは低料金)だったから」(20.8%)が続く。

(図表1-4)

### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表1-5)

### 【性・年代別】

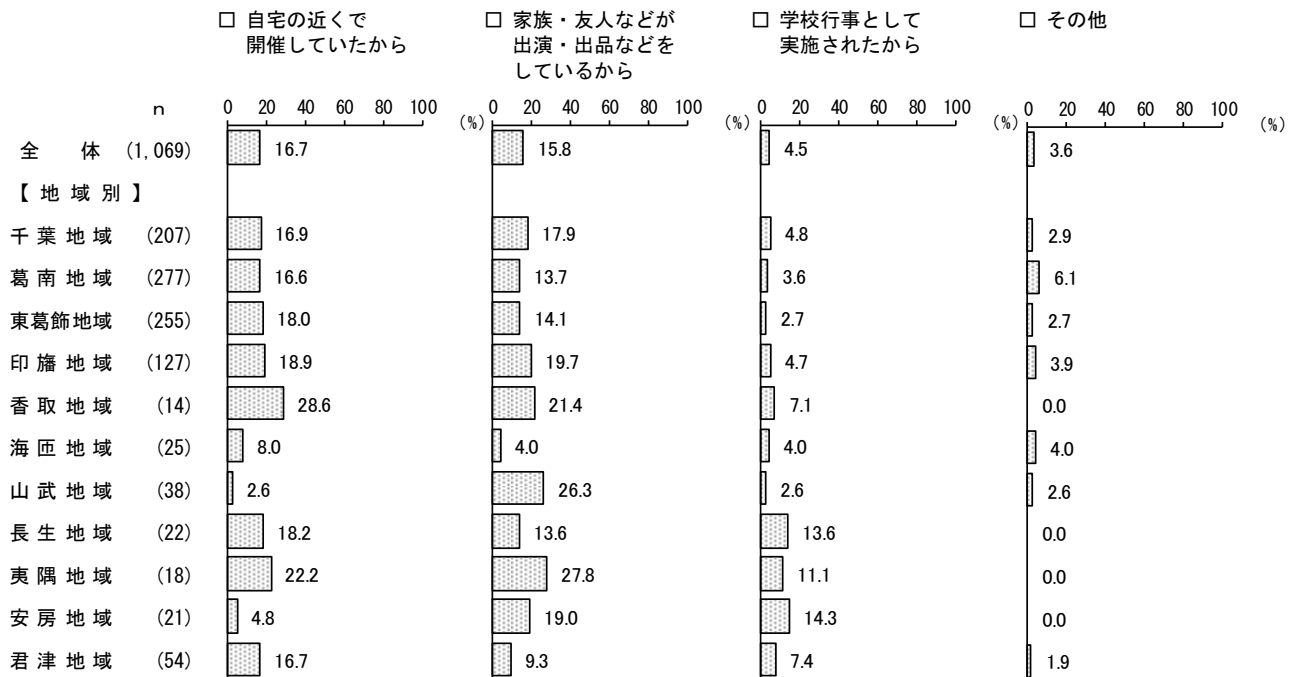
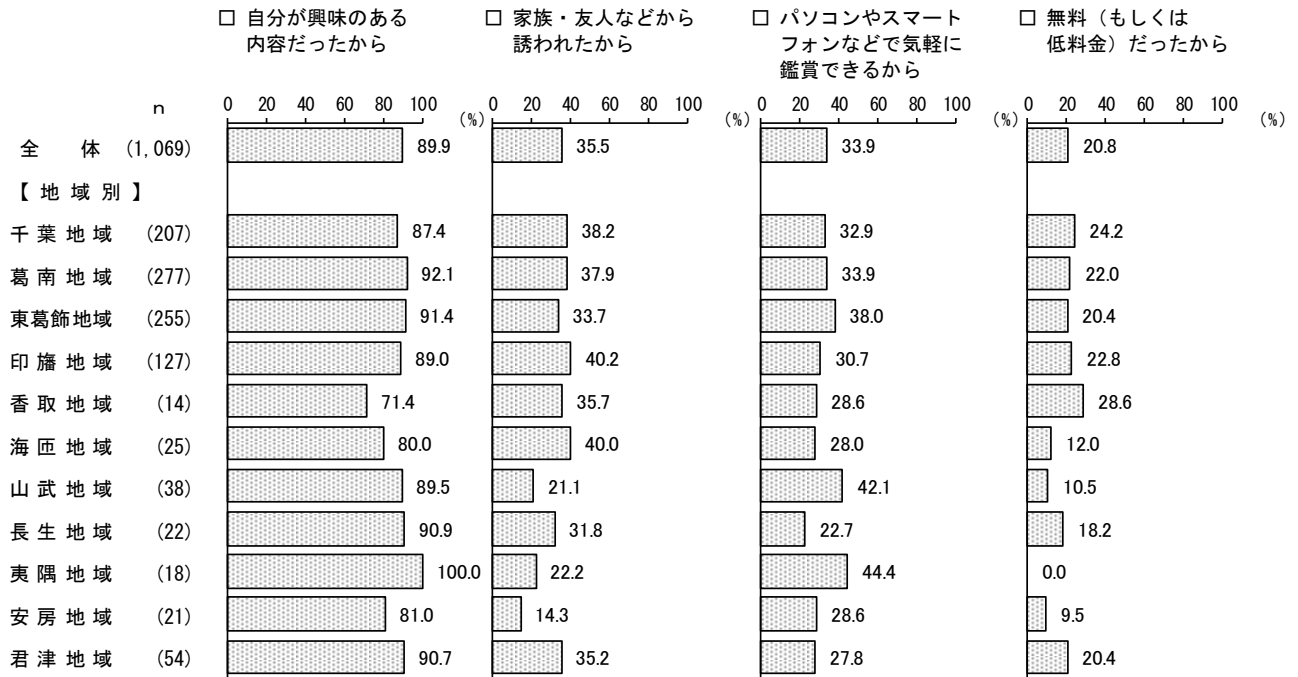
性・年代別で見ると、「家族・友人などから誘われたから」は、女性の20代(50.0%)が5割、女性の40代(47.2%)が約5割で高くなっている。

「パソコンやスマートフォンなどで気軽に鑑賞できるから」は、男性の20代(54.1%)が5割台半ば、女性の30代(45.6%)、男性の40代(44.6%)が4割台半ばで、それぞれ高くなっている。

「無料(もしくは低料金)だったから」は、男性の60~64歳(40.0%)が4割、男性の40代(29.7%)が約3割で、それぞれ高くなっている。

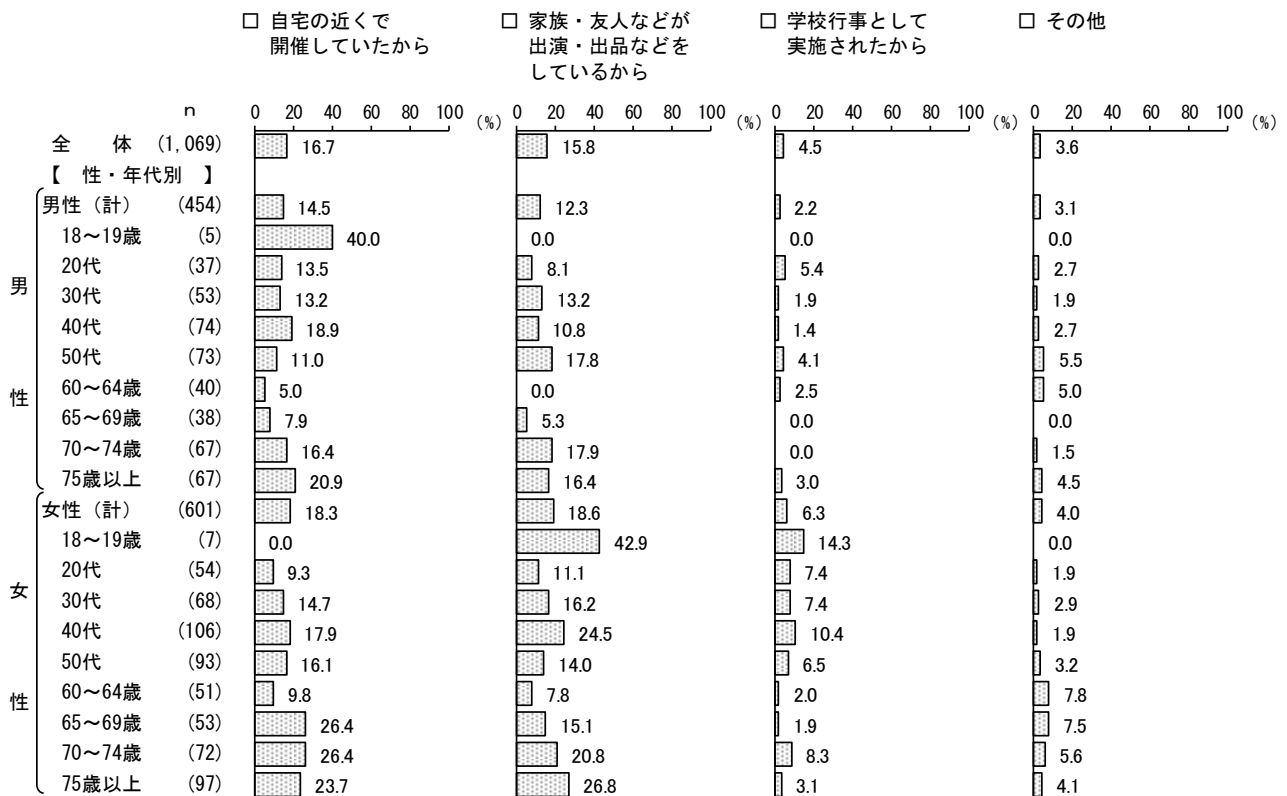
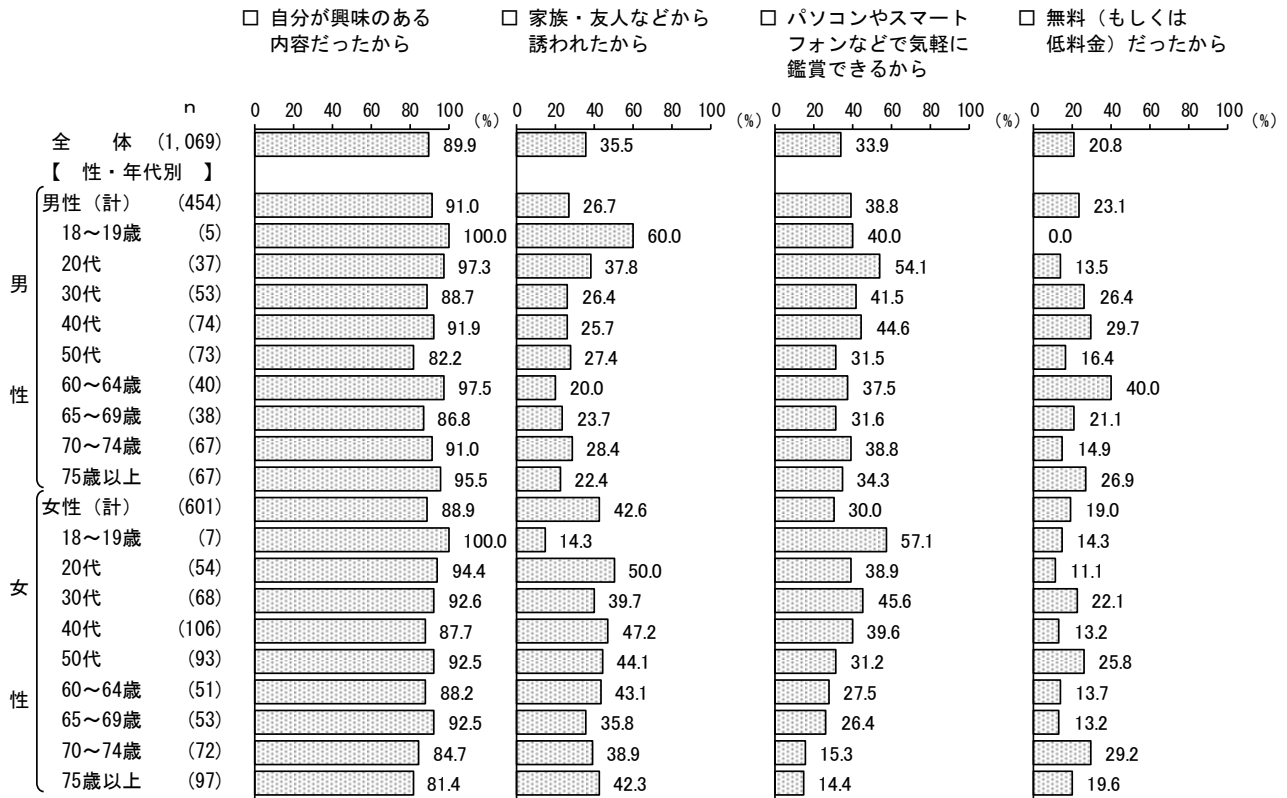
(図表1-6)

<図表 1-5>文化芸術を鑑賞した理由／地域別





<図表1-6>文化芸術を鑑賞した理由／性・年代別



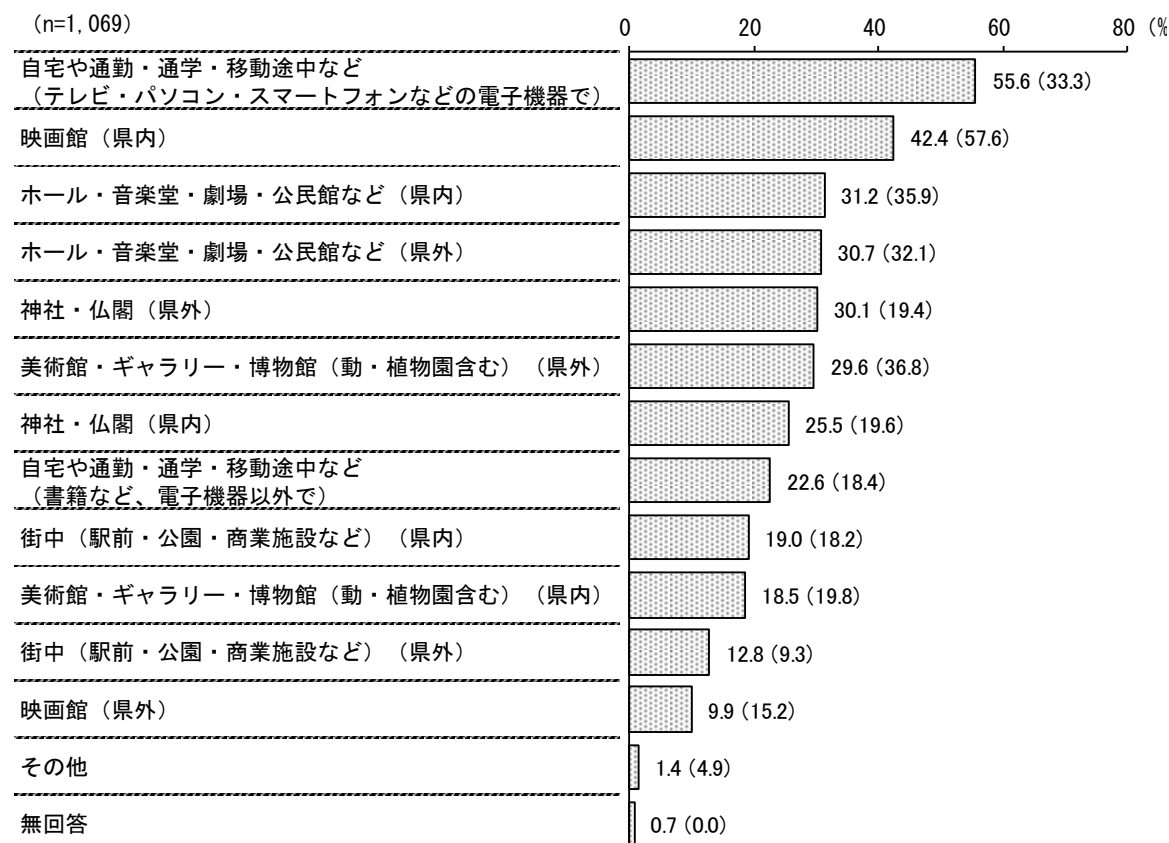
### (3) 文化芸術を鑑賞した場所

◇「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で）」が5割台半ばで最も高い

【問1で「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した方に】

問3 昨年度、文化芸術をどこで鑑賞しましたか。（〇はいくつでも）

＜図表1-7＞文化芸術を鑑賞した場所



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=900

※「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で）」は、令和元年度では「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・携帯などの電子機器で）」

※「街中（駅前・公園・商業施設など）（県内）」は、令和元年度では「街中（駅前・公園など）（県内）」

※「街中（駅前・公園・商業施設など）（県外）」は、令和元年度では「街中（駅前・公園など）（県外）」

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した場所を聞いたところ、「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で）」（55.6%）が5割台半ばで最も高く、以下「映画館（県内）」（42.4%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」（31.2%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県外）」（30.7%）が続く。

また、「映画館」は『県内』が『県外』に比べ約33ポイント高く、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）」は『県内』が『県外』に比べ約11ポイント低い。

（図表1-7）

### 【地域別】

地域別にみると、“東葛飾地域”は、「神社・仏閣（県外）」（36.1%）、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県外）」（35.7%）が3割台半ばで高くなっている。

（図表1－8）

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で）」は、男性の30代（75.5%）が7割台半ば、男性の20代（73.0%）が7割を超え、それぞれ高くなっている。

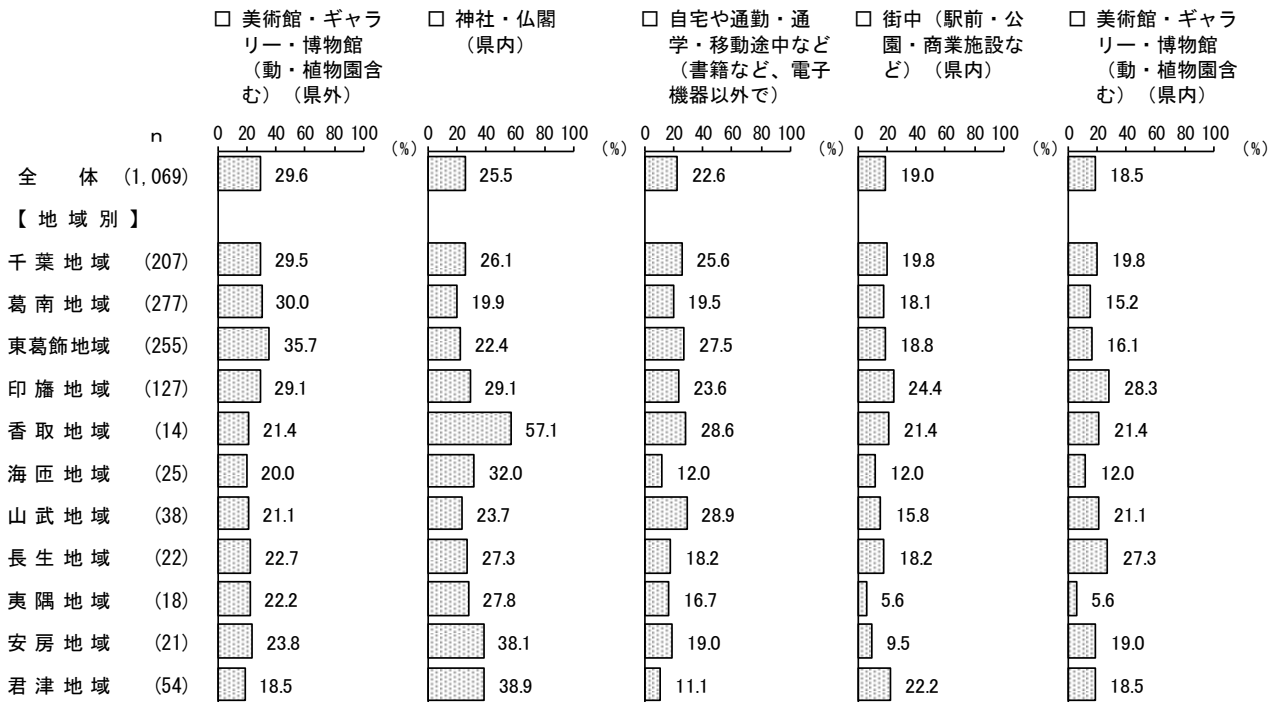
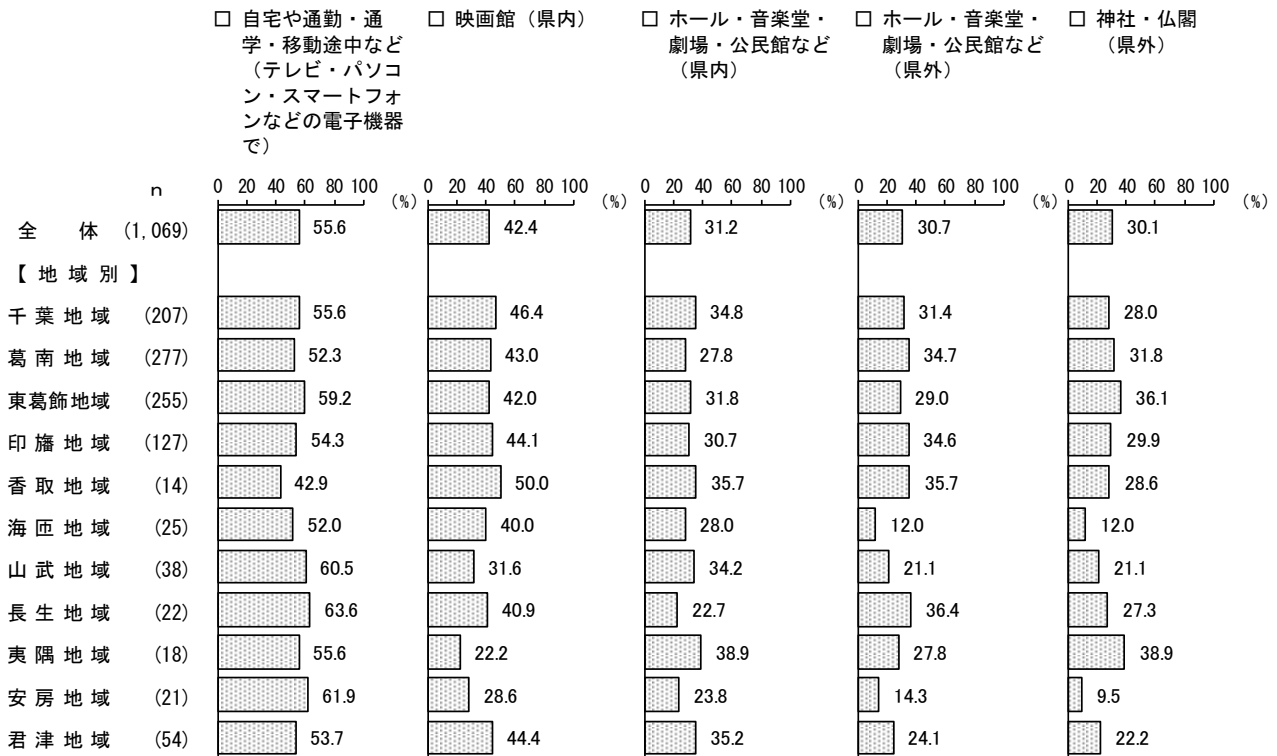
「映画館（県内）」は、女性の20代（64.8%）が6割台半ば、男性の30代（62.3%）が6割を超え、女性の40代（55.7%）が5割台半ばで、それぞれ高くなっている。

「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」は、女性の65～69歳（47.2%）が約5割、女性の70～74歳（45.8%）、女性の75歳以上（45.4%）が4割台半ば、女性の40代（41.5%）が4割を超え、それぞれ高くなっている。

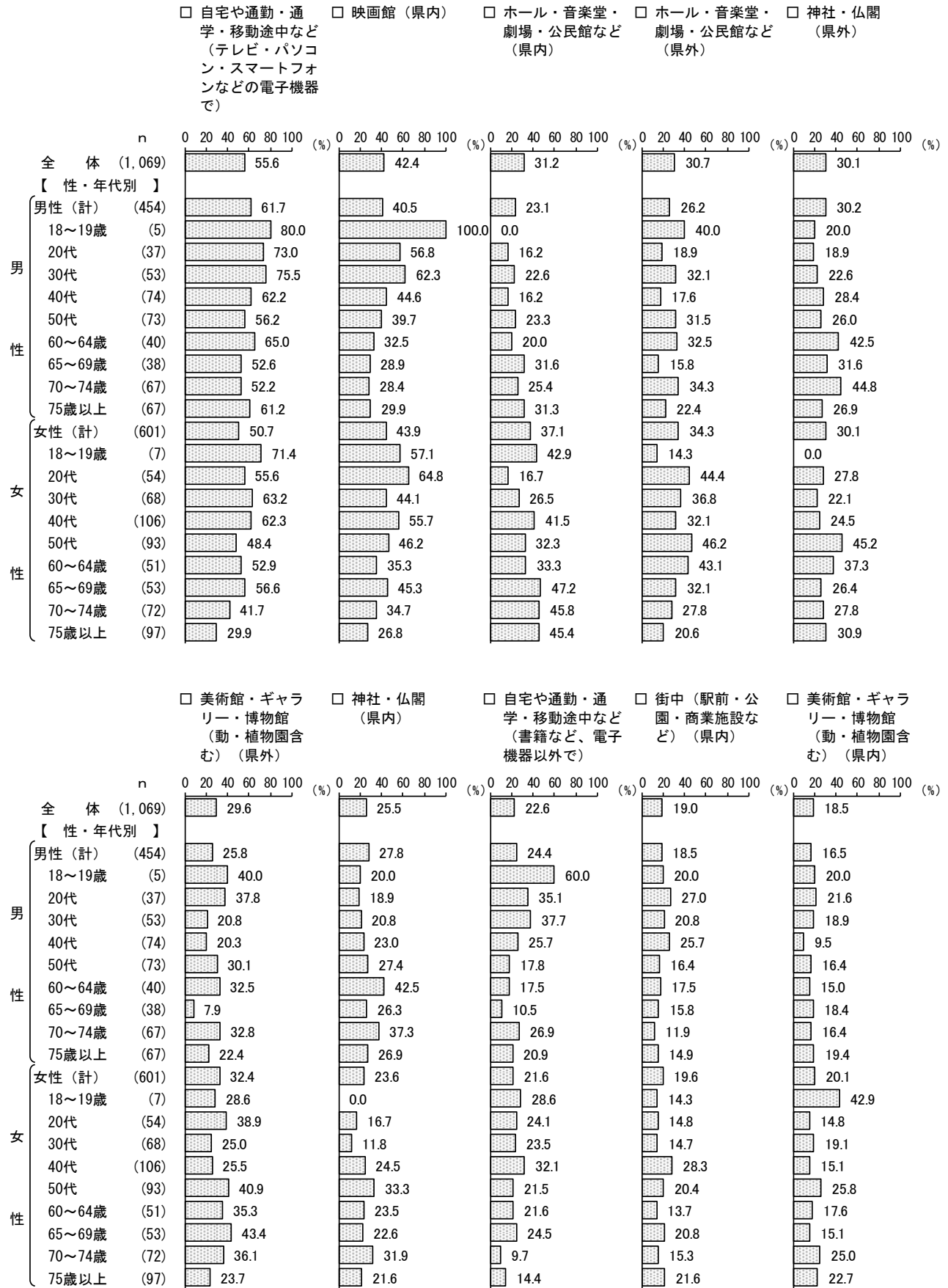
「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県外）」は、女性の50代（46.2%）、女性の20代（44.4%）が4割台半ば、女性の60～64歳（43.1%）が4割を超え、それぞれ高くなっている。

（図表1－9）

<図表1-8>文化芸術を鑑賞した場所／地域別（上位10項目）

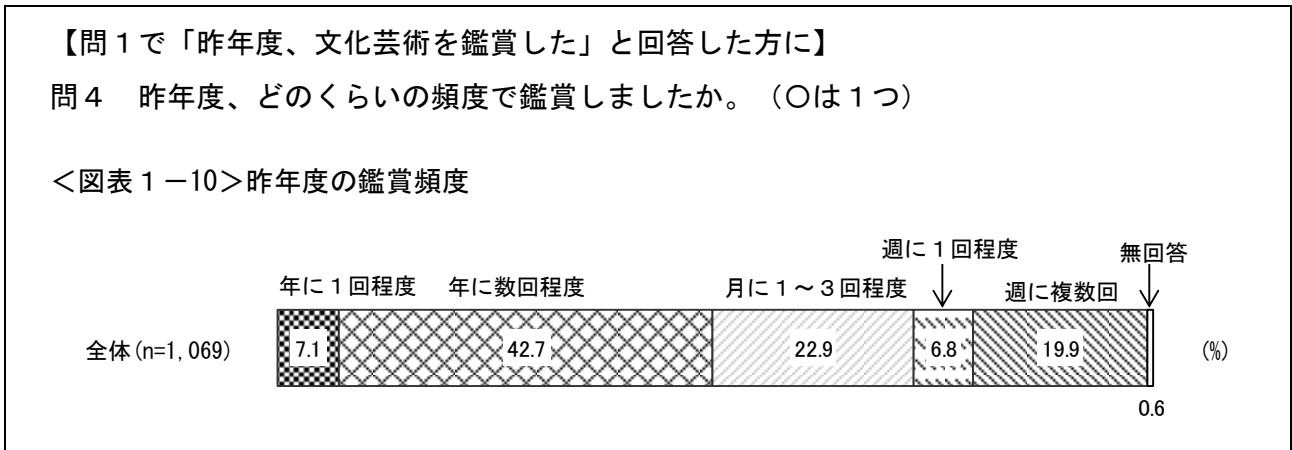


<図表1-9>文化芸術を鑑賞した場所／性・年代別（上位10項目）



(4) 昨年度の鑑賞頻度

◇「年に数回程度」が4割を超えて最も高い



「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞頻度を聞いたところ、「年に数回程度」(42.7%)が4割を超えて最も高く、以下「月に1~3回程度」(22.9%)、「週に複数回」(19.9%)、「年に1回程度」(7.1%)、「週に1回程度」(6.8%)となっている。

(図表1-10)

【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表1-11)

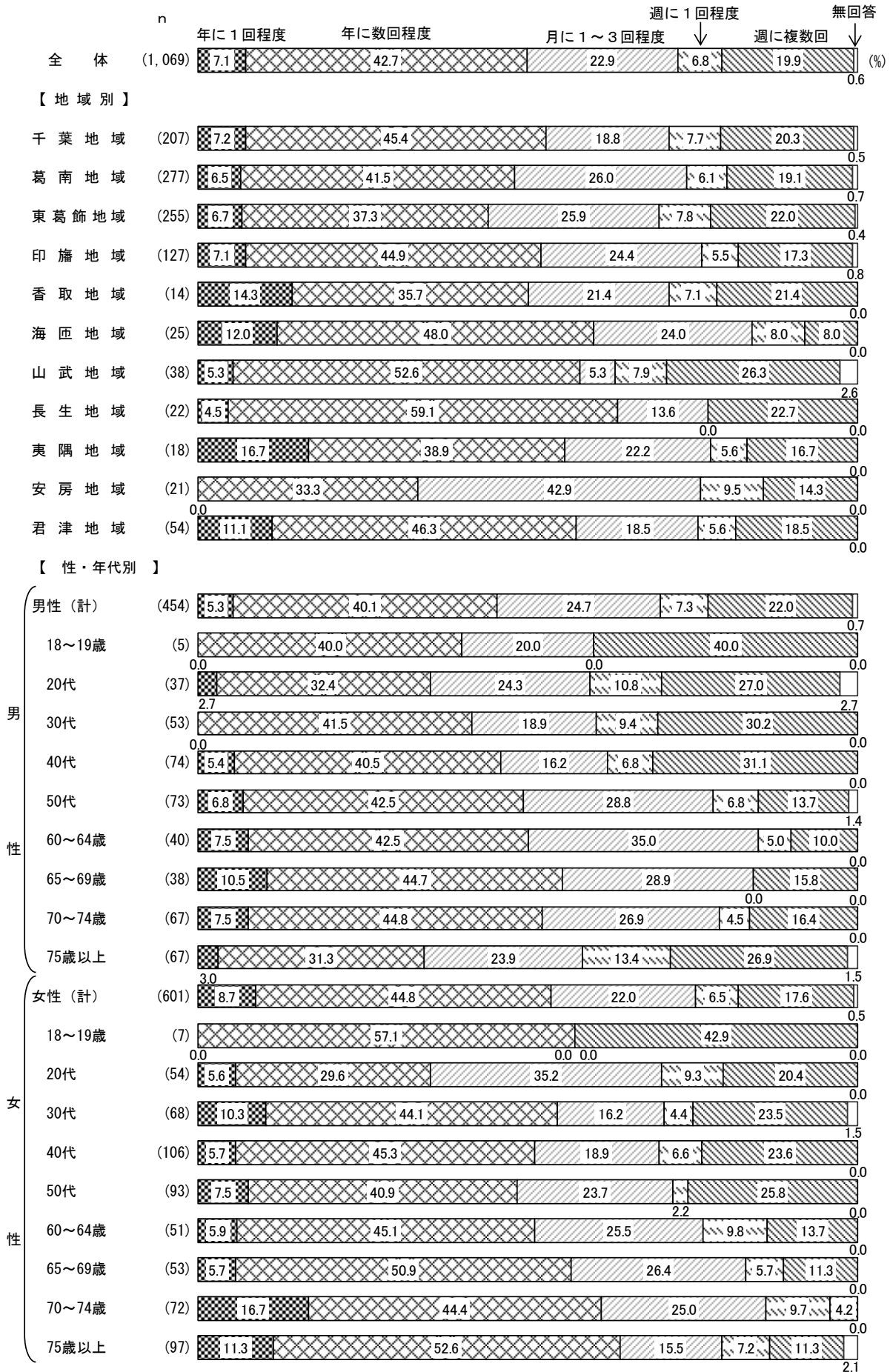
【性・年代別】

性・年代別でみると、「年に数回程度」は女性の75歳以上(52.6%)が5割を超えて高くなっている。

「週に複数回」は、男性の40代(31.1%)が3割を超えて高くなっている。

(図表1-11)

<図表 1-11> 昨年度の鑑賞頻度／地域別、性・年代別



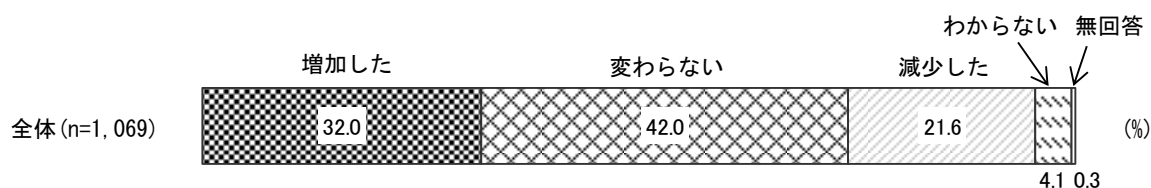
## (5) コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減

◇「増加した」が3割を超え、「減少した」を上回る

【問1で「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した方に】

問5 問4で回答した頻度は、2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前）と比較して、増加したと思いますか、減少したと思いますか。  
(○は1つ)

＜図表1-12＞コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減



「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減を聞いたところ、「増加した」(32.0%)が3割を超え、「減少した」(21.6%)を上回っている。

また、「変わらない」(42.0%)が4割を超えている。

(図表1-12)

### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表1-13)

### 【性・年代別】

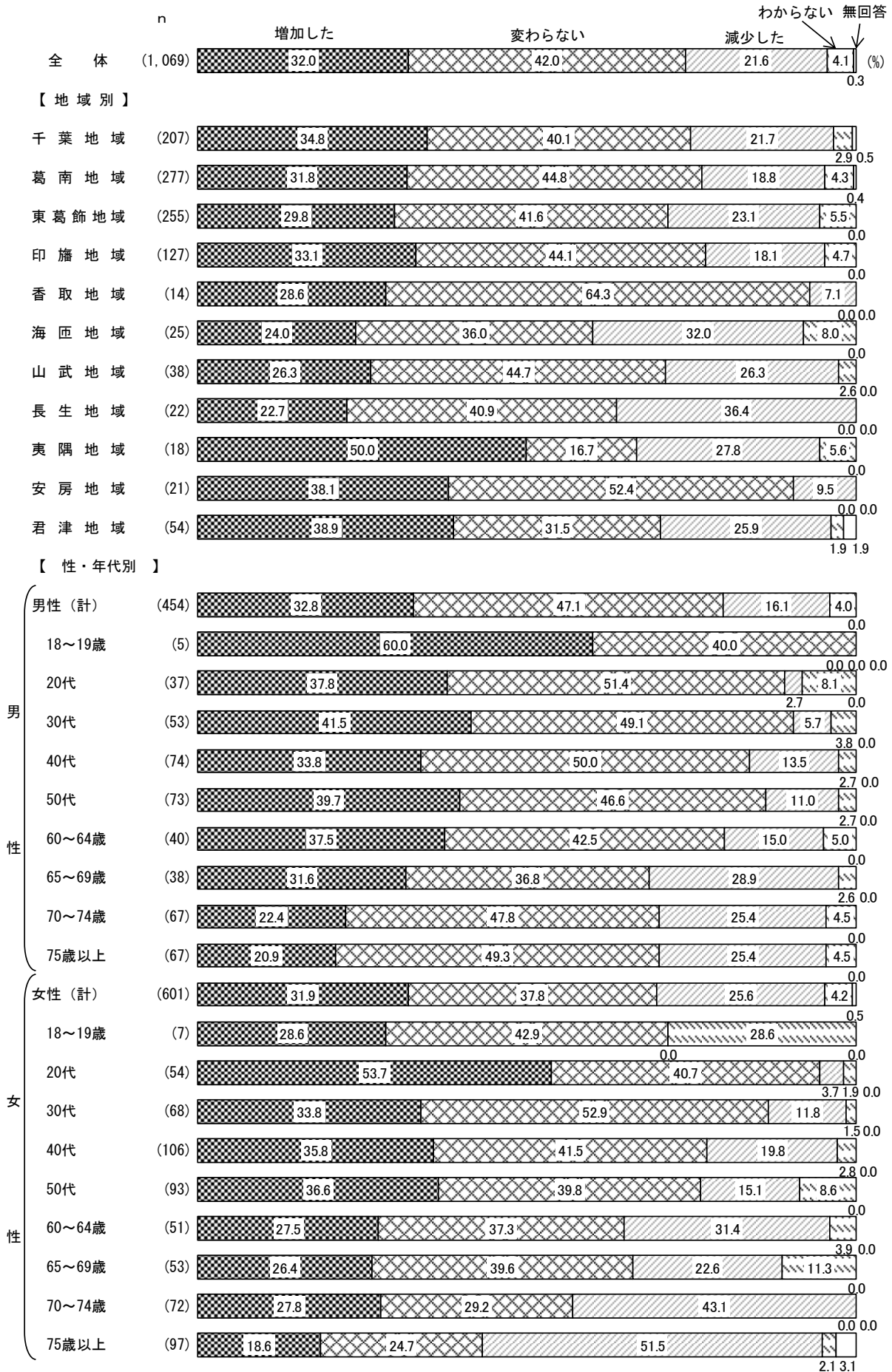
性・年代別でみると、「増加した」は、女性の20代(53.7%)が5割台半ばで高くなっている。

一方で「減少した」は、女性の75歳以上(51.5%)が5割を超え、女性の70～74歳(43.1%)が4割を超え、それぞれ高くなっている。

(図表1-13)



<図表 1-13> コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減／地域別、性・年代別



(6) コロナ禍前と比べた鑑賞についての変化（自由記述の集計）

◇「自宅での鑑賞が増えた」が最も多い

【問1で「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した方に】

問6 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前）と比べて、文化芸術を鑑賞することに対して何か変化はありましたか。（例えば「自宅での鑑賞が増えた」、「鑑賞に対する気持ちが変わった」など）  
どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

<図表1-14> コロナ禍前と比べた鑑賞についての変化（自由記述）

順位	内容	件数
第1位	自宅での鑑賞が増えた	187
第2位	人混みは避けるようになった	68
第3位	インターネットや、動画配信で鑑賞することが増えた	63
第4位	鑑賞したい／行ける時に行きたいという気持ちになった	37
第5位	外出して鑑賞することが少なくなった	34
〃	鑑賞に出かける頻度が増えた	34
第7位	感染予防の意識が強くなった	30
〃	外出しなくなった	30
第9位	外出の機会が増えた	29
第10位	直接鑑賞できることのありがたさを知った	28
第11位	テレビで鑑賞することが増えた	24
〃	マスクを着用するようになった	24
第13位	コロナ禍前に戻った／気にしなくなった	18
第14位	近場で済ませることが多くなった	10
第15位	イベント等の開催が減った	8
第16位	鑑賞する頻度が減った	7
第17位	旅行先での鑑賞が増えた	6
〃	美術館などが予約が必要になった	6
第19位	読書が増えた	4
-	その他	37
-	変化なし／特になし	179

合 計（延べ件数） 863

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容にわたる場合には、それぞれの項目へ分類。

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、コロナ禍前と比べた鑑賞についての変化について聞いたところ、「自宅での鑑賞が増えた」が187件で最も多く、以下「人混みは避けるようになった」（68件）、「インターネットや、動画配信で鑑賞することが増えた」（63件）、「鑑賞したい／行ける時に行きたいという気持ちになった」（37件）が続く。

（図表1-14）

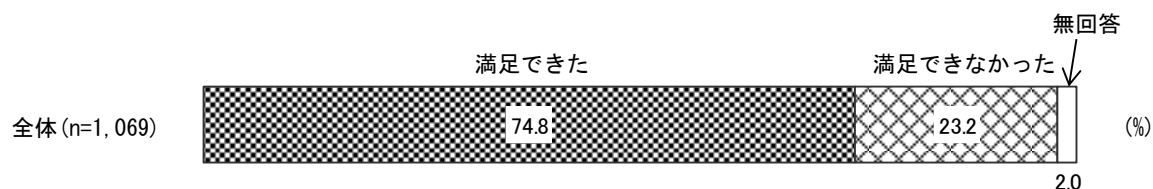
## (7) 鑑賞した回数や内容の満足度

◇「満足できた」が7割台半ば

【問1で「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した方に】

問7 昨年度、文化芸術を鑑賞した回数や内容に満足できましたか。(○は1つ)

＜図表1-15＞鑑賞した回数や内容の満足度



「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した回数や内容に満足できたかを聞いたところ、「満足できた」(74.8%)が7割台半ばとなっている。

一方で「満足できなかった」(23.2%)が2割を超えている。

(図表1-15)

### 【地域別】

地域別にみると、「満足できた」は、「千葉地域」(81.2%)が8割を超えて高くなっている。

(図表1-16)

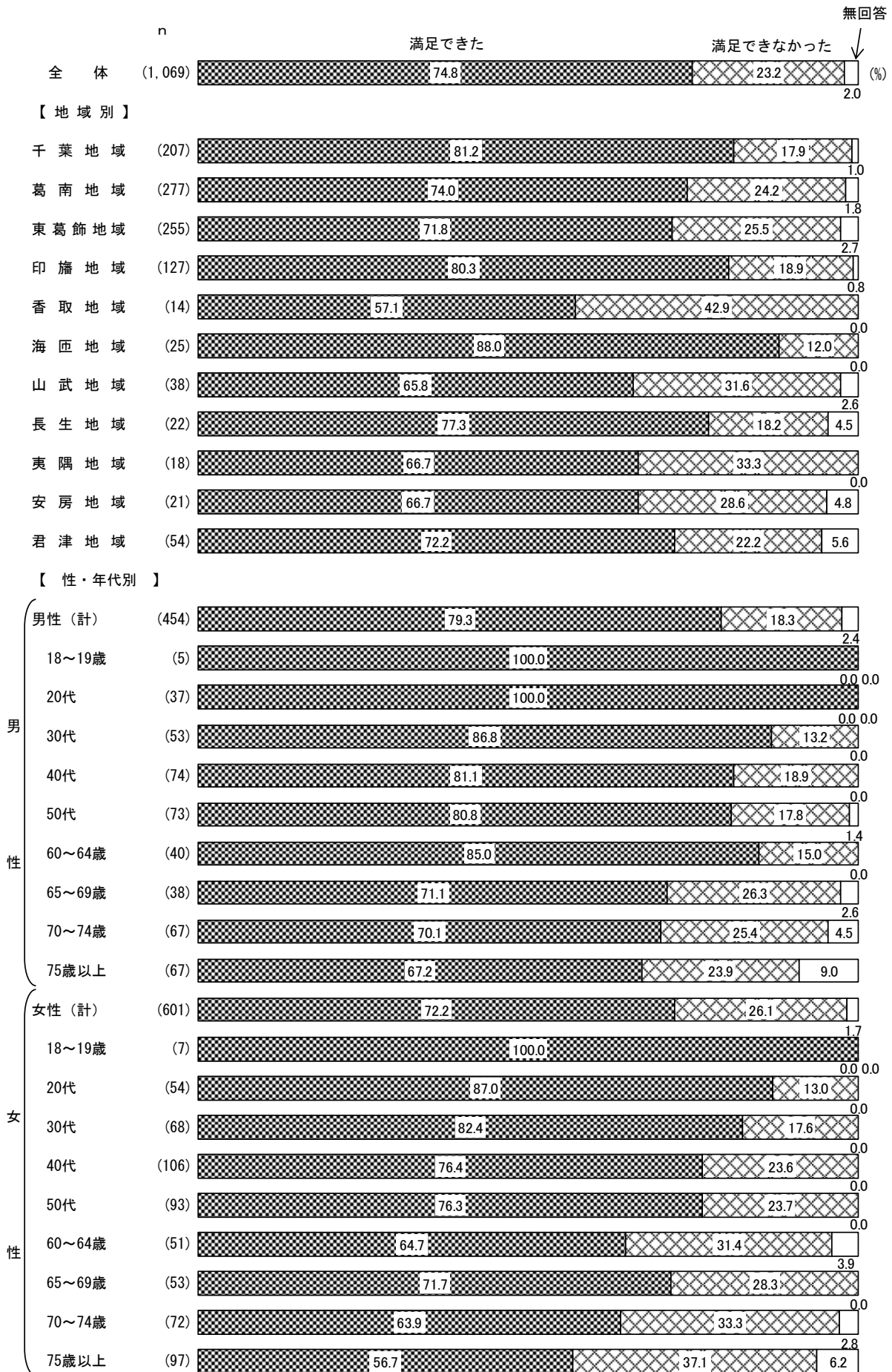
### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「満足できた」は、男性の20代(100.0%)が10割、女性の20代(87.0%)が約9割、男性の30代(86.8%)が8割台半ばで、それぞれ高くなっている。

一方で「満足できなかった」は、女性の75歳以上(37.1%)が約4割、女性の70～74歳(33.3%)が3割を超え、それぞれ高くなっている。

(図表1-16)

<図表 1-16>鑑賞した回数や内容の満足度／地域別、性・年代別



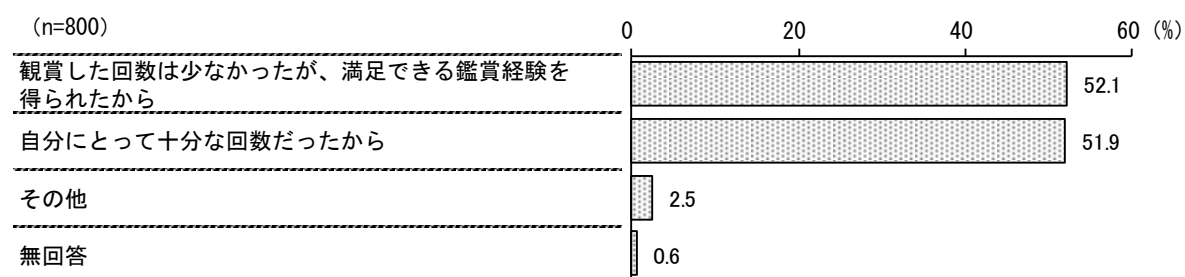
## (8) 「満足できた」理由

◇「観賞した回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」、「自分にとって十分な回数だったから」がともに5割を超える

【問7で「1 満足できた」とお答えの方に】

問8 満足できた理由はなんですか。(〇はいくつでも)

<図表1-17> 「満足できた」理由



「満足できた」と回答した800人を対象に、その理由を聞いたところ、「観賞した回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」(52.1%)、「自分にとって十分な回数だったから」(51.9%)がともに5割を超えている。

(図表1-17)

### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表1-18)

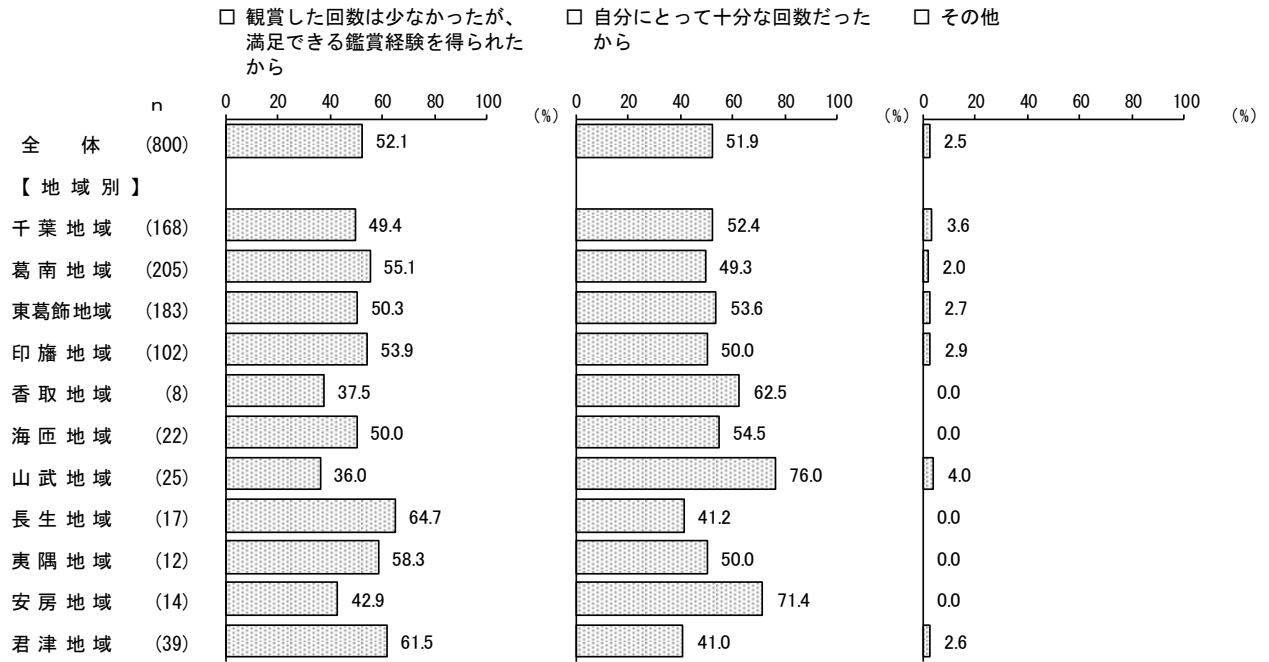
### 【性・年代別】

性・年代別で見ると、「観賞した回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」は、女性の70～74歳(71.7%)が7割を超え、女性の50代(63.4%)が6割を超え、それぞれ高くなっている。

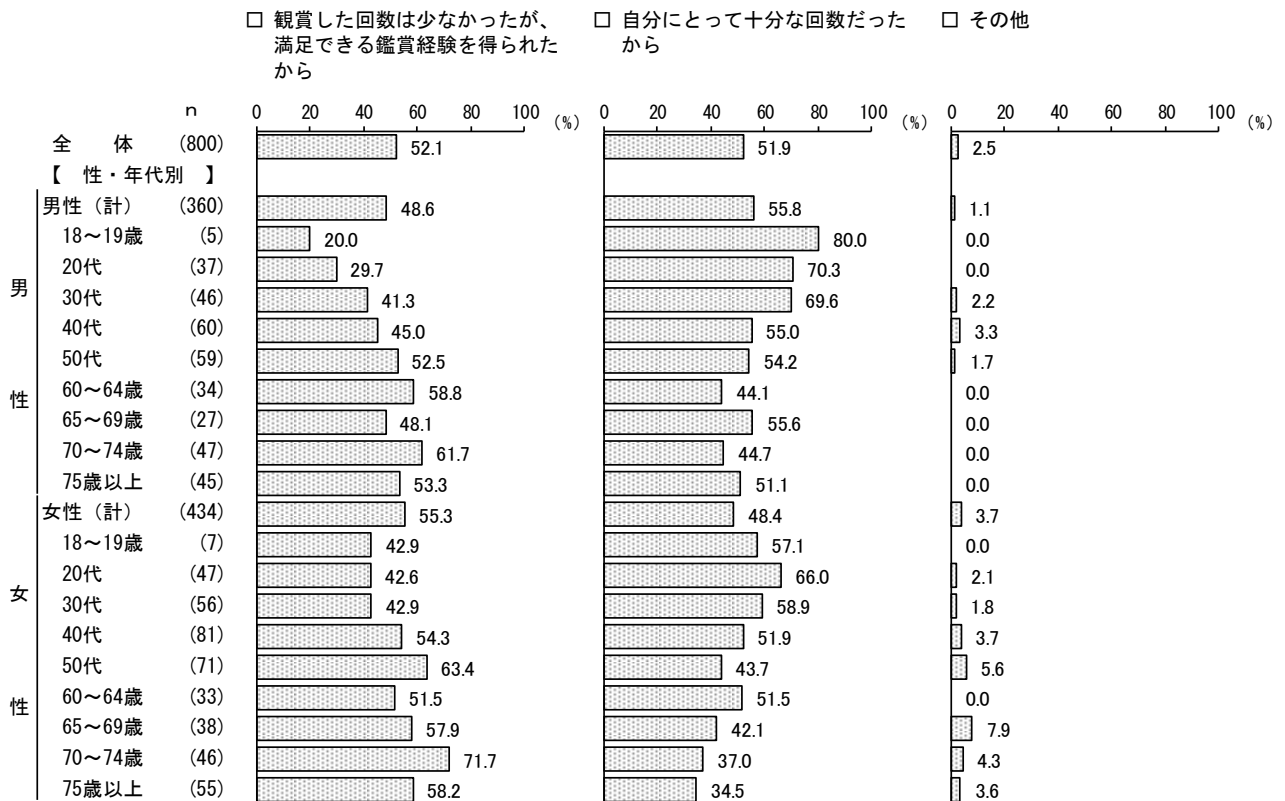
「自分にとって十分な回数だったから」は、男性の20代(70.3%)が7割、男性の30代(69.6%)が約7割、女性の20代(66.0%)が6割台半ばで、それぞれ高くなっている。

(図表1-19)

<図表 1-18> 「満足できた」理由／地域別



<図表 1-19> 「満足できた」理由／性・年代別



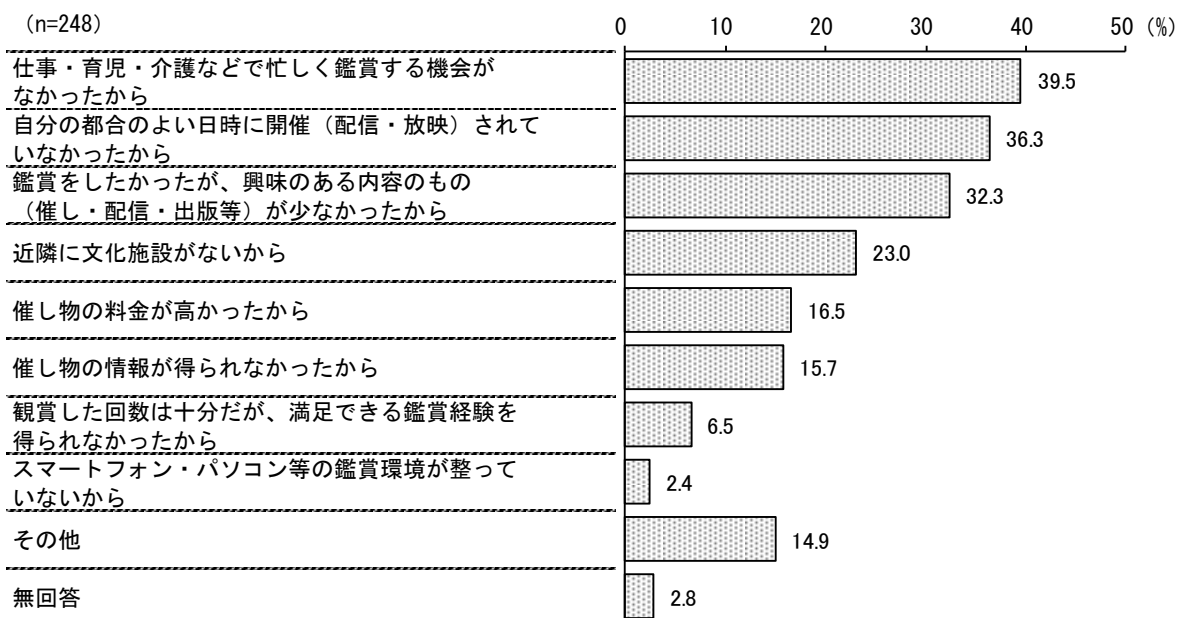
(9) 「満足できなかった」理由

◇「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する機会がなかったから」が約4割で最も高い

【問7で「2 満足できなかった」とお答えの方に】

問9 満足できなかった理由はなんですか。(〇はいくつでも)

<図表1-20> 「満足できなかった」理由



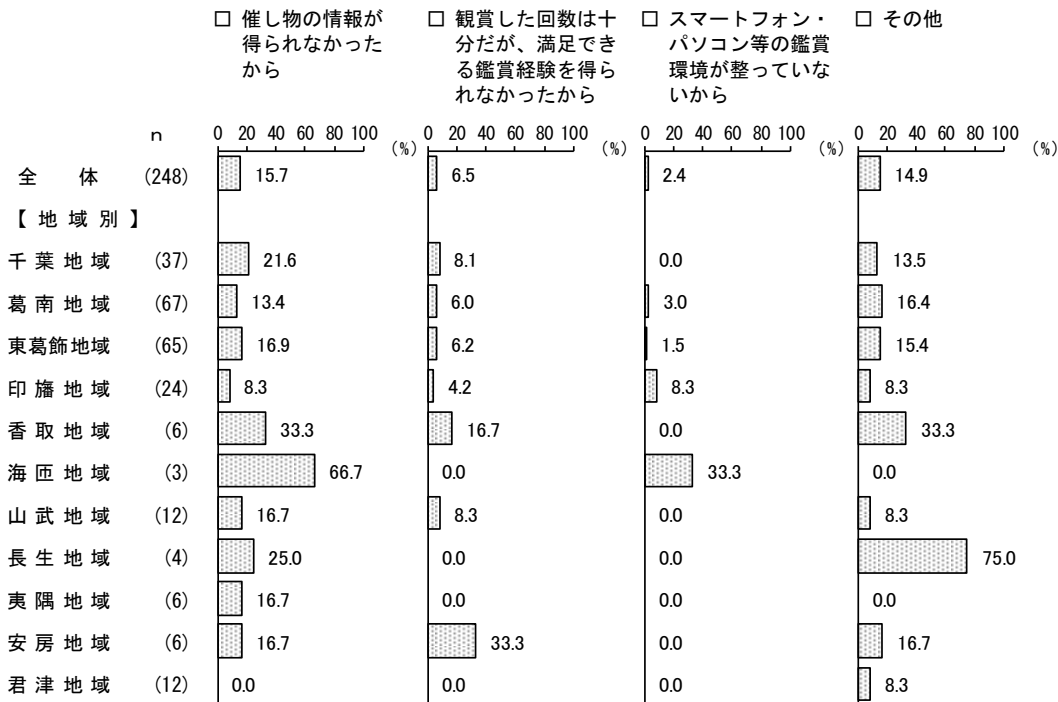
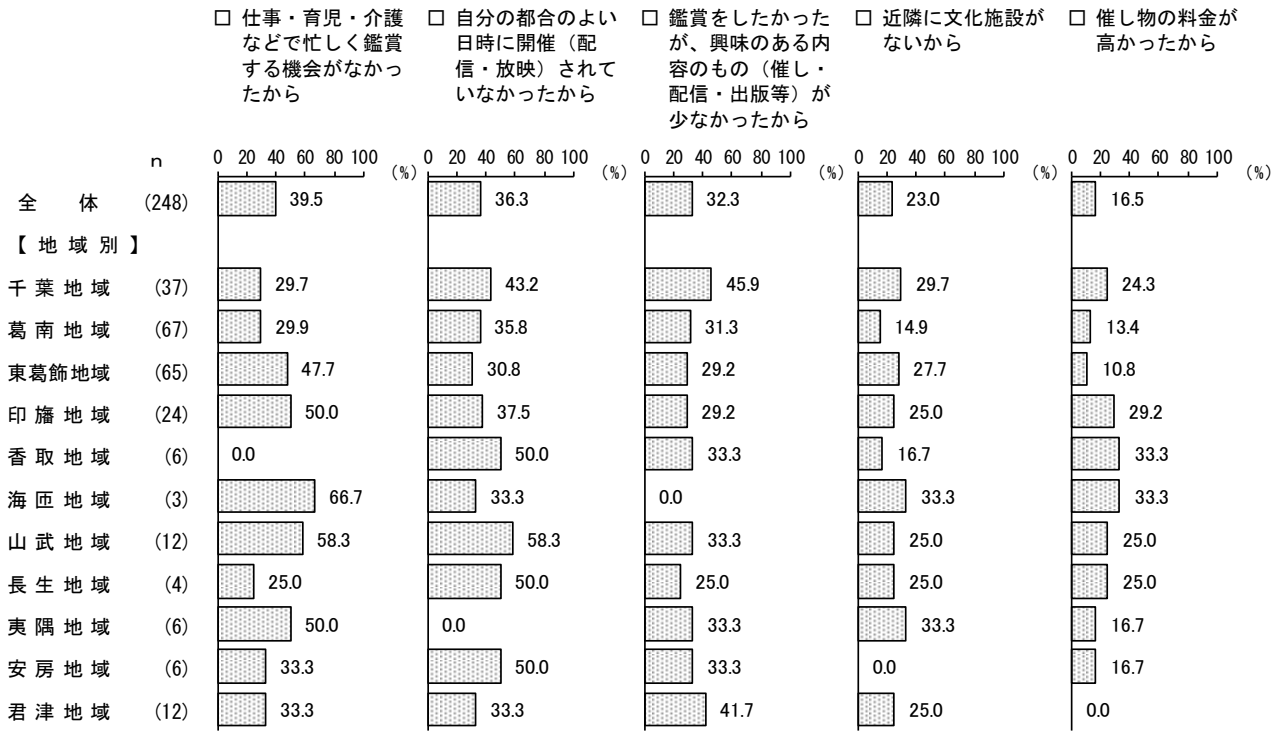
「満足できなかった」と回答した248人を対象に、満足できなかった理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する機会がなかったから」(39.5%)が約4割で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に開催(配信・放映)されていなかったから」(36.3%)、「鑑賞をしたかったが、興味のある内容のもの(催し・配信・出版等)が少なかったから」(32.3%)、「近隣に文化施設がないから」(23.0%)が続く。

(図表1-20)

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

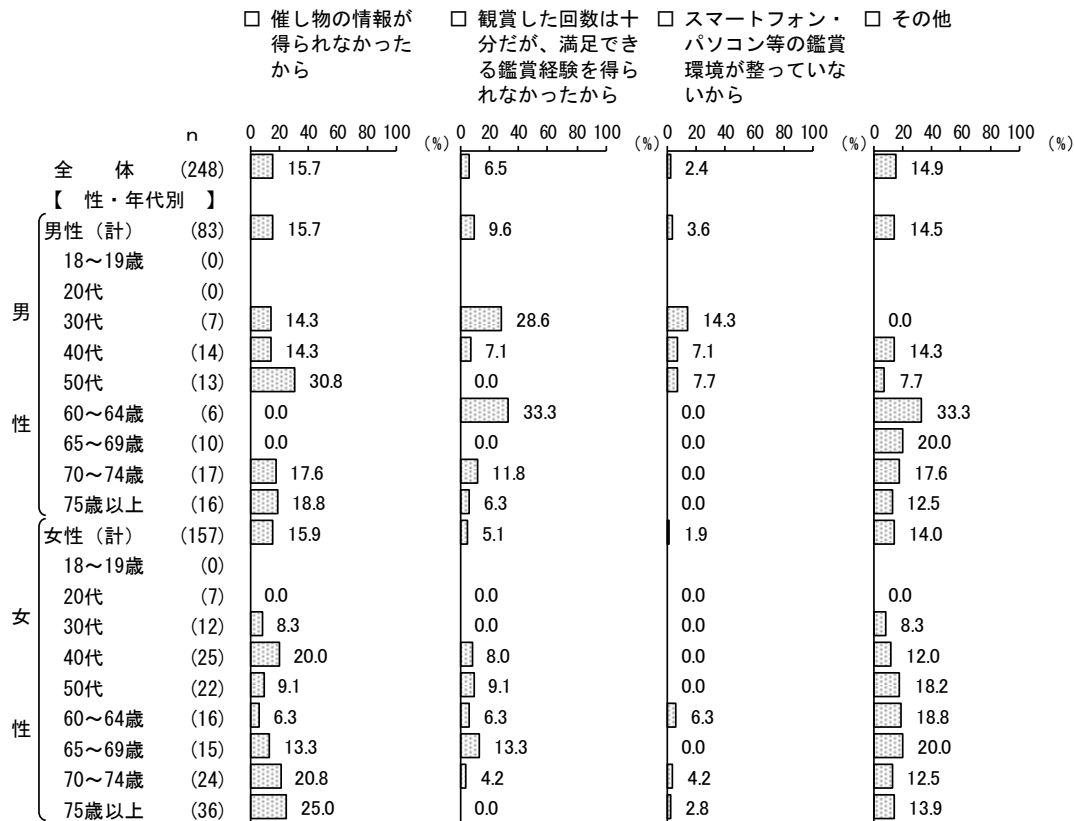
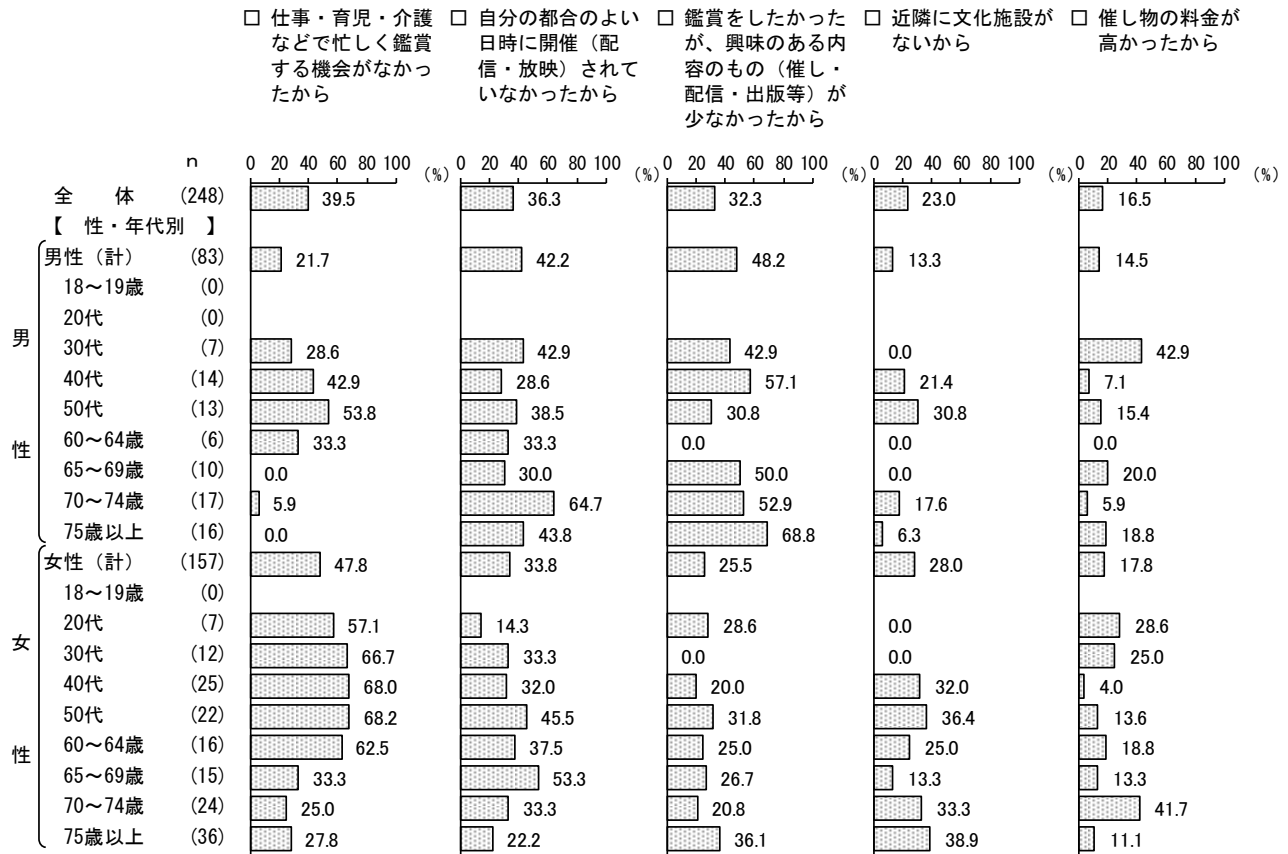
(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表1-21) (図表1-22)

<図表 1-21> 「満足できなかった」理由／地域別



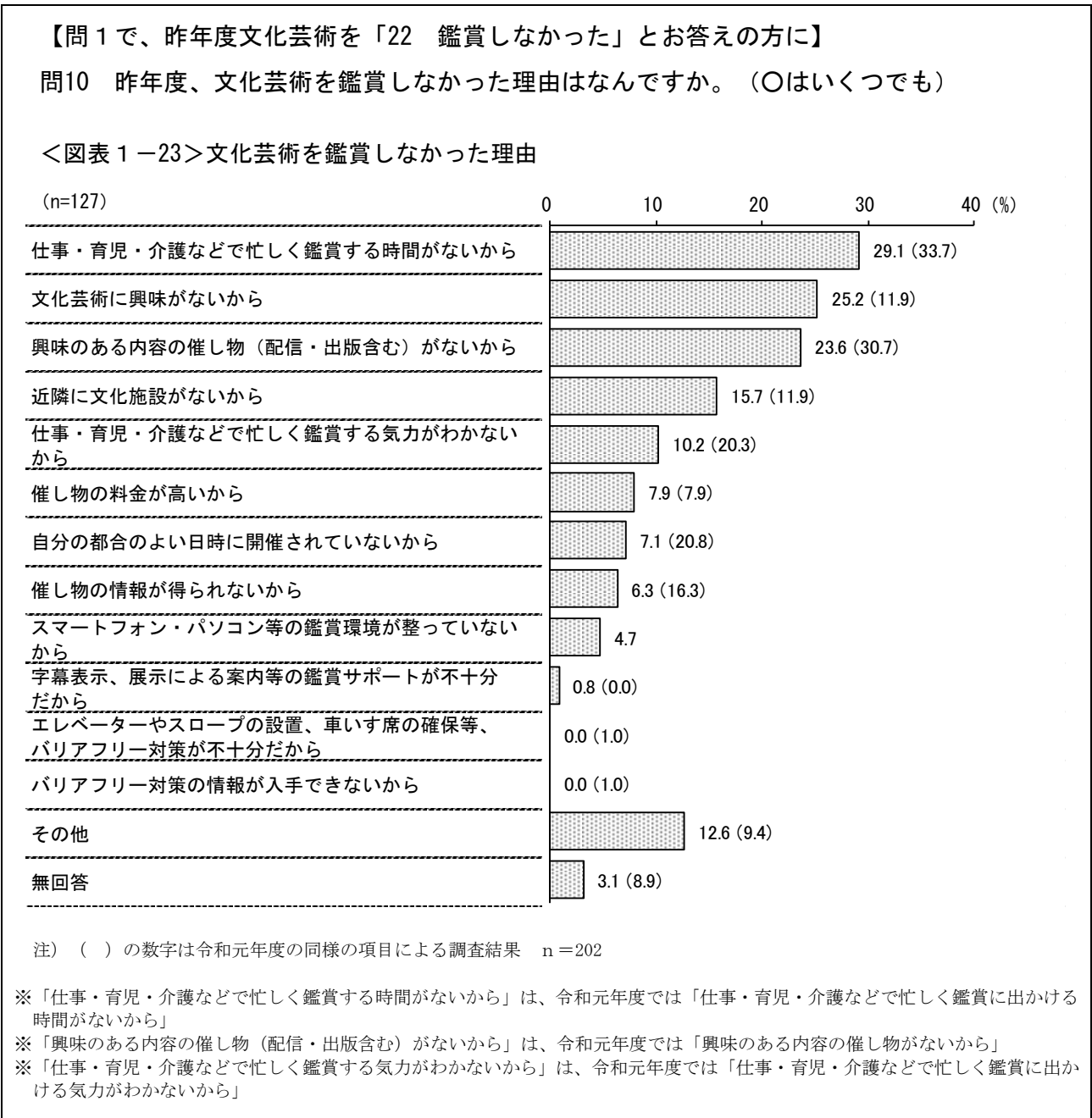


<図表1-22> 「満足できなかった」理由／性・年代別



(10) 文化芸術を鑑賞しなかった理由

◇「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する時間がないから」が約3割で最も高い

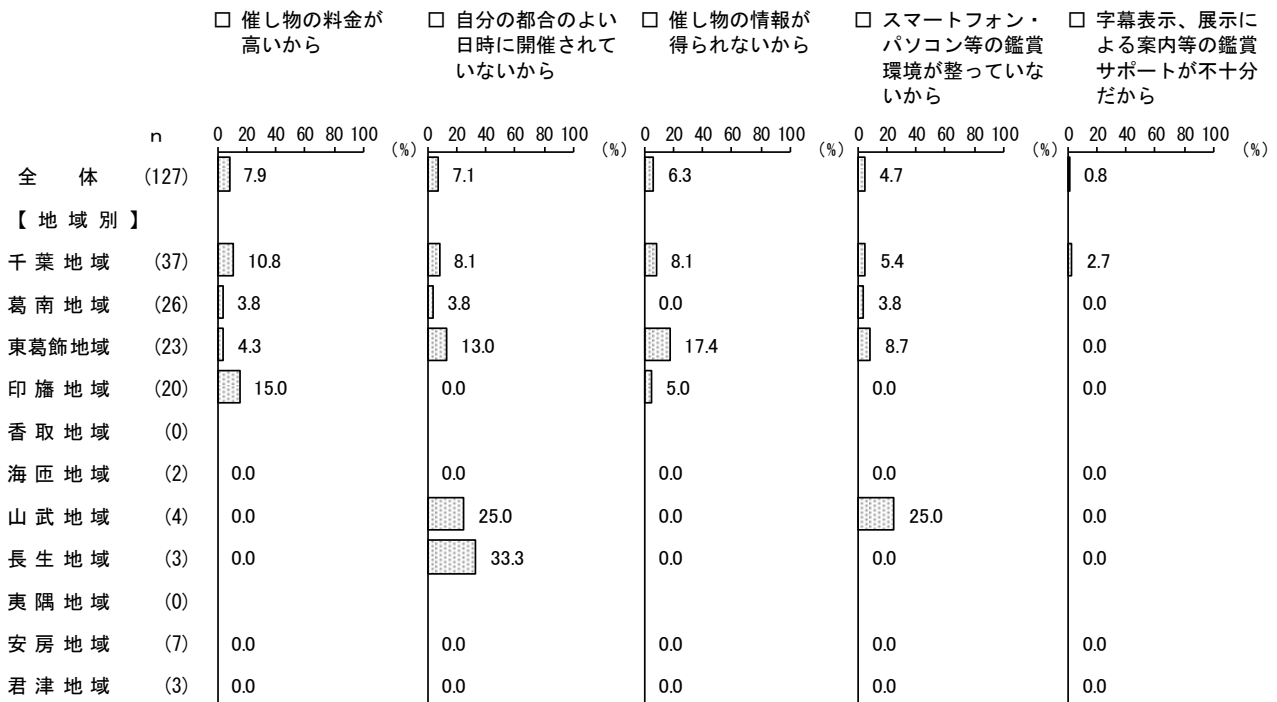
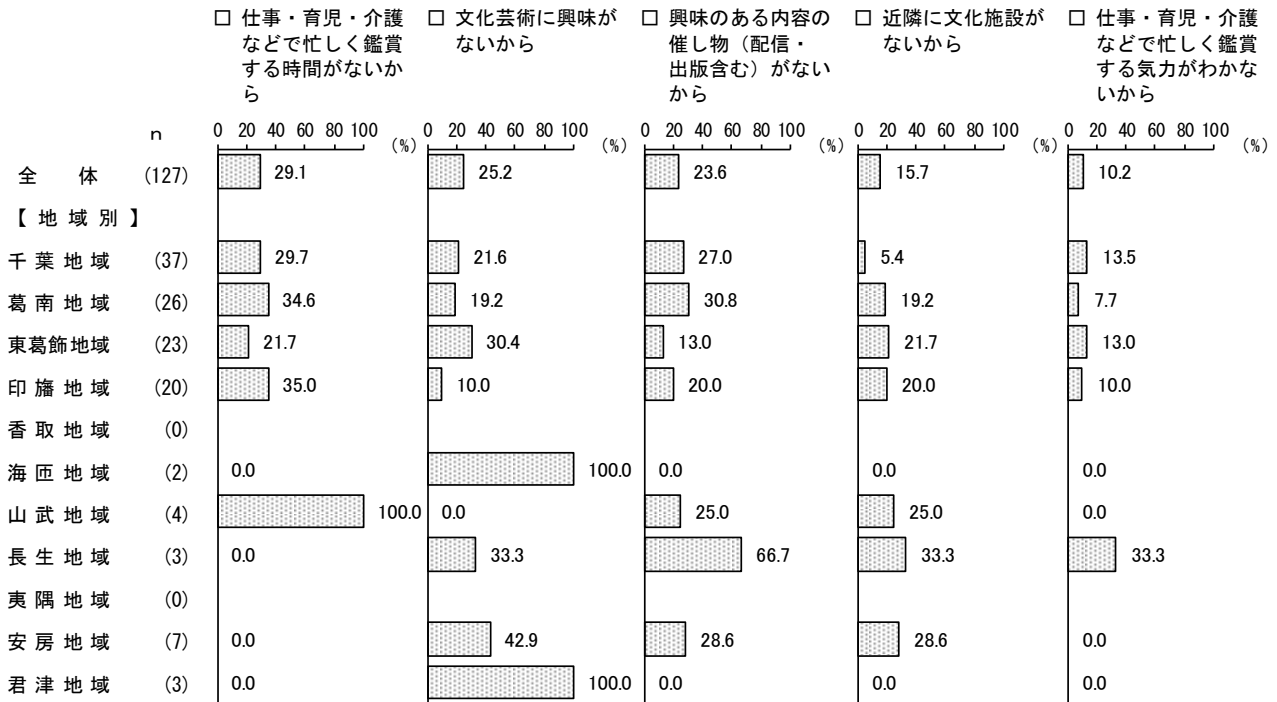


「昨年度に文化芸術を鑑賞しなかった方」127人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する時間がないから」（29.1%）が約3割で最も高く、以下「文化芸術に興味がないから」（25.2%）、「興味のある内容の催し物（配信・出版含む）がないから」（23.6%）、「近隣に文化施設がないから」（15.7%）が続く。

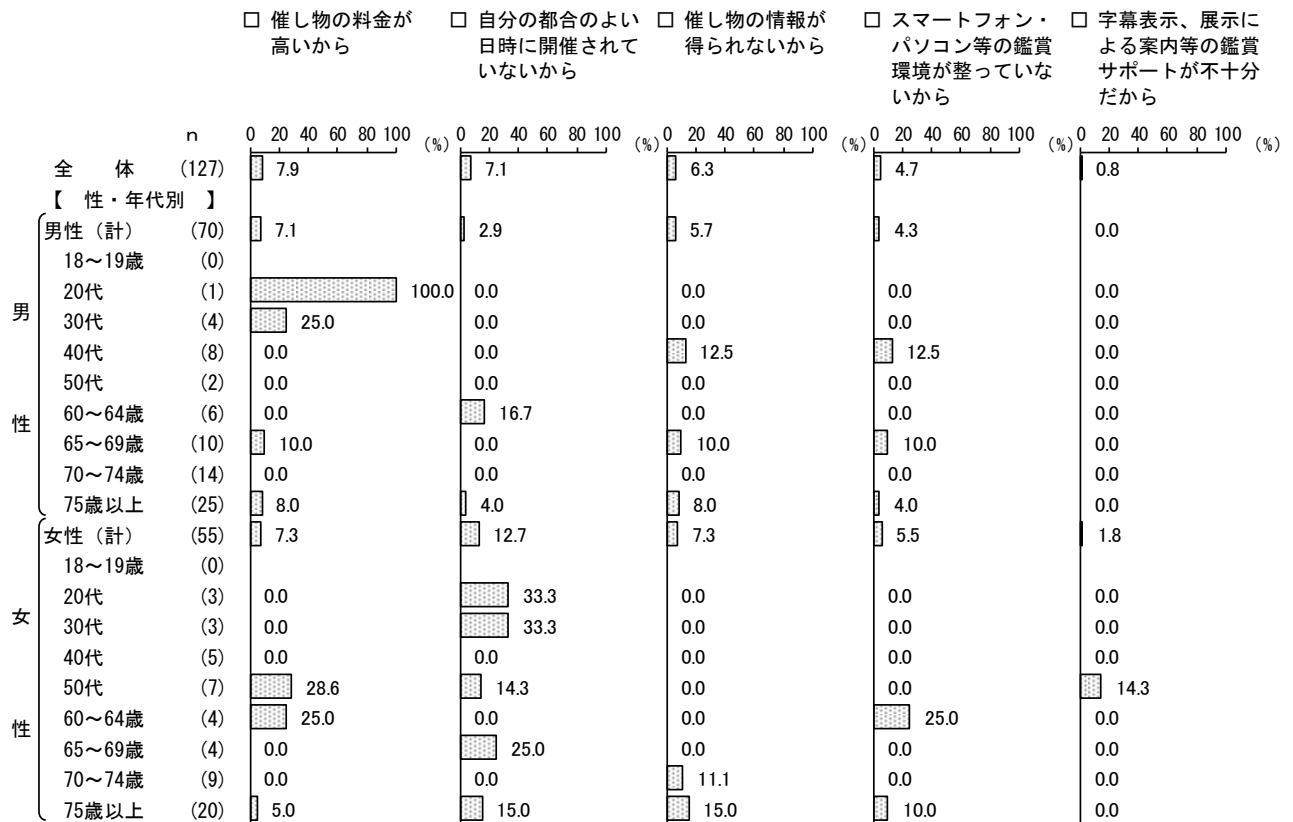
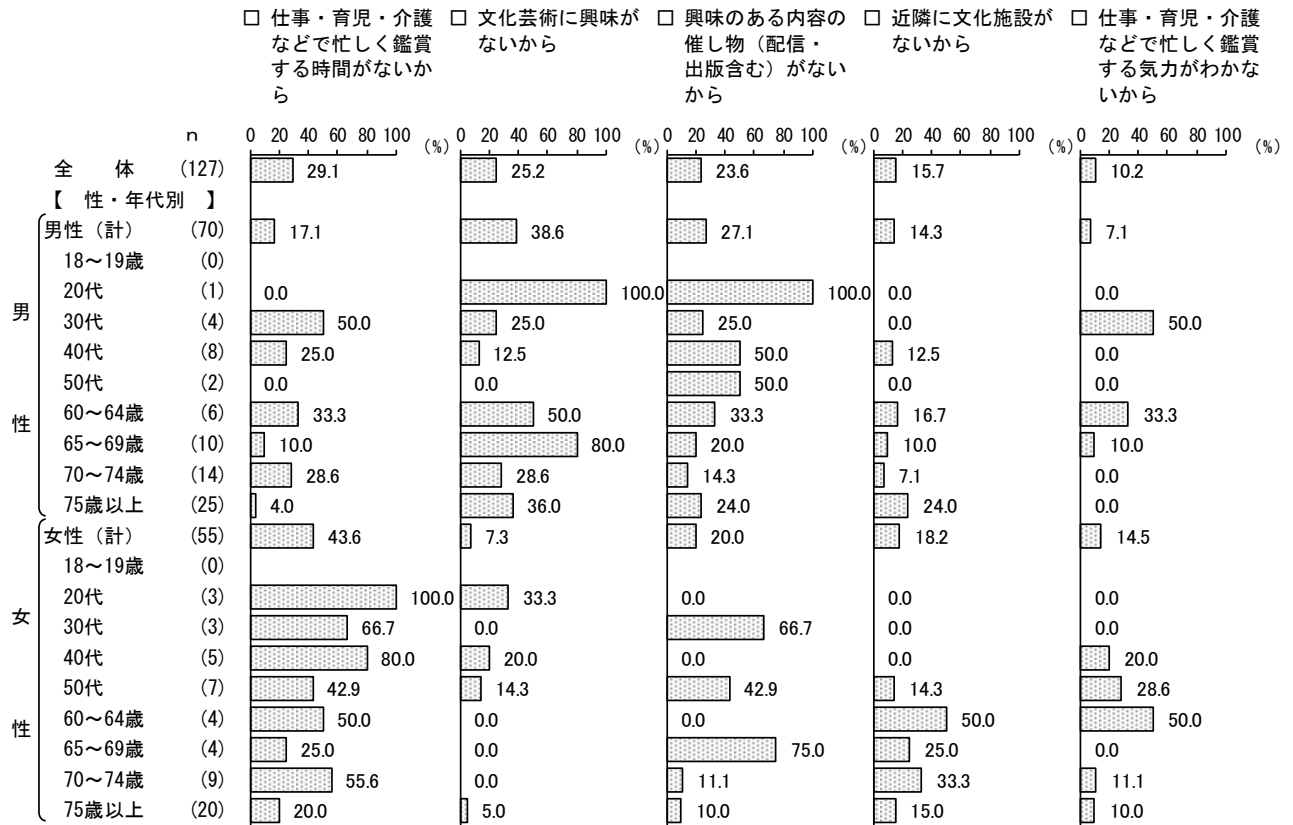
(図表1-23)

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。  
 (11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表1-24) (図表1-25)

<図表 1-24>文化芸術を鑑賞しなかった理由／地域別（上位10項目）



<図表1-25>文化芸術を鑑賞しなかった理由／性・年代別（上位10項目）



(11) 昨年度鑑賞しなかった方の普段の余暇活動（自由記述の集計）

◇「テレビ」が最も多い

【問1で、昨年度文化芸術を「22 鑑賞しなかった」とお答えの方に】

問11 普段の余暇時間※に鑑賞しているもの、活動していることは何かありますか。（例：スポーツ観戦をしている、ゲームをしている 等）

※余暇時間とは、いわゆる生活時間のうち、労働および睡眠・食事・家事その他の生活を営む上で必要となる時間を除いた、自分の好きに過ごせる時間のことを指します。

<図表1-26>昨年度鑑賞しなかった方の普段の余暇活動（自由記述）

順位	内容	件数
第1位	テレビ	22
第2位	スポーツ観戦	21
第3位	ゲーム	13
第4位	動画配信サービス	12
第5位	家庭菜園／ガーデニング	8
第6位	スポーツ／運動	6
〃	スマートフォン／PC	6
第8位	読書	4
第9位	音楽鑑賞	3
〃	余暇時間がない	3
第11位	散歩	2
〃	アニメ	2
〃	パチンコ／競馬	2
〃	フラワーアレンジメント	2
-	その他	11
-	特になし	13

合 計（延べ件数） 130

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容にわたる場合には、それぞれの項目へ分類。

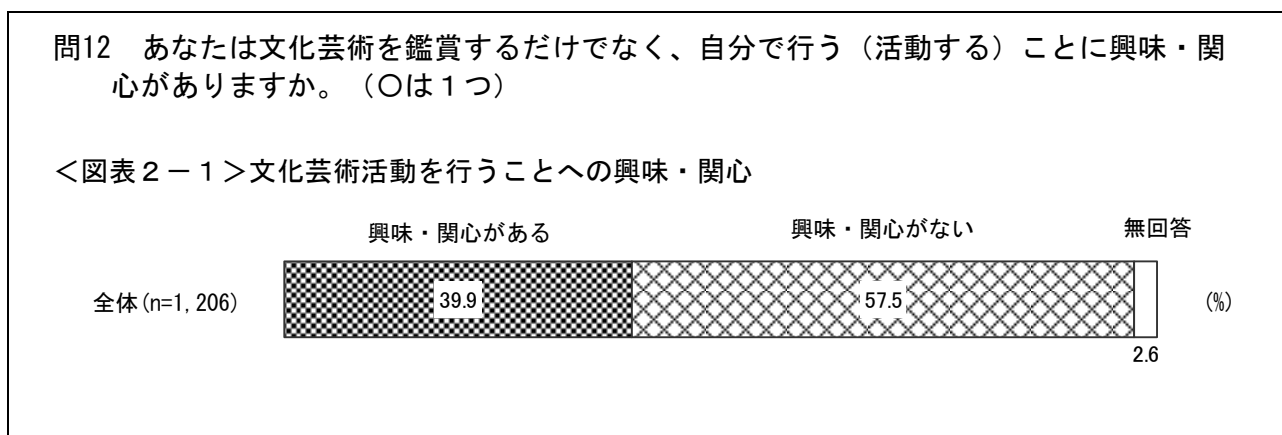
「昨年度に文化芸術を鑑賞しなかった方」127人を対象に、普段の余暇活動について聞いたところ、「テレビ」が22件で最も多く、以下「スポーツ観戦」（21件）、「ゲーム」（13件）、「動画配信サービス」（12件）が続く。

（図表1-26）

## 2. 自分自身の参加・出演について

### (1) 文化芸術活動を行うことへの興味・関心

◇「興味・関心がある」は約4割

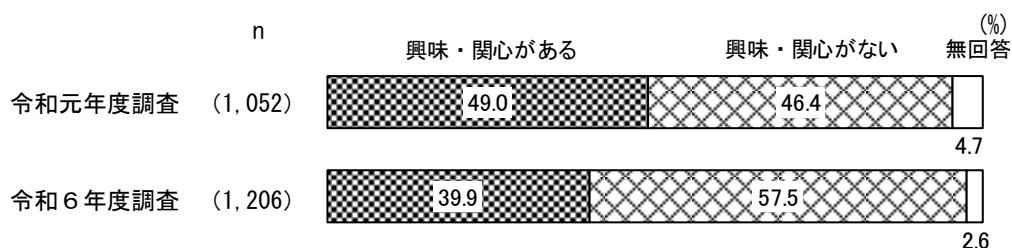


文化芸術活動を自分で行う（活動する）ことへの興味・関心を聞いたところ、「興味・関心がある」（39.9%）が約4割となっている。

一方で「興味・関心がない」（57.5%）は約6割となっている。

(図表2-1)

〔参考〕令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

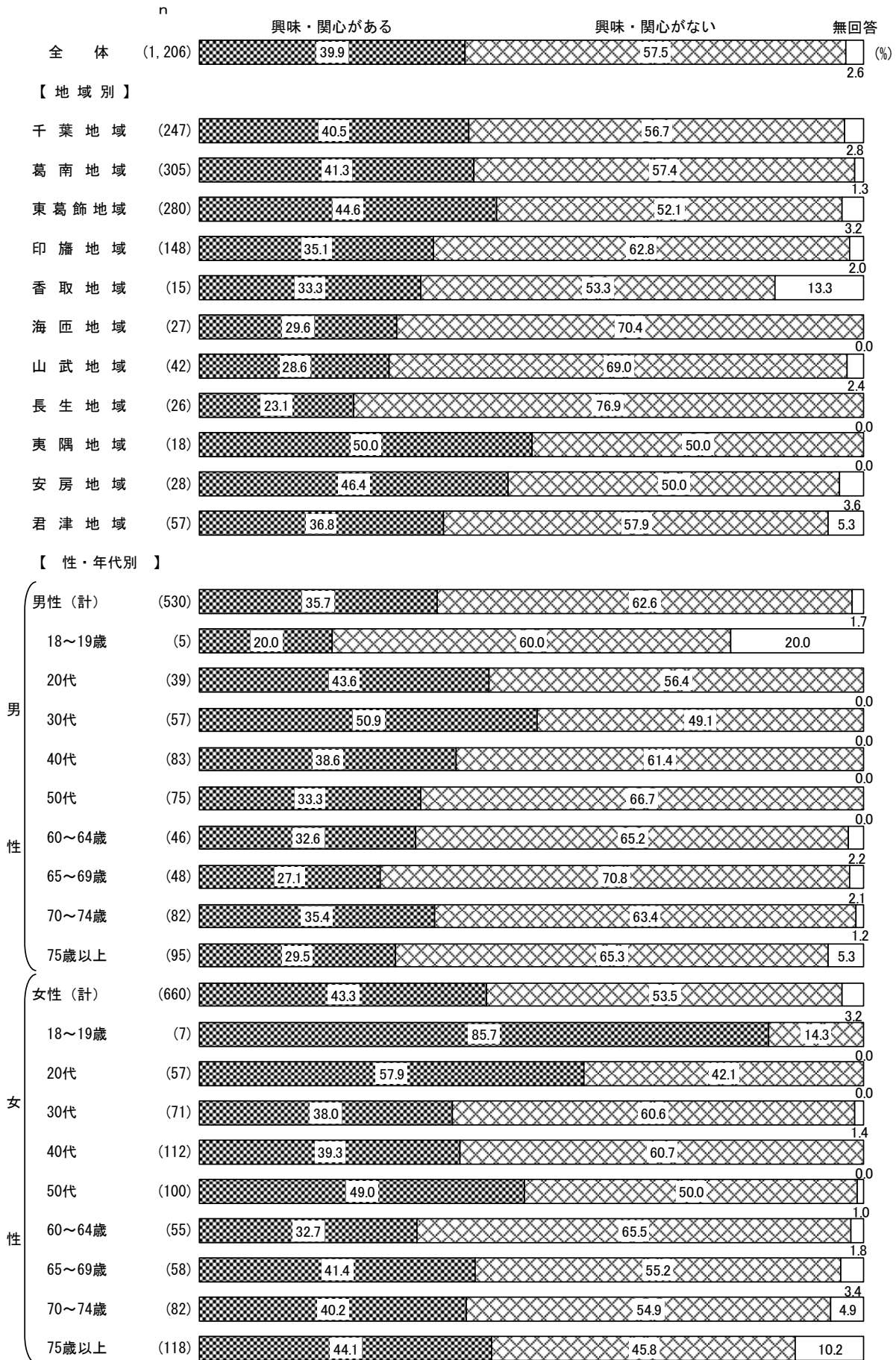
(図表2-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別で見ると、「興味・関心がある」は、女性の20代（57.9%）が約6割で高くなっている。

(図表2-2)

<図表 2-2>文化芸術活動を行うことへの興味・関心／地域別、性・年代別



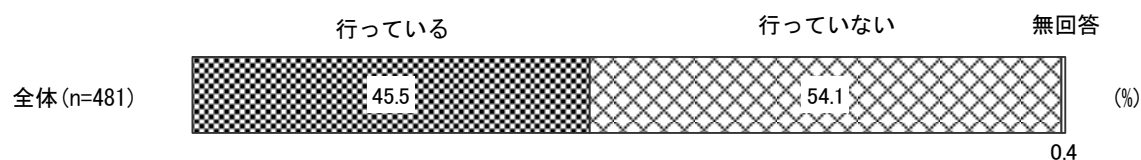
## (2) 文化芸術活動の実施の有無

◇「行っている」が4割台半ば

【問12で「1 興味・関心がある」と回答した方に】

問13 あなたは文化芸術活動を行っていますか。(○は1つ)

＜図表2-3＞文化芸術活動の実施の有無

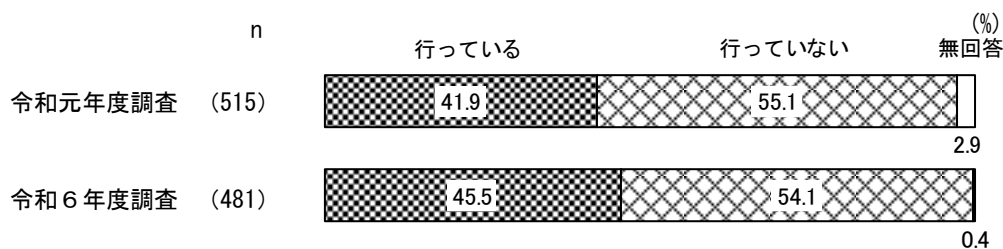


文化芸術活動を行うことに「興味・関心がある」と回答した481人を対象に、文化芸術活動を行っているかを聞いたところ、「行っている」(45.5%)が4割台半ばとなっている。

一方で、「行っていない」(54.1%)は5割台半ばとなっている。

(図表2-3)

〔参考〕令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表2-4)

### 【性・年代別】

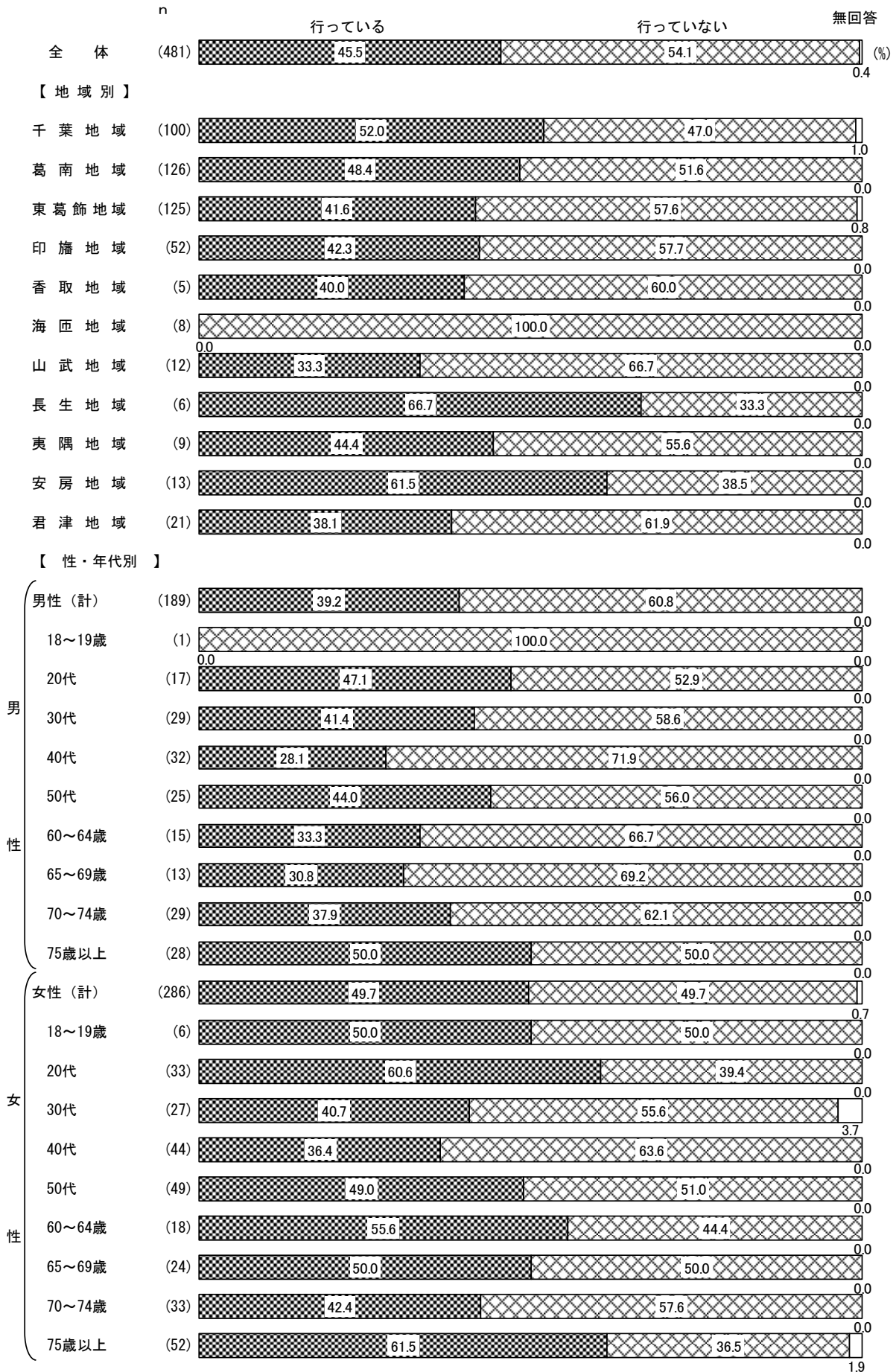
性・年代別で見ると、「行っている」は、女性の75歳以上(61.5%)で6割を超えて高くなっている。

一方で「行っていない」は、男性の40代(71.9%)が7割を超えて高くなっている。

(図表2-4)



<図表2-4>文化芸術活動の実施の有無／地域別、性・年代別



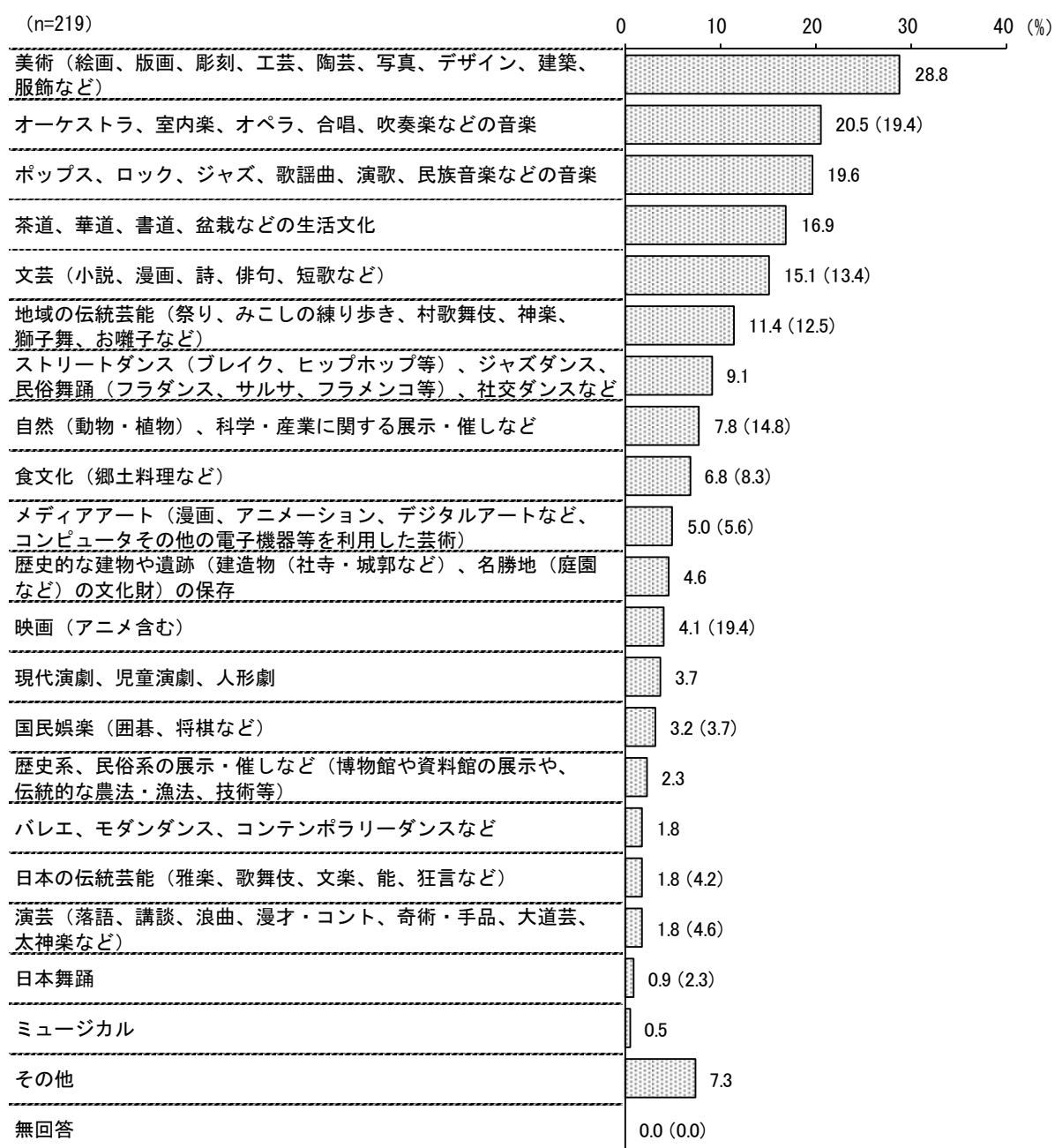
### (3) 実施しているジャンル

◇「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が約3割で最も高い

【問13で「1 行っている」とお答えの方に】

問14 あなたが行っている文化芸術活動のジャンルはなんですか。（〇はいくつでも）

<図表2-5>実施しているジャンル



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=216

※「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」は、令和元年度では「音楽（クラシック）」

※「地域の伝統芸能（祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など）」は、令和元年度では「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」

※「メディアアート（漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術）」は、令和元年度では「電子機器等を利用した芸術（デジタルアートなど）」

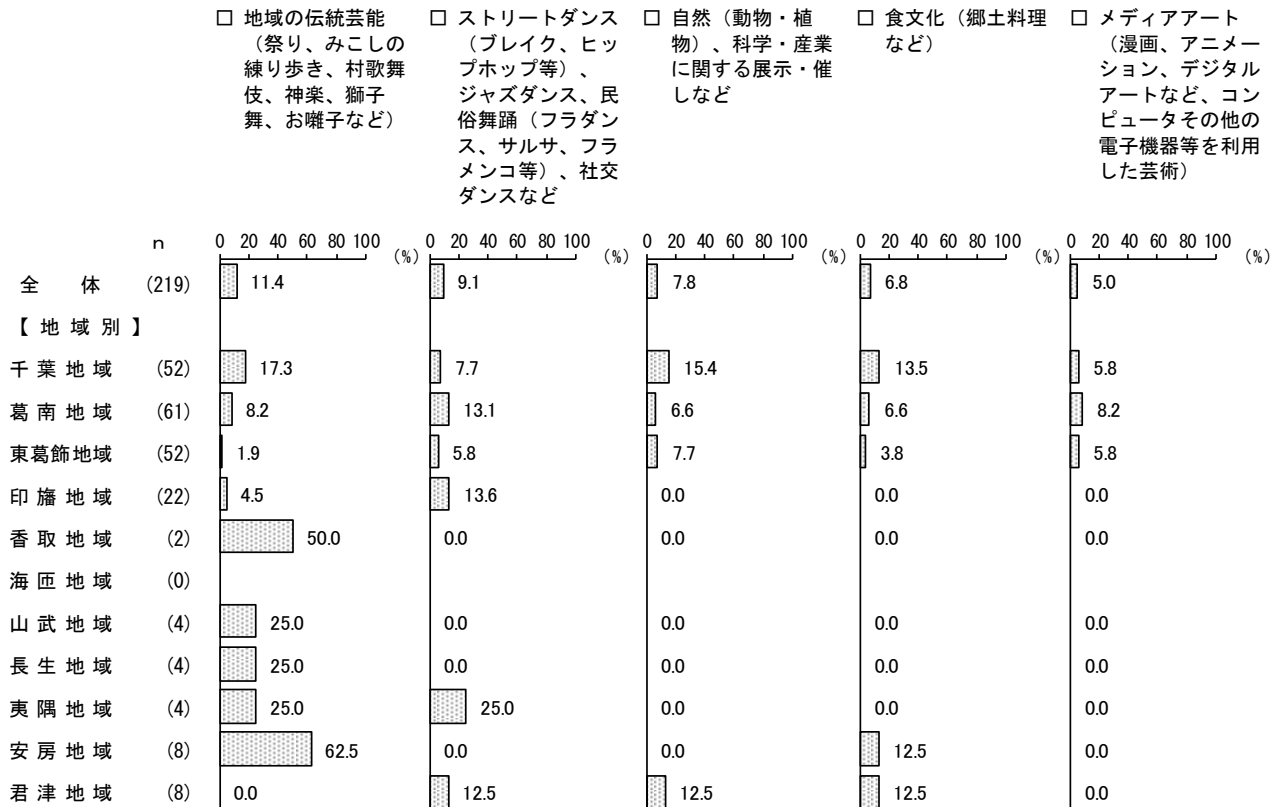
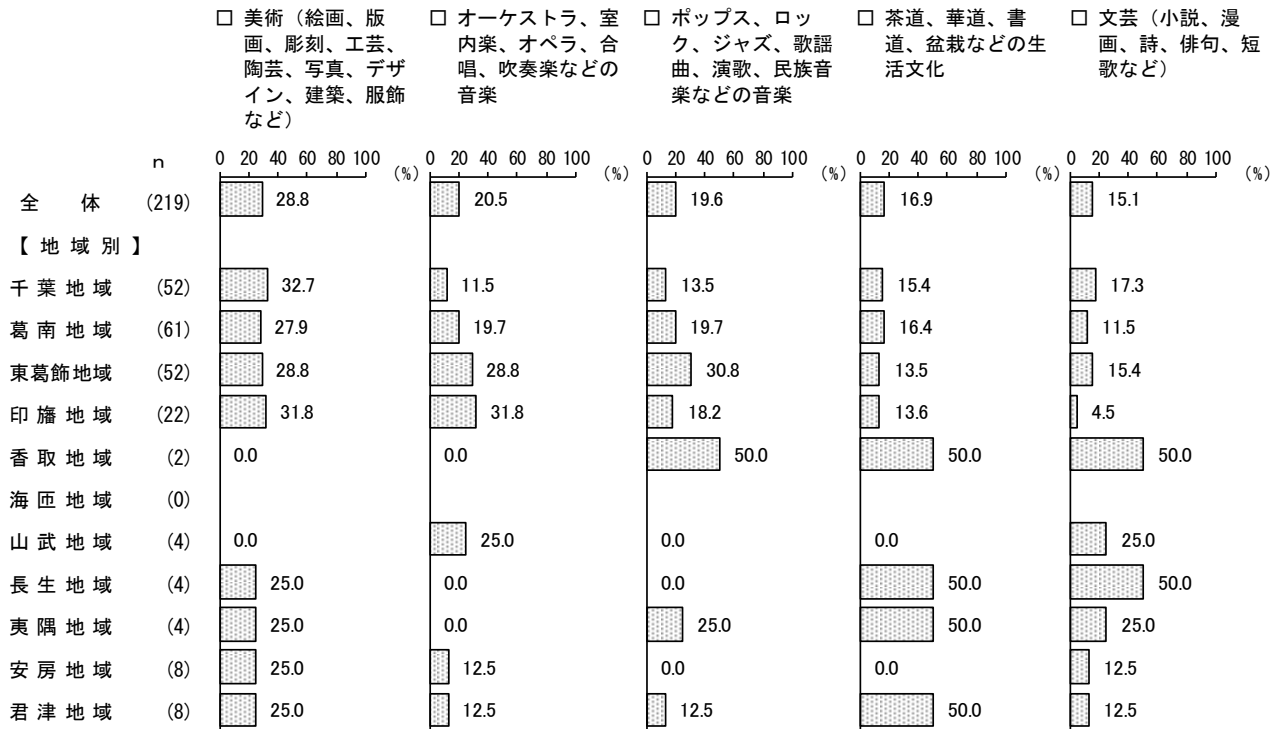
※「日本の伝統芸能（雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など）」は、令和元年度では「日本の伝統芸能（歌舞伎、文楽、能、狂言など）」  
※「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）」は、令和元年度では「演芸（落語、講談、漫才など）」

「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、行っているジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」（28.8%）が約3割で最も高く、以下「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」（20.5%）、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」（19.6%）、「茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化」（16.9%）が続く。

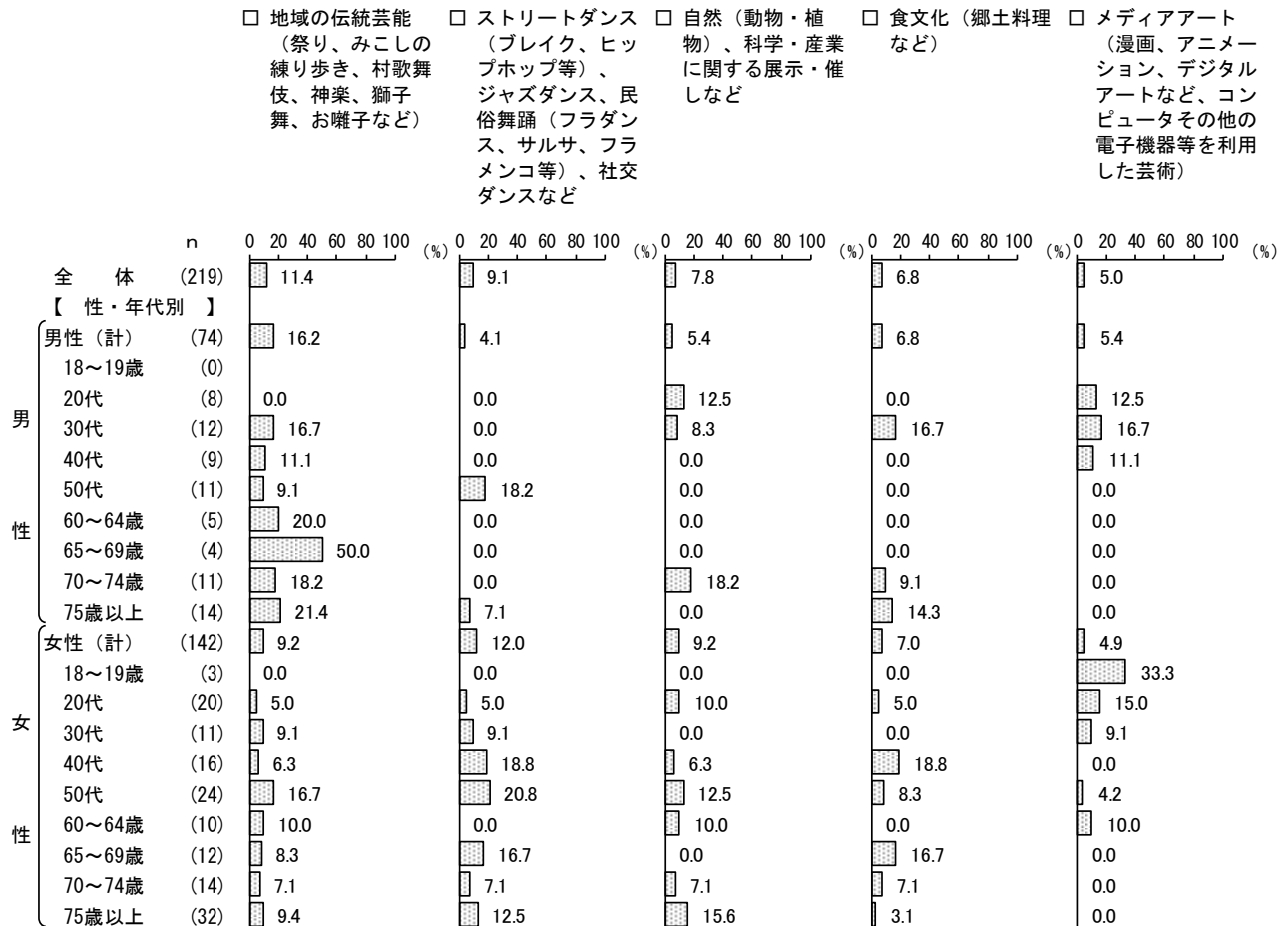
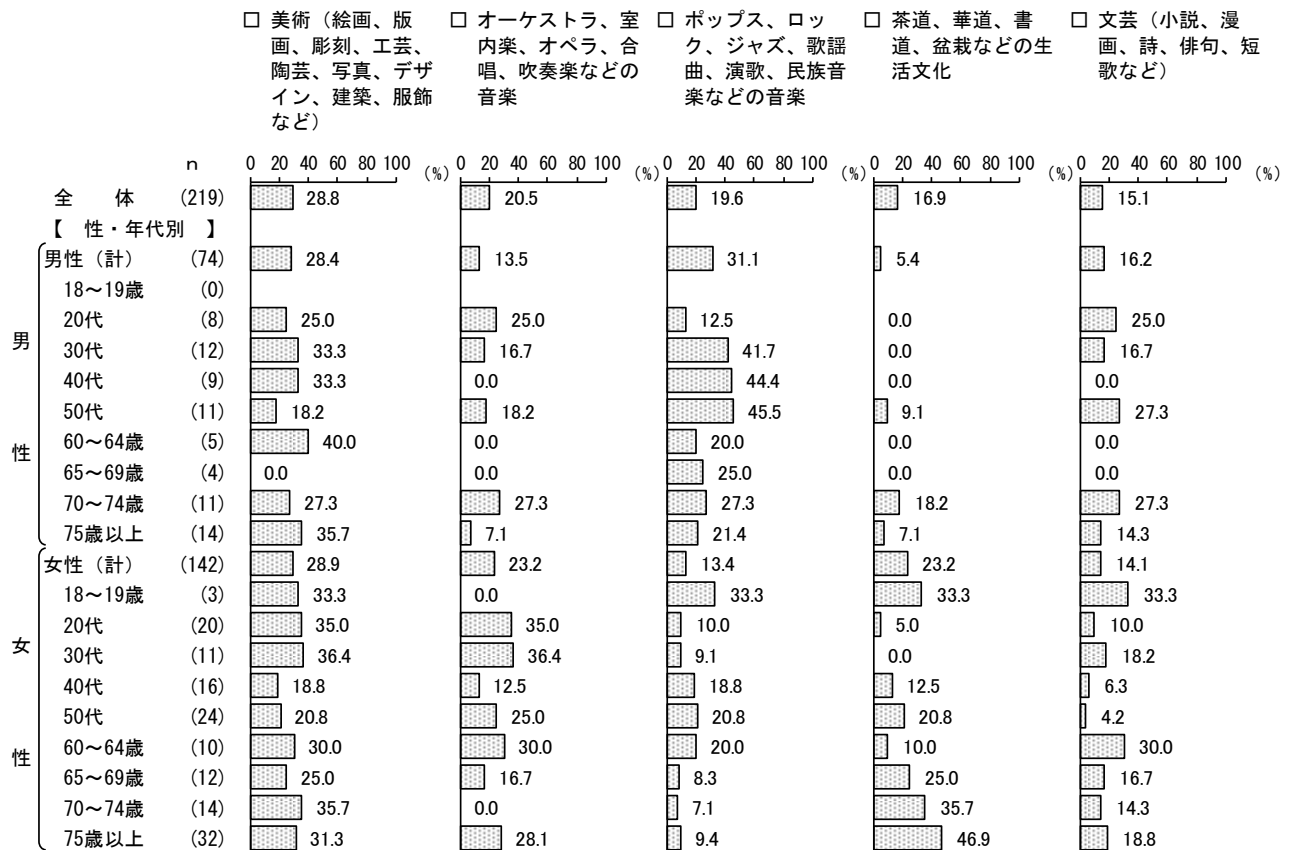
（図表2-5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。  
（11ページ「報告書の見方（4）」を参照）（図表2-6）（図表2-7）

<図表2-6>実施しているジャンル／地域別（上位10項目）



<図表2-7>実施しているジャンル／性・年代別（上位10項目）



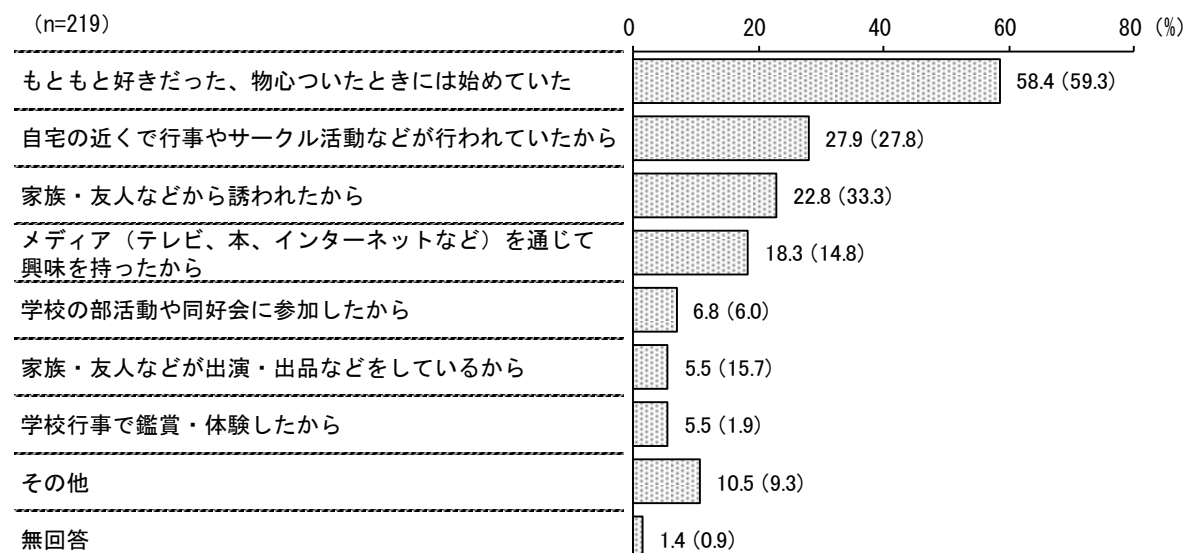
#### (4) 文化芸術活動を始めた理由

◇「もともと好きだった、物心ついたときには始めていた」が約6割で最も高い

【問13で「1 行っている」とお答えの方に】

問15 問14で回答した文化芸術活動を始めた理由はなんですか。(〇はいくつでも)

＜図表2-8＞文化芸術活動を始めた理由



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=216

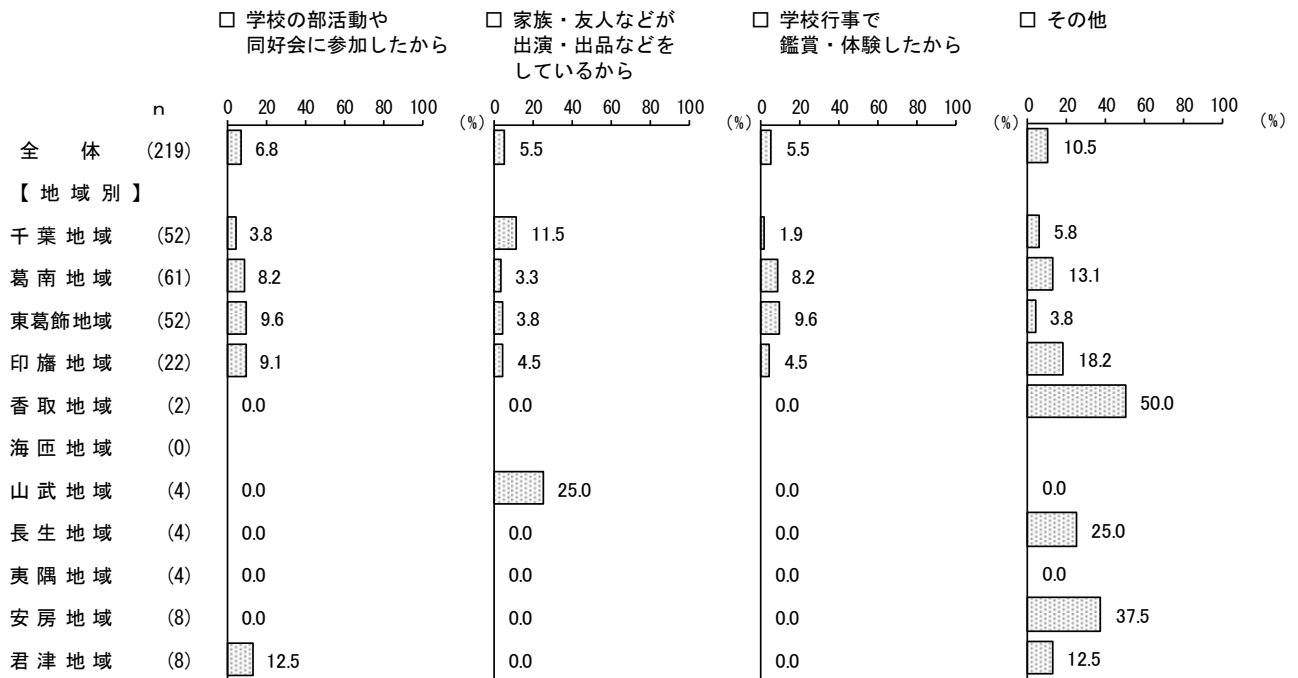
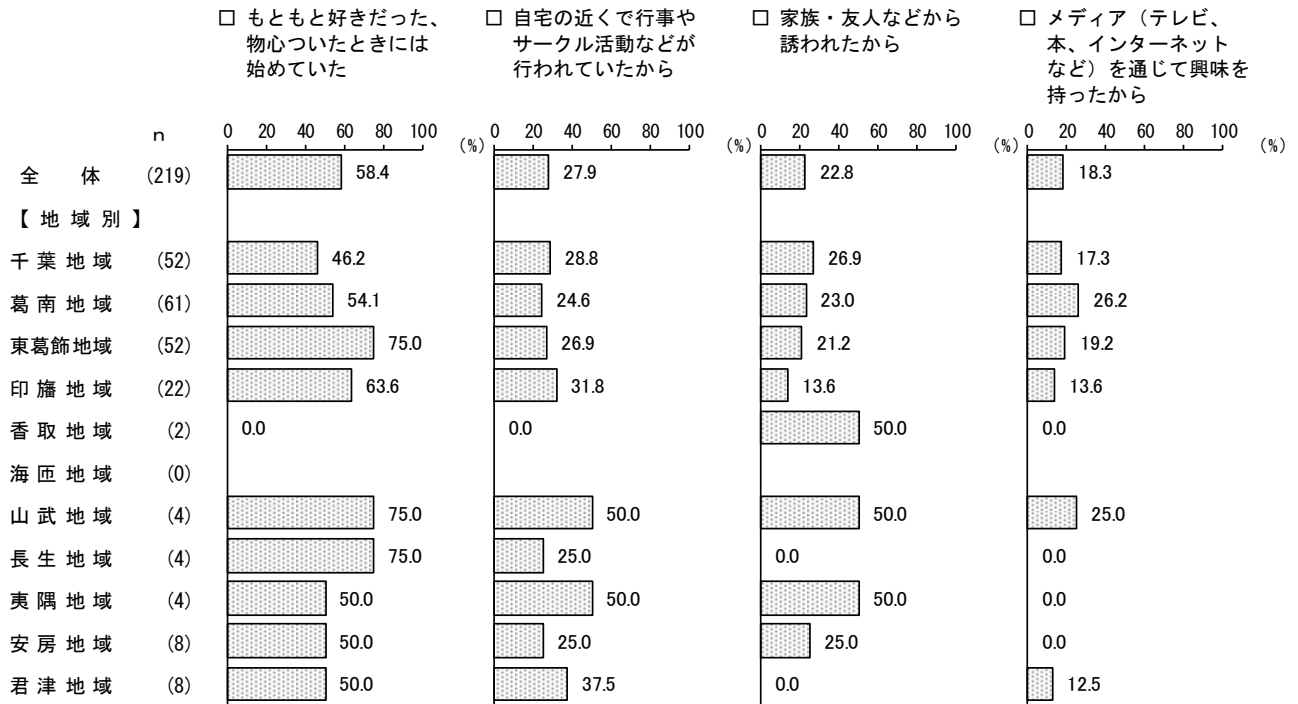
「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、文化芸術活動を始めた理由を聞いたところ、「もともと好きだった、物心ついたときには始めていた」(58.4%)が約6割で最も高く、以下「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」(27.9%)、「家族・友人などから誘われたから」(22.8%)、「メディア(テレビ、本、インターネットなど)を通じて興味を持ったから」(18.3%)が続く。

(図表2-8)

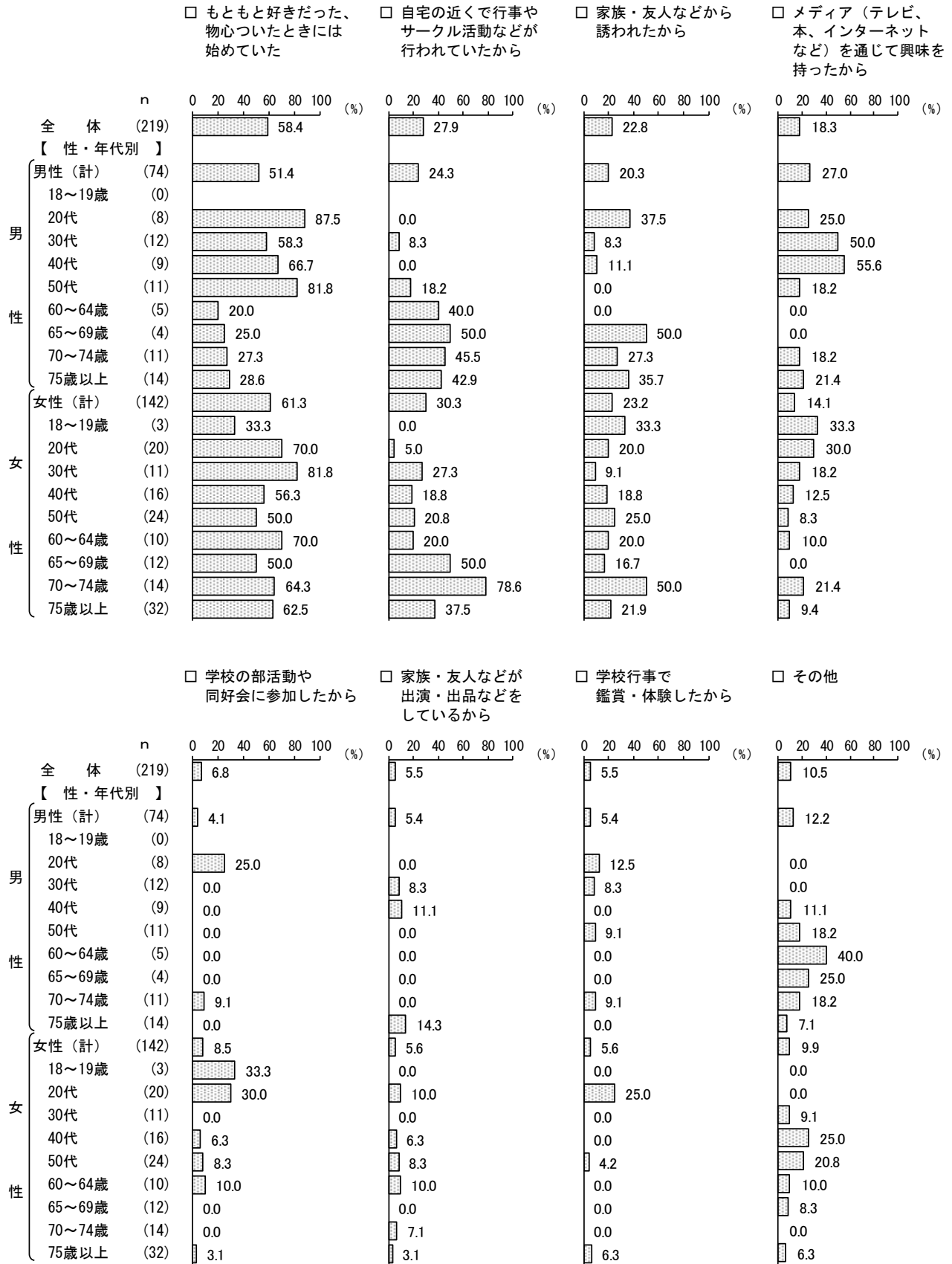
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示することと定める。

(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表2-9) (図表2-10)

<図表2-9>文化芸術活動を始めた理由／地域別



<図表2-10>文化芸術活動を始めた理由／性・年代別





(5) コロナ禍前と比べた活動についての変化（自由記述の集計）

◇「活動の頻度が減少した」が最も多い

【問13で「1 行っている」とお答えの方に】

問16 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前）と比べて、文化芸術活動をするに対して何か変化はありましたか。（例えば、「活動方法が変わった」、「活動に対する気持ちが変わった」など）  
どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

<図表2-11> コロナ禍前と比べた活動についての変化（自由記述）

順位	内容	件数
第1位	活動の頻度が減少した	18
第2位	文化芸術活動ができることへの喜びや感謝の気持ちを持った	14
第3位	感染予防の徹底	13
第4位	オンラインでの活動が増えた	12
第5位	活動頻度が増えた／増える見込み	7
〃	マスクを着用するようになった	7
〃	活動を再開しているが、以前の水準には戻っていない	7
第8位	活動人数の減少	6
〃	コロナ前に戻りつつある	6
第10位	活動意欲が高まった	5
第11位	外出して活動することが少なくなった	4
〃	個人での活動が増えた	4
-	その他	32
-	特になし／変化なし	32

合 計（延べ件数） 167

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容にわたる場合には、それぞれの項目へ分類。

「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、コロナ禍前と比べた活動についての変化について聞いたところ、「活動の頻度が減少した」が18件で最も多く、以下「文化芸術活動ができることへの喜びや感謝の気持ちを持った」（14件）、「感染予防の徹底」（13件）、「オンラインでの活動が増えた」（12件）が続く。

（図表2-11）

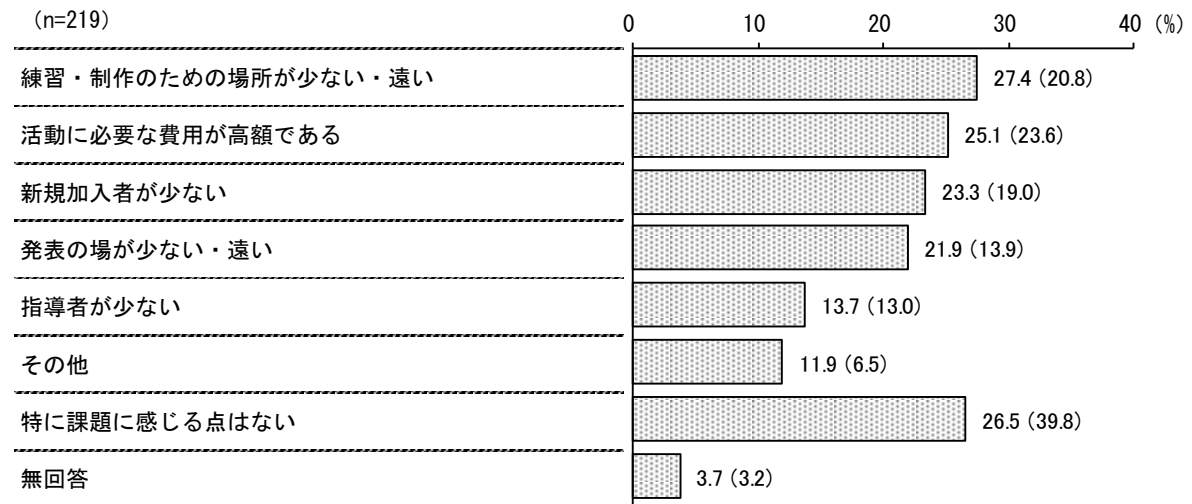
(6) 文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点

◇「練習・制作のための場所が少ない・遠い」が約3割で最も高い

【問13で「1 行っている」とお答えの方に】

問17 問14で回答した文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点はなんですか。(〇はいくつでも)

＜図表2-12＞文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点



注) ( )の数字は令和元年度の項目による調査結果 n=216  
令和元年度調査は「文化芸術活動を行う際の不満や不便な点はありませんか」の設問文で実施

※「特に課題に感ずる点はない」は、令和元年度では「特に不満や不便な点はない」

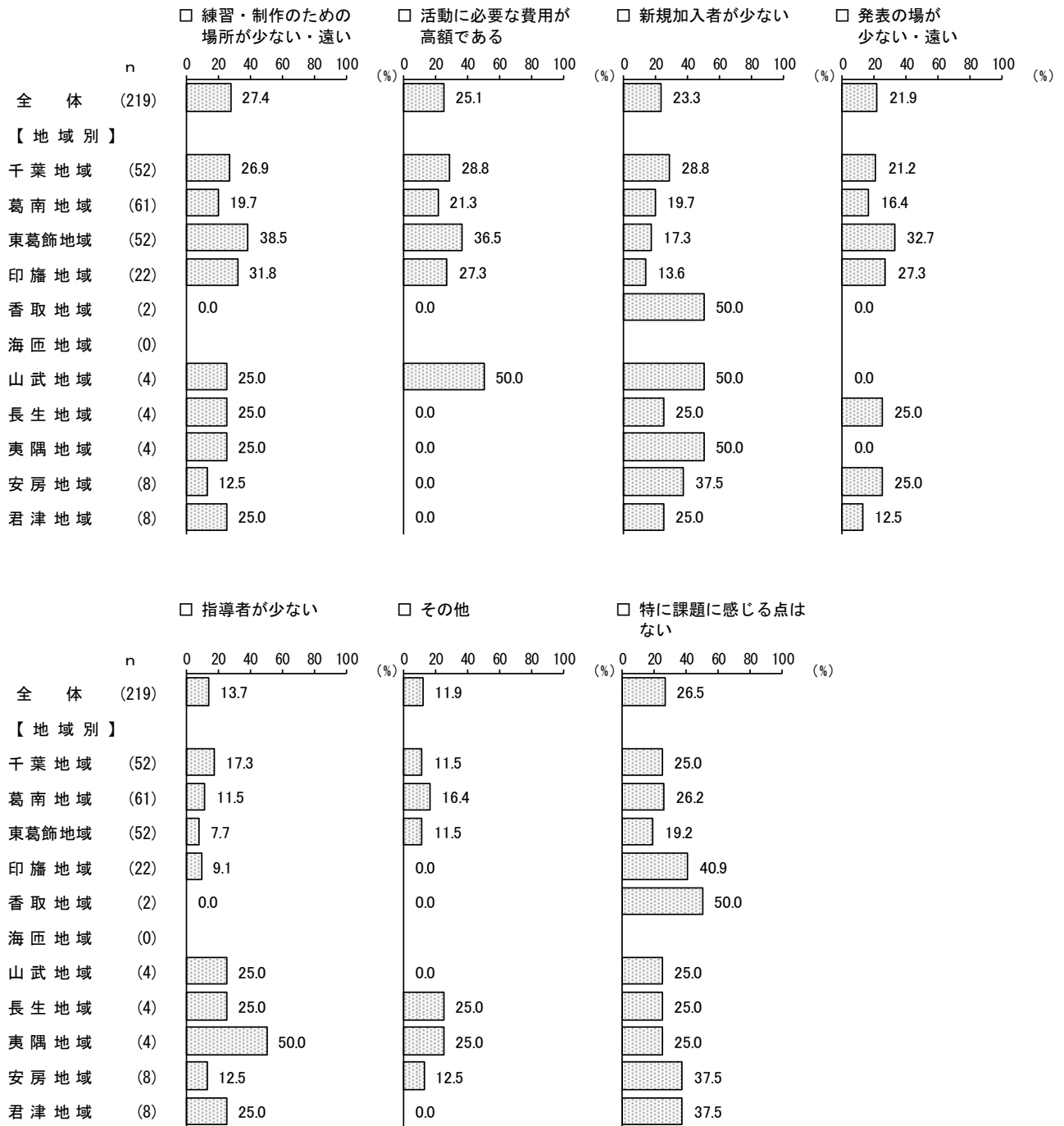
「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点を聞いたところ、「練習・制作のための場所が少ない・遠い」(27.4%)が約3割で最も高く、以下「活動に必要な費用が高額である」(25.1%)、「新規加入者が少ない」(23.3%)、「発表の場が少ない・遠い」(21.9%)が続く。

(図表2-12)

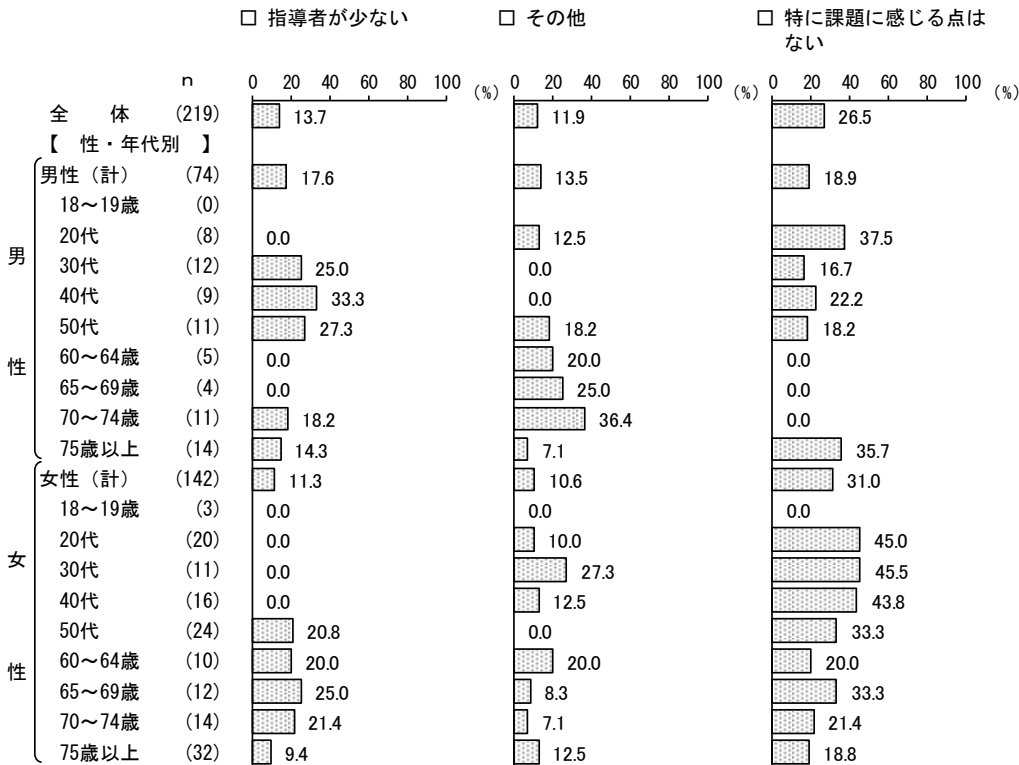
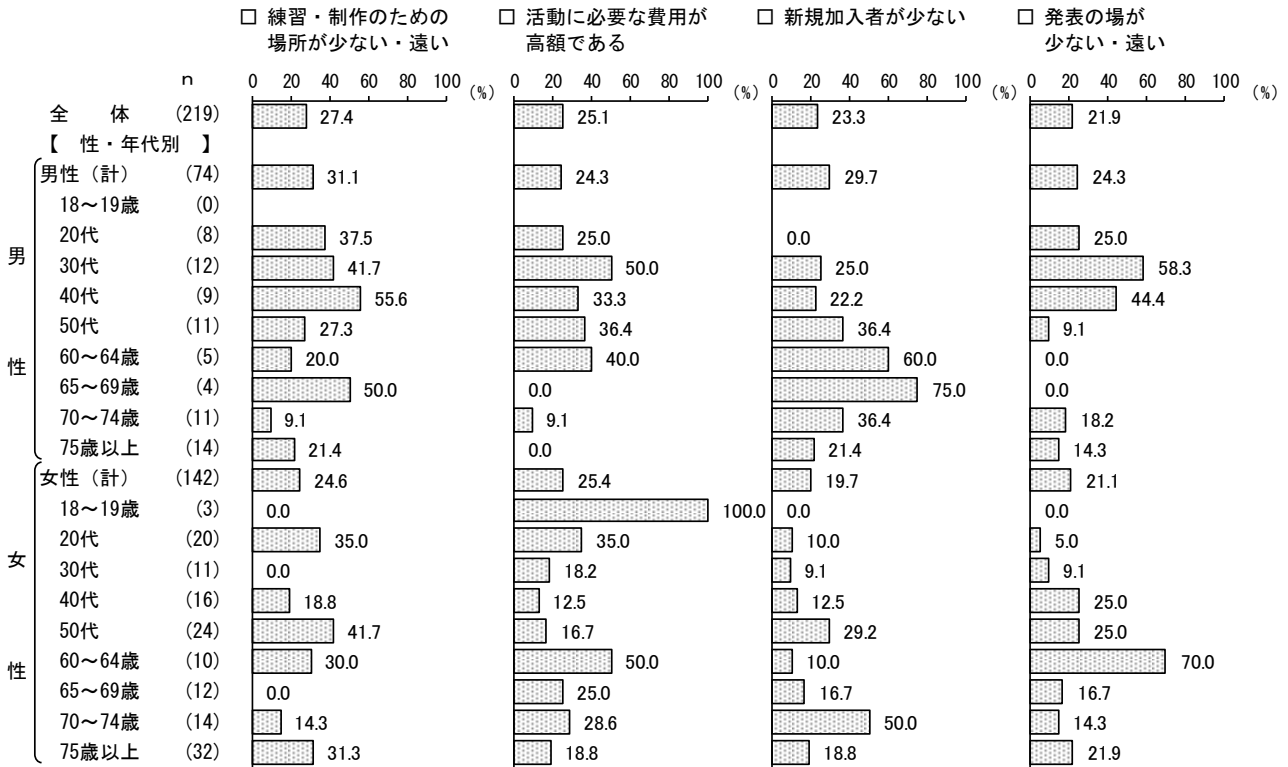
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表2-13) (図表2-14)

<図表 2-13> 文化芸術活動を行う際に課題とを感じる点／地域別



<図表2-14>文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点／性・年代別



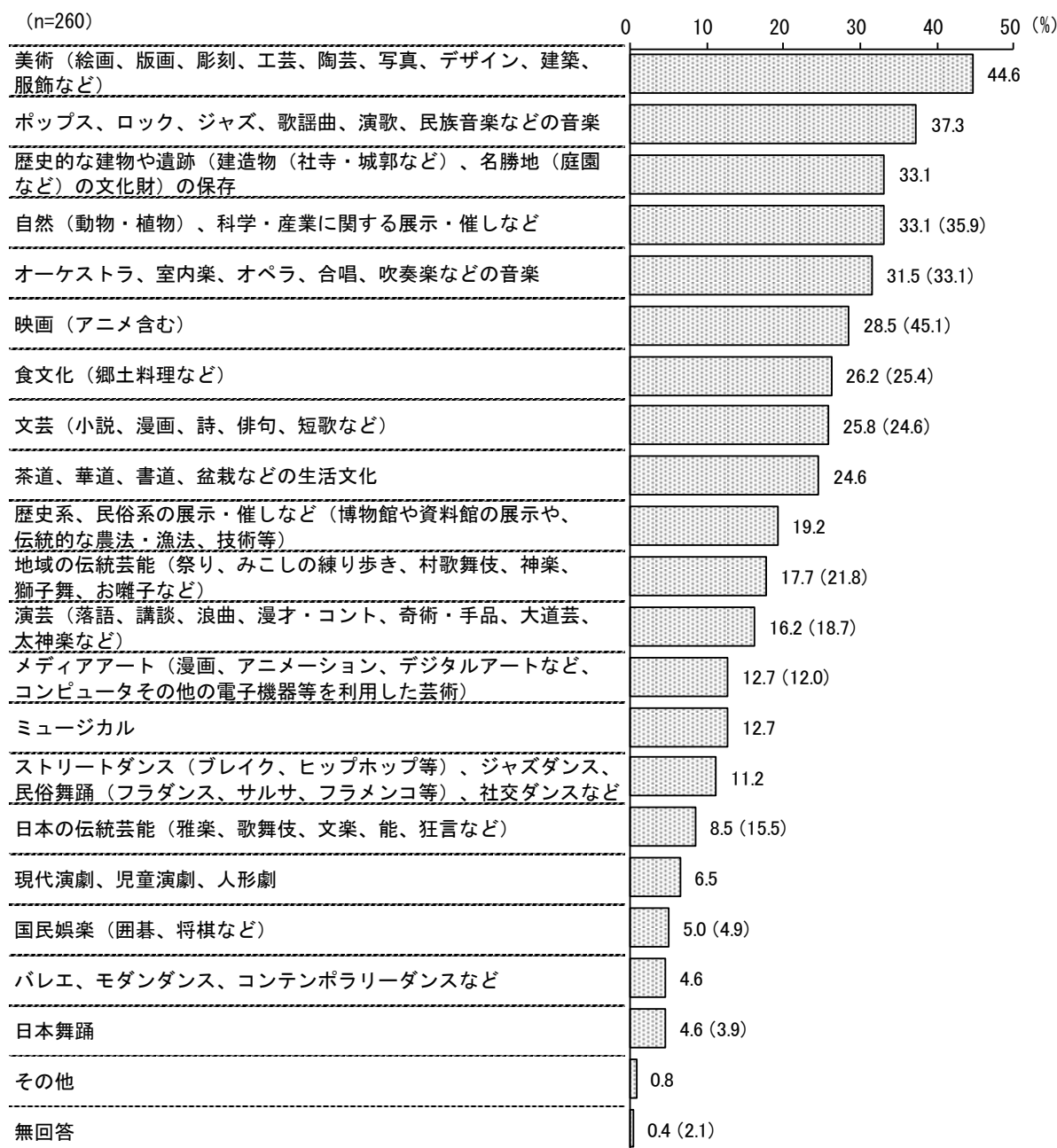
(7) 文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル

◇「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が4割台半ばで最も高い

【問12で「1 興味・関心がある」とお答えで、問13で「2 行っていない」とお答えの方に】

問18 興味・関心がある文化芸術活動のジャンルはなんですか。（〇はいくつでも）

<図表2-15>文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=284

※「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」は、令和元年度では「音楽（クラシック）」

※「地域の伝統芸能（祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など）」は、令和元年度では「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」

※「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）」は、令和元年度では「演芸（落語、講談、漫才など）」  
※「メディアアート（漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術）」は、令和元年度では「電子機器等を利用した芸術（デジタルアートなど）」  
※「日本の伝統芸能（雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など）」は、令和元年度では「日本の伝統芸能（歌舞伎、文楽、能、狂言など）」

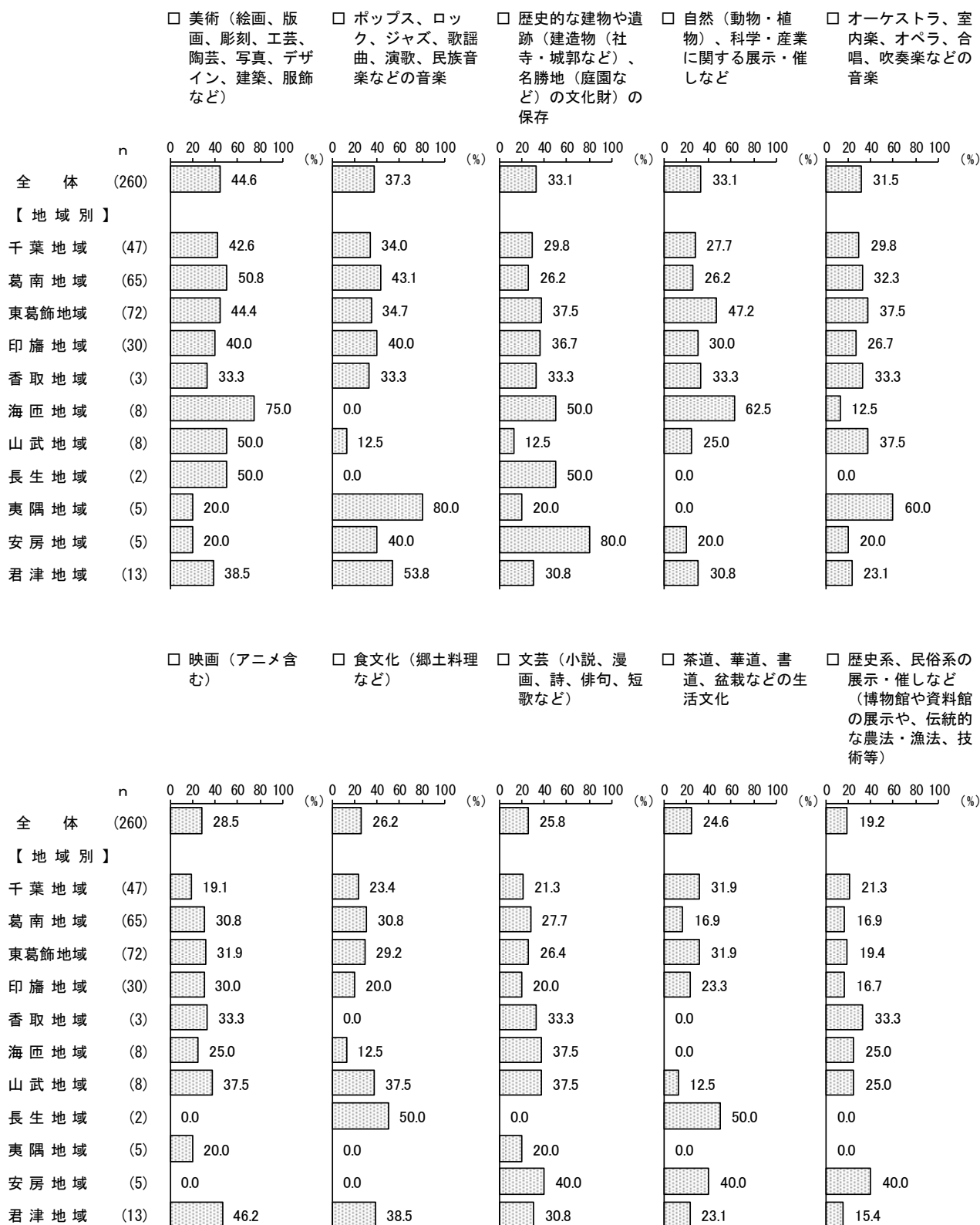
「文化芸術活動に興味・関心があるが実施していない」と回答した260人を対象に、興味・関心があるジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」（44.6%）が4割台半ばで最も高く、以下「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」（37.3%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）の保存」（33.1%）、「自然（動物・植物）、科学・産業に関する展示・催しなど」（33.1%）が続く。

（図表2-15）

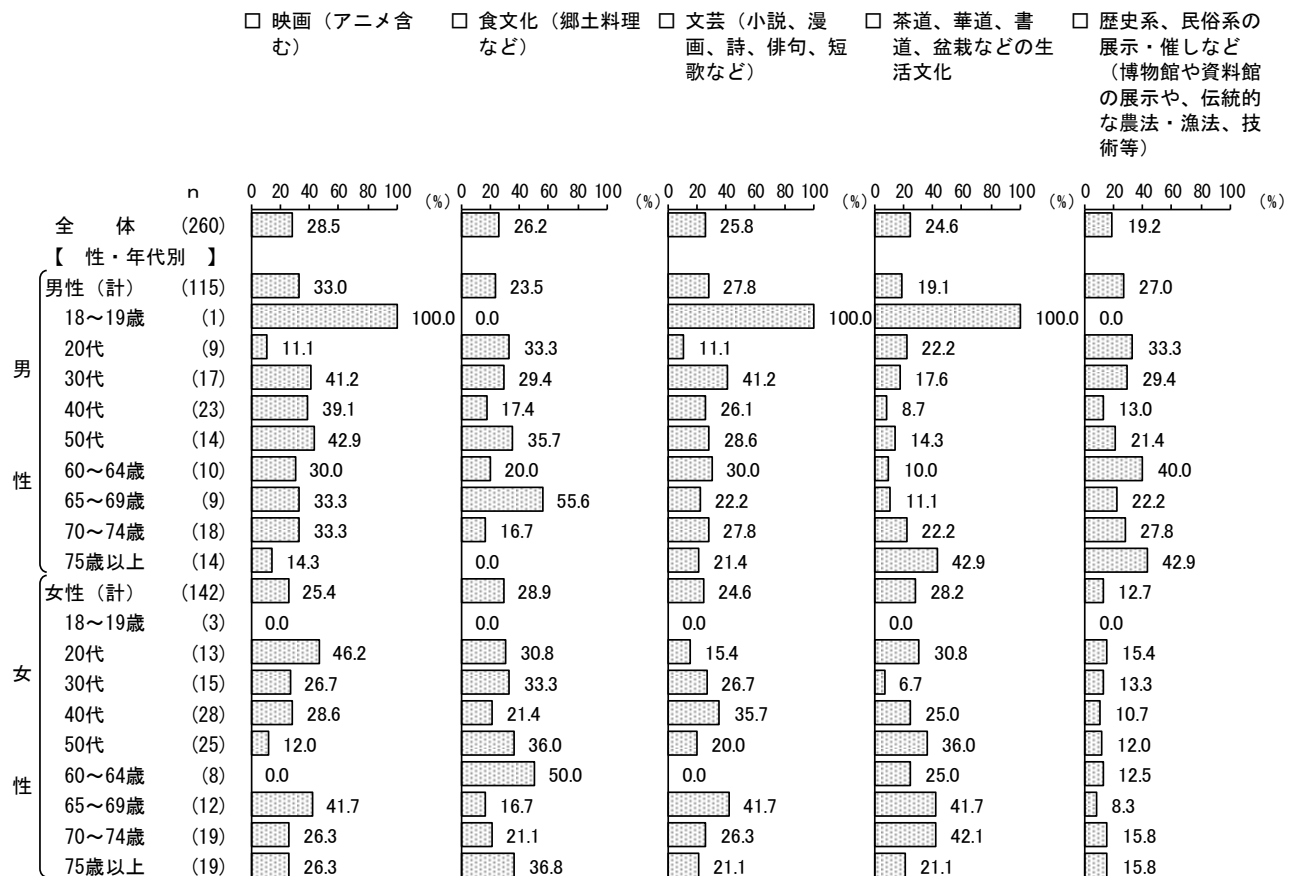
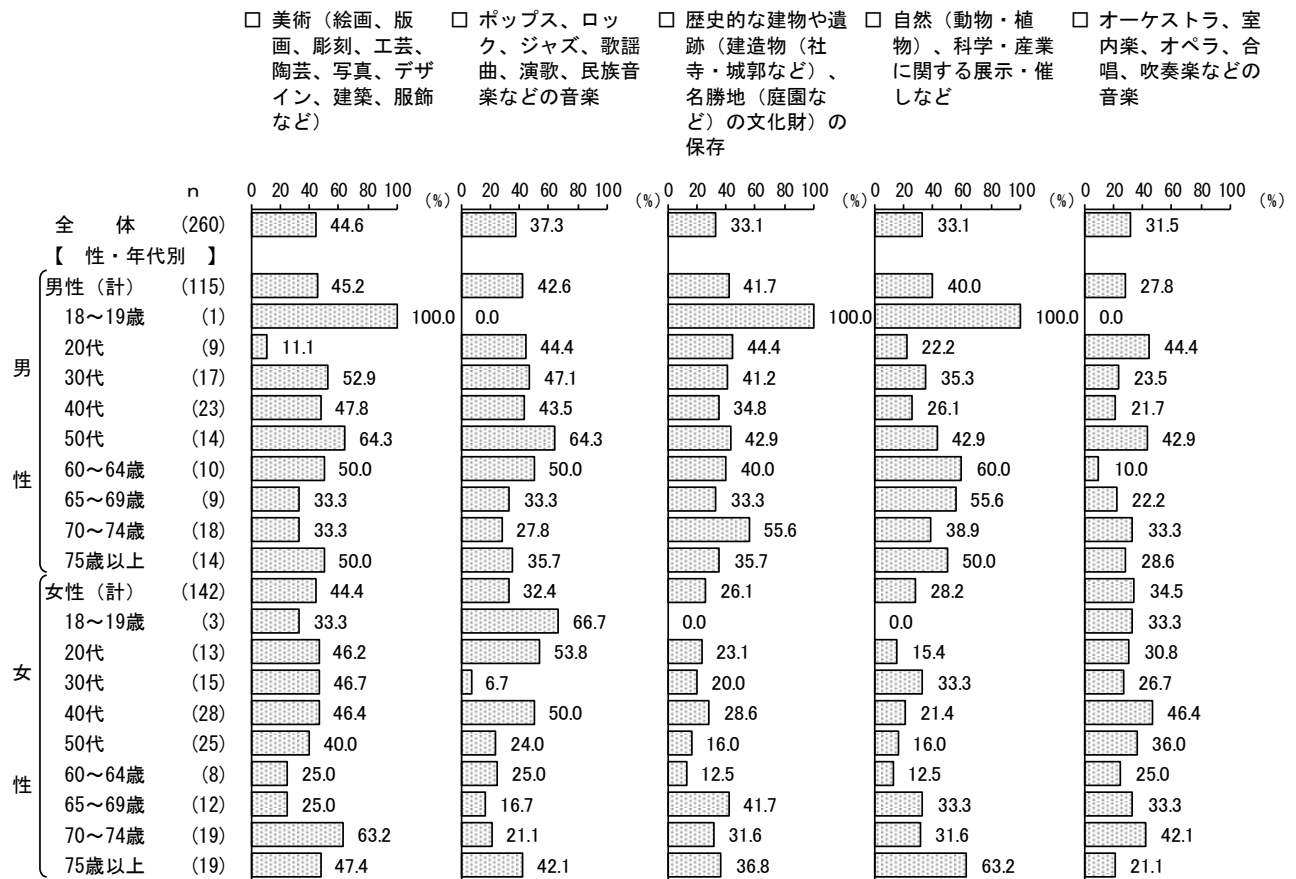
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（11ページ「報告書の見方（4）」を参照）（図表2-16）（図表2-17）

<図表2-16>文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル／地域別（上位10項目）



<図表2-17>文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル／性・年代別（上位10項目）





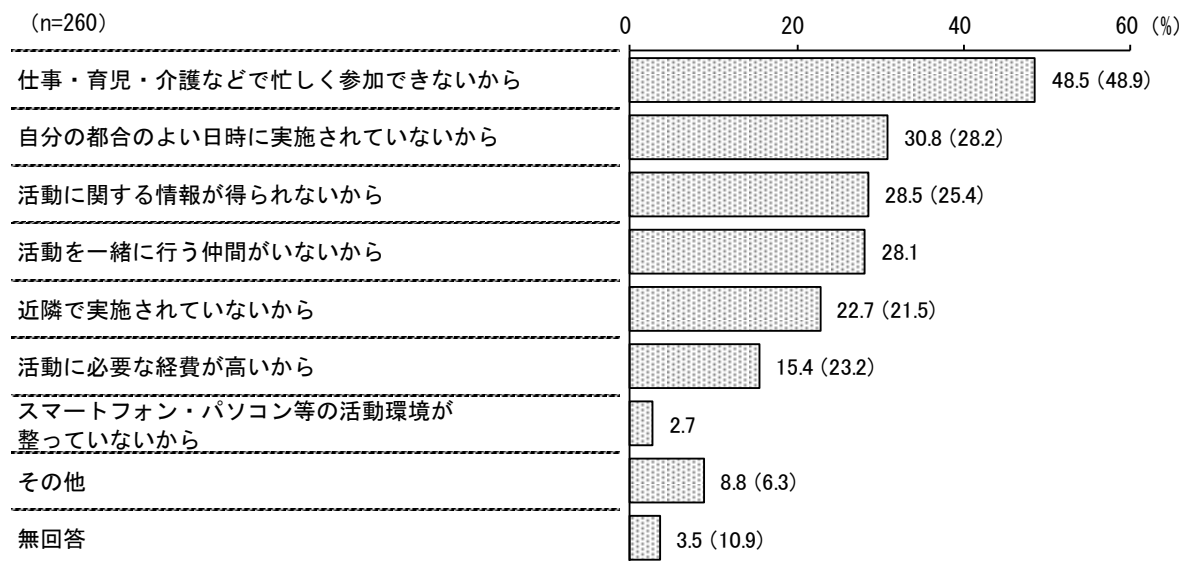
(8) 文化芸術活動を行っていない理由

◇「仕事・育児・介護などで忙しく参加できないから」が約5割で最も高い

【問12で「1 興味・関心がある」とお答えで、問13で「2 行っていない」とお答えの方に】

問19 興味・関心があるが文化芸術活動を行っていない理由はなんですか。(〇は3つまで)

<図表2-18>文化芸術活動を行っていない理由



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=284

※「仕事・育児・介護などで忙しく参加できないから」は、令和元年度では「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」

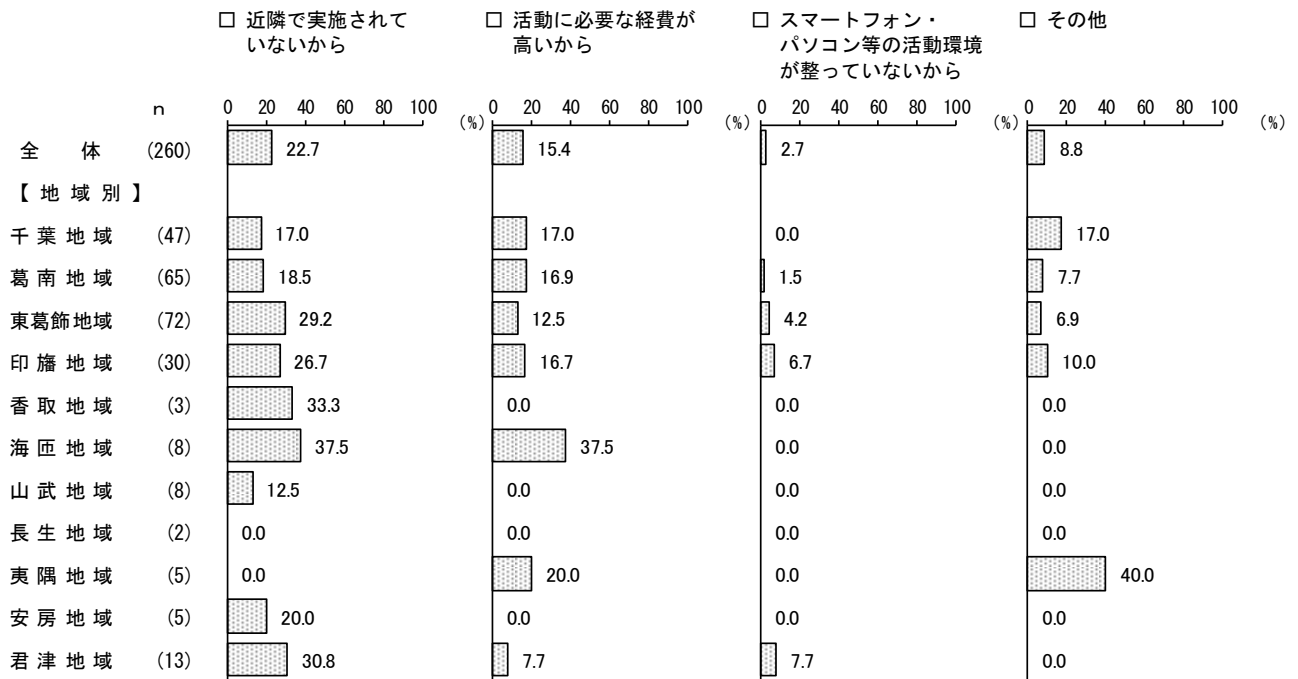
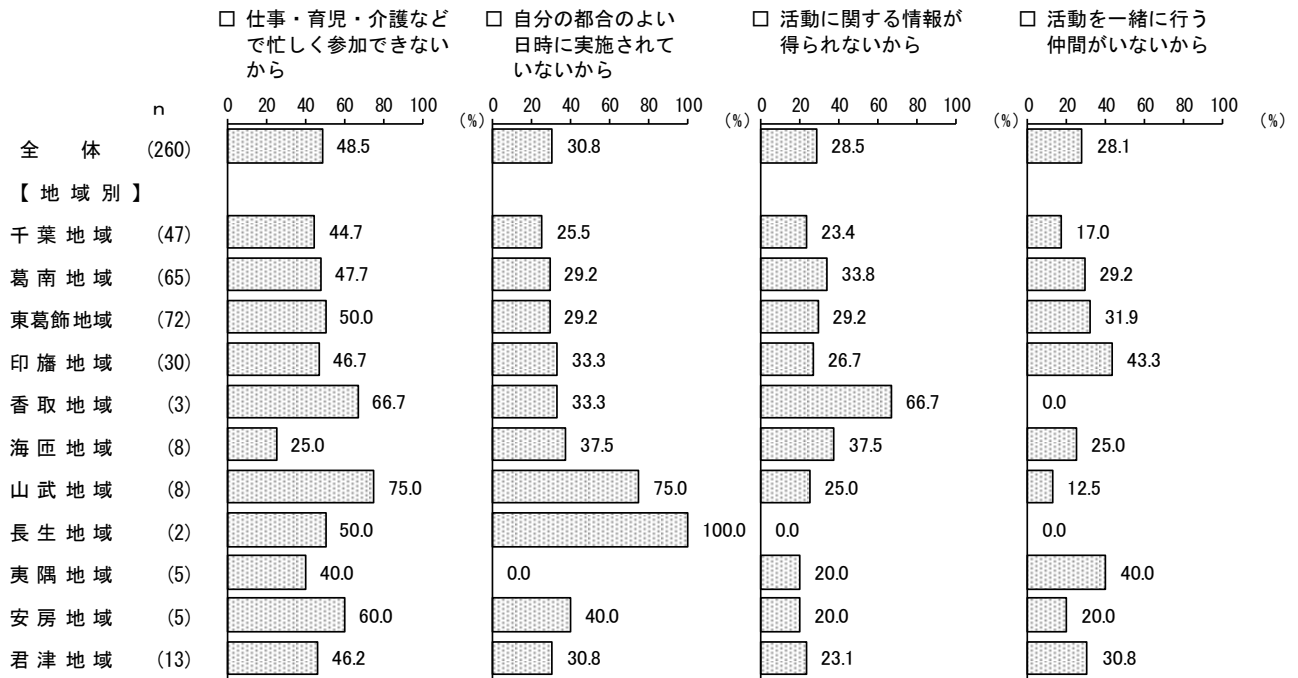
「文化芸術活動に興味・関心があるが行っていない」と回答した260人を対象に、行っていない理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく参加できないから」(48.5%)が約5割で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に実施されていないから」(30.8%)、「活動に関する情報が得られないから」(28.5%)、「活動と一緒にいる仲間がないから」(28.1%)が続く。

(図表2-18)

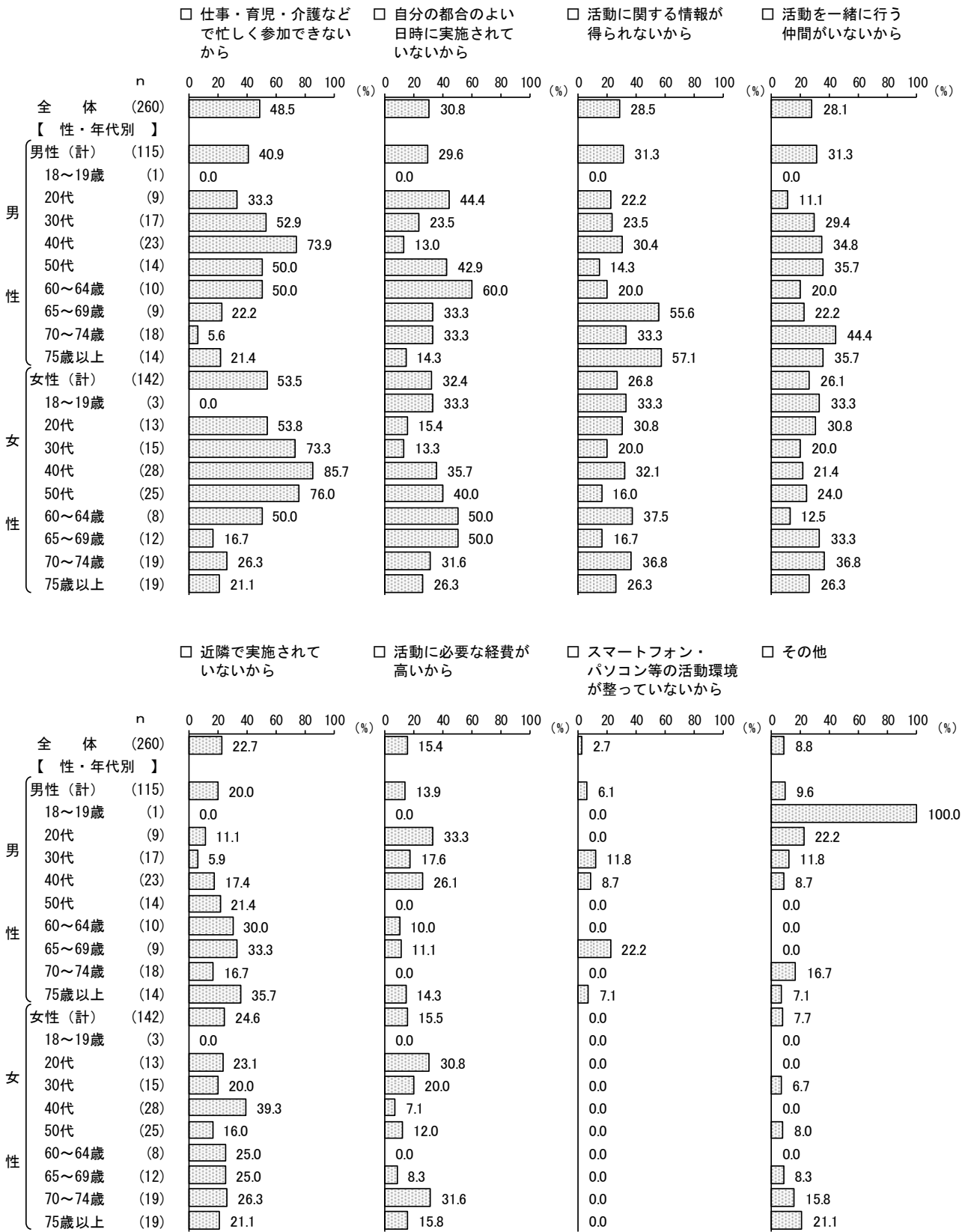
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示することと定める。

(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表2-19) (図表2-20)

<図表 2-19>文化芸術活動を行っていない理由／地域別



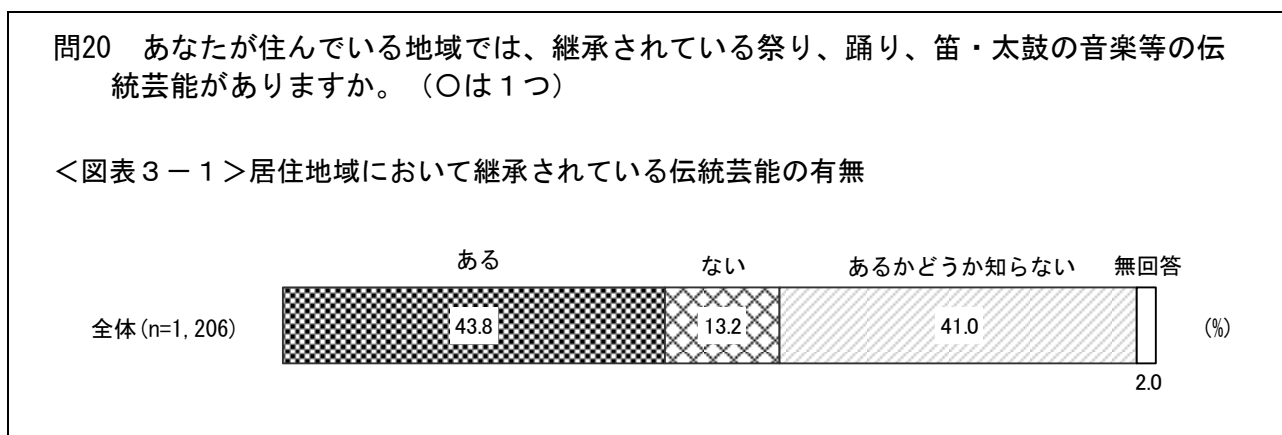
<図表2-20>文化芸術活動を行っていない理由／性・年代別



### 3. 各地域における伝統芸能について

#### (1) 居住地域において継承されている伝統芸能の有無

◇「ある」が4割台半ば



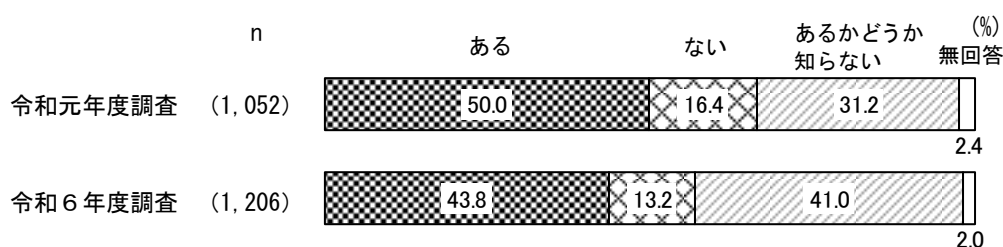
お住まいの地域で継承されている伝統芸能があるかを聞いたところ、「ある」(43.8%)が4割台半ばとなっている。

一方で「ない」(13.2%)が1割を超えている。

また、「あるかどうか知らない」(41.0%)が4割を超えている。

(図表3-1)

【参考】令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



#### 【地域別】

地域別にみると、「ある」は“君津地域”(75.4%)が7割台半ばで高くなっている。また、回答者数は多くないものの、“安房地域”(92.9%)が9割を超え、“夷隅地域”(88.9%)が約9割、“海匝地域”(77.8%)が約8割で、それぞれ高くなっている。

一方で「あるかどうか知らない」は、“千葉地域”(49.8%)、“東葛飾地域”(48.2%)が約5割で、それぞれ高くなっている。

(図表3-2)

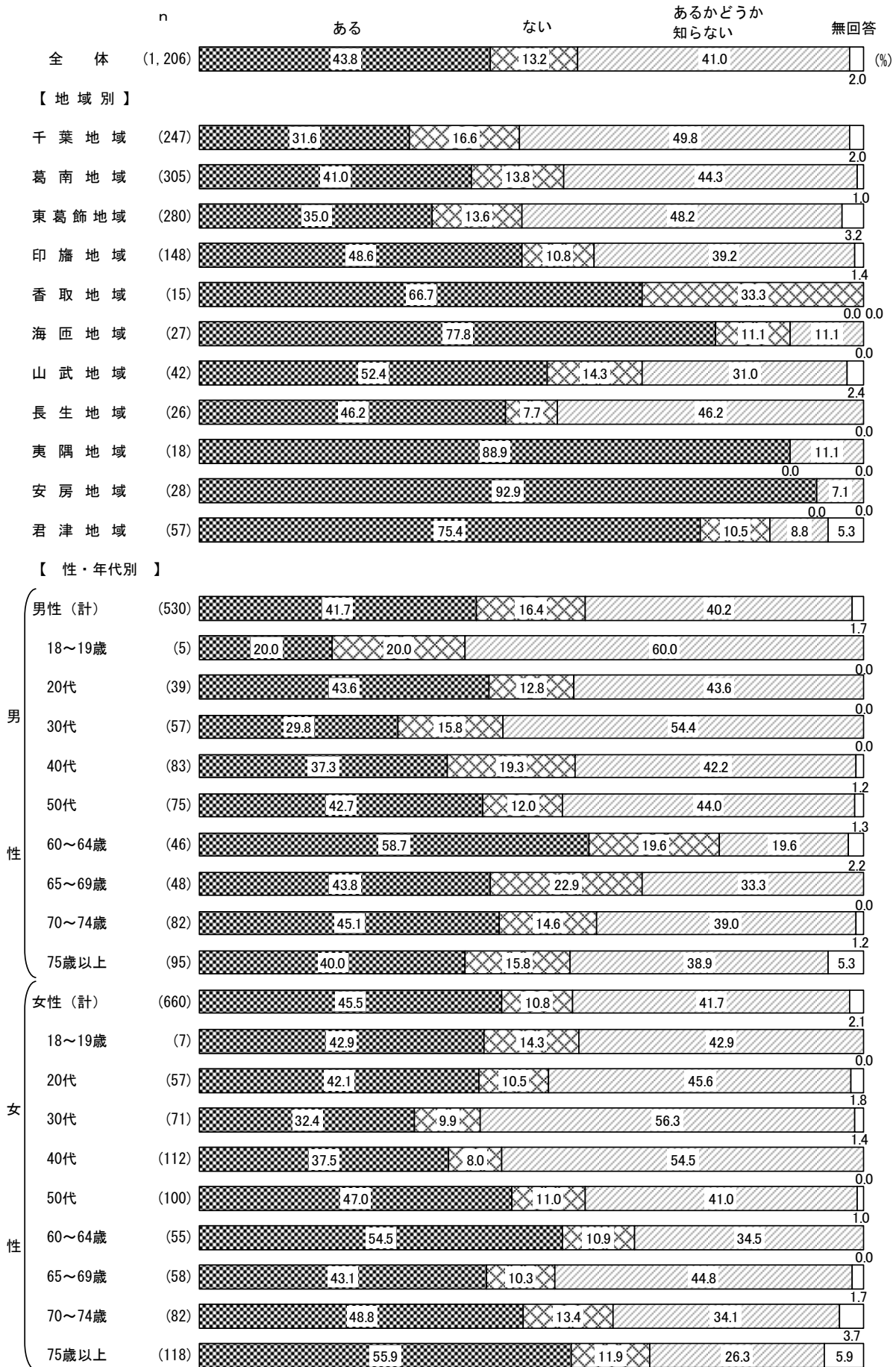
#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「ある」は男性の60~64歳(58.7%)が約6割、女性の75歳以上(55.9%)が5割台半ばで、それぞれ高くなっている。

一方で「あるかどうか知らない」は、女性の30代(56.3%)、女性の40代(54.5%)、男性の30代(54.4%)が5割台半ばで、それぞれ高くなっている。

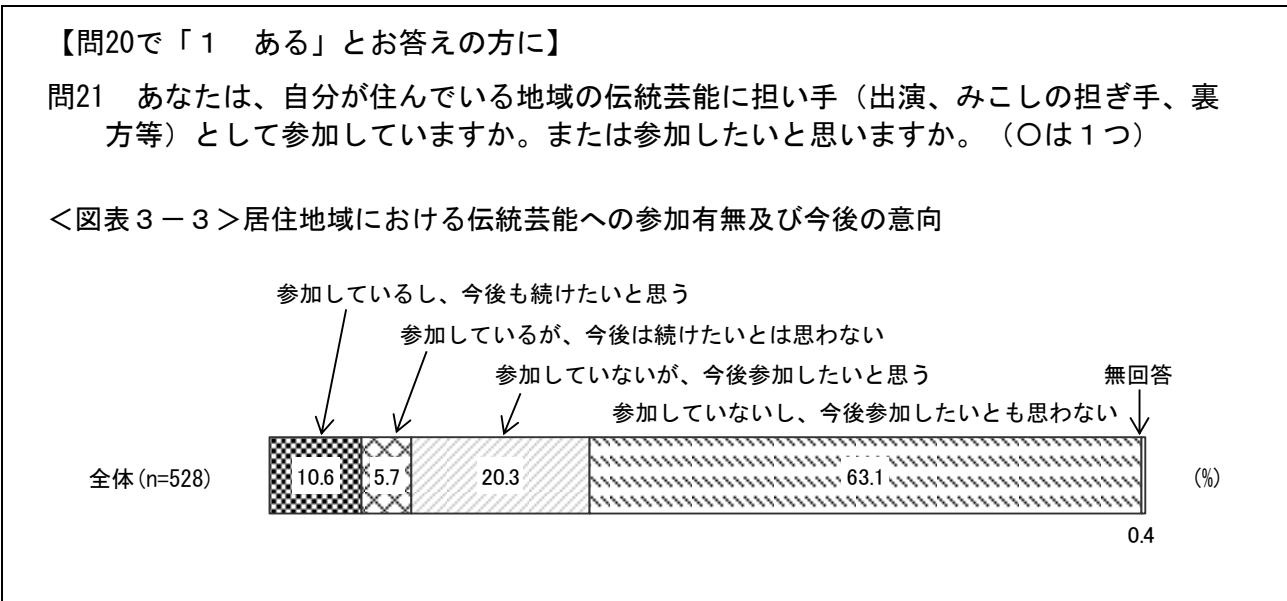
(図表3-2)

<図表3-2> 居住地域において継承されている伝統芸能の有無／地域別、性・年代別



(2) 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向

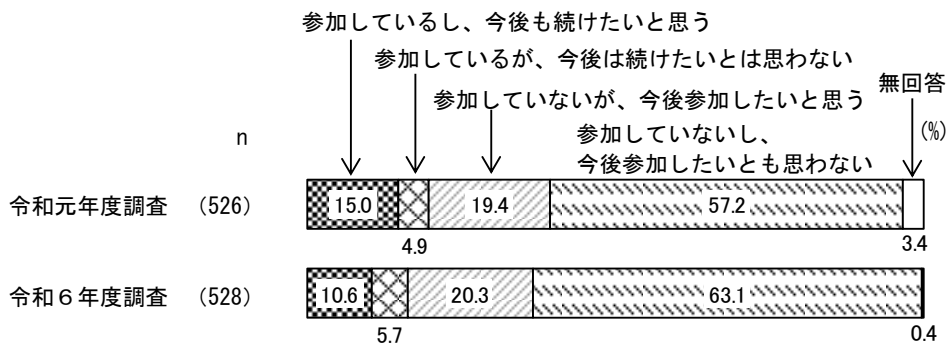
◇「参加しているし、今後も続けたいと思う」は1割



「お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある」と回答した528人を対象に、担い手として参加の有無と今後の意向を聞いたところ、「参加しているし、今後も続けたいと思う」（10.6%）は1割となっている。

一方で、「参加していないし、今後参加したいとも思わない」（63.1%）が6割を超えて最も高くなっている。（図表3-3）

【参考】令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

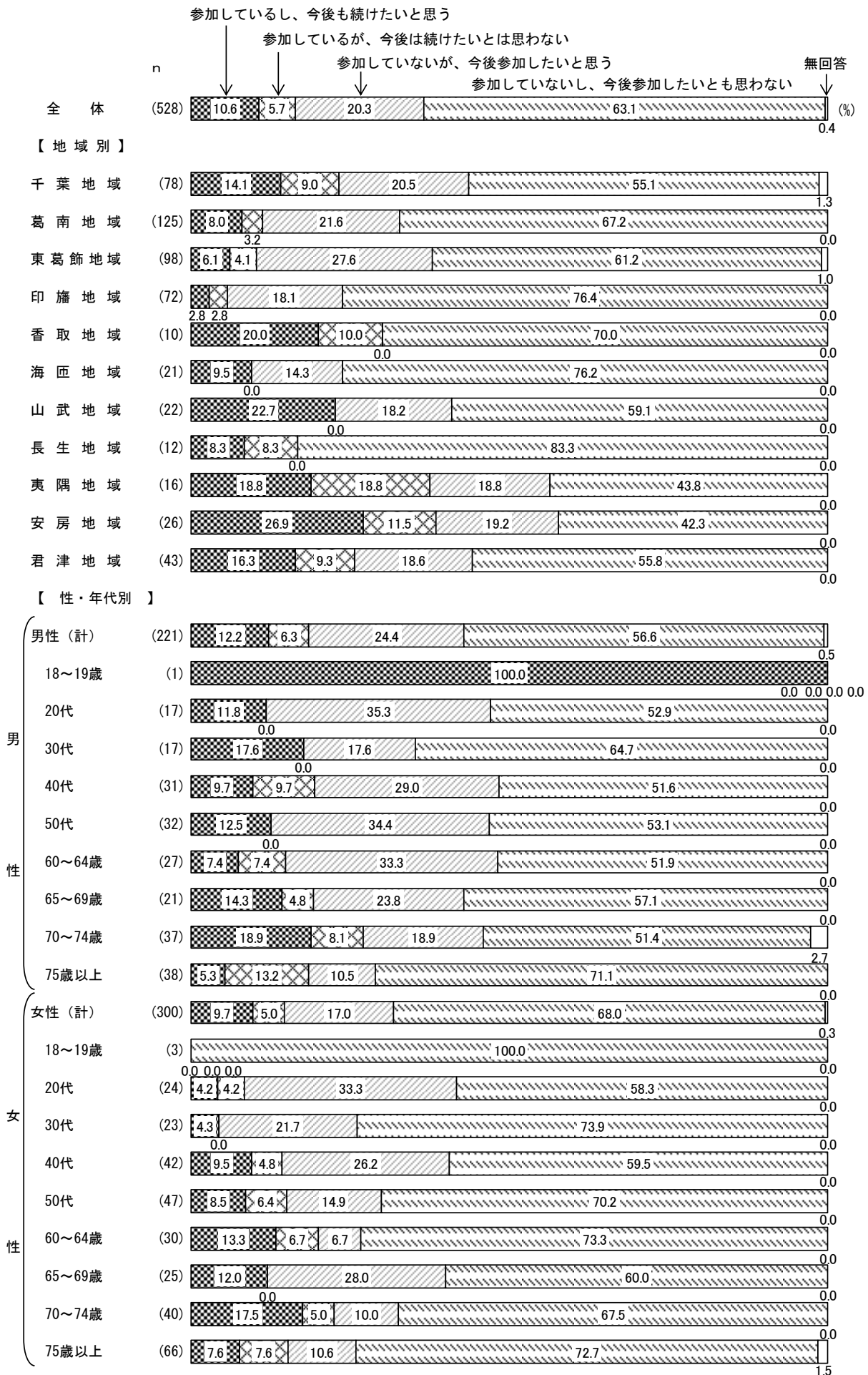
地域別にみると、回答数は少ないものの、「参加しているし、今後も続けたいと思う」は“安房地域”（26.9%）が2割台半ばで高くなっている。

一方で「参加していないし、今後参加したいとも思わない」は、“印旛地域”（76.4%）が7割台半ばで高くなっている。（図表3-4）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「参加していないが、今後参加したいと思う」は、男性の50代（34.4%）が3割台半ばで高くなっている。（図表3-4）

<図表3-4> 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向/地域別、性・年代別



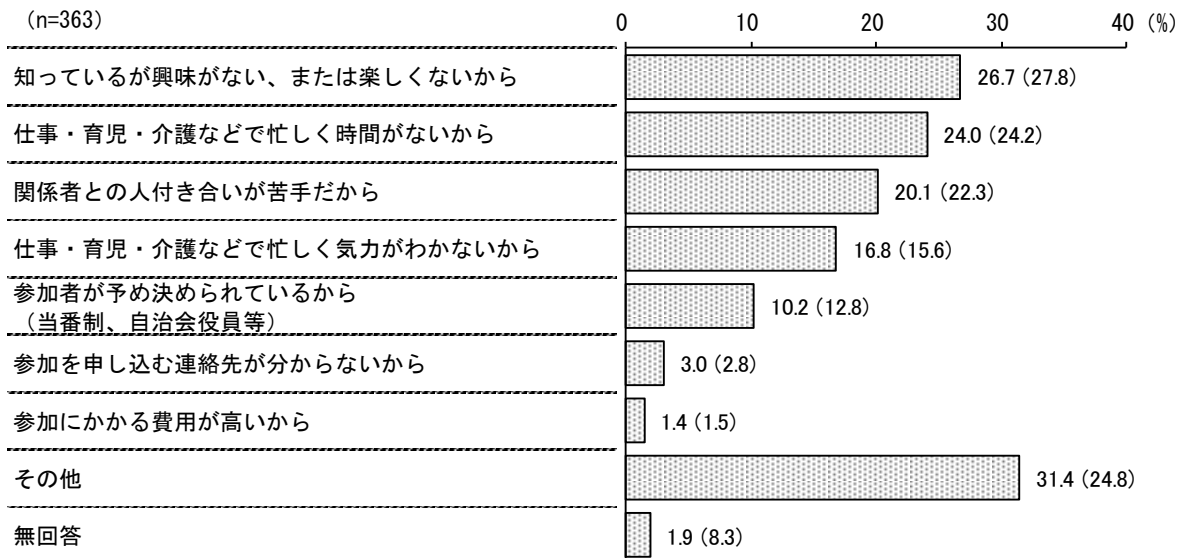
(3) 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由

◇「その他」を除くと「知っているが興味がない、または楽しくないから」が2割台半ばで最も高い

【問21で「2 参加しているが、今後は続けたいとは思わない」または「4 参加していないし、今後参加したいとも思わない」とお答えの方に】

問22 あなたが担い手（出演、神輿の担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない、又は参加したいと思わない理由はなんですか。（〇は3つまで）

<図表3-5>居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=327

お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある方で、担い手として「参加しているが今後は続けたいとは思わない」または「参加していないし、今後参加したいとも思わない」と回答した363人を対象に、その理由を聞いたところ、「知っているが興味がない、または楽しくないから」(26.7%)が2割台半ばで最も高く、以下「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」(24.0%)、「関係者との人付き合いが苦手だから」(20.1%)、「仕事・育児・介護などで忙しく気力がわかないから」(16.8%)が続く。

(図表3-5)

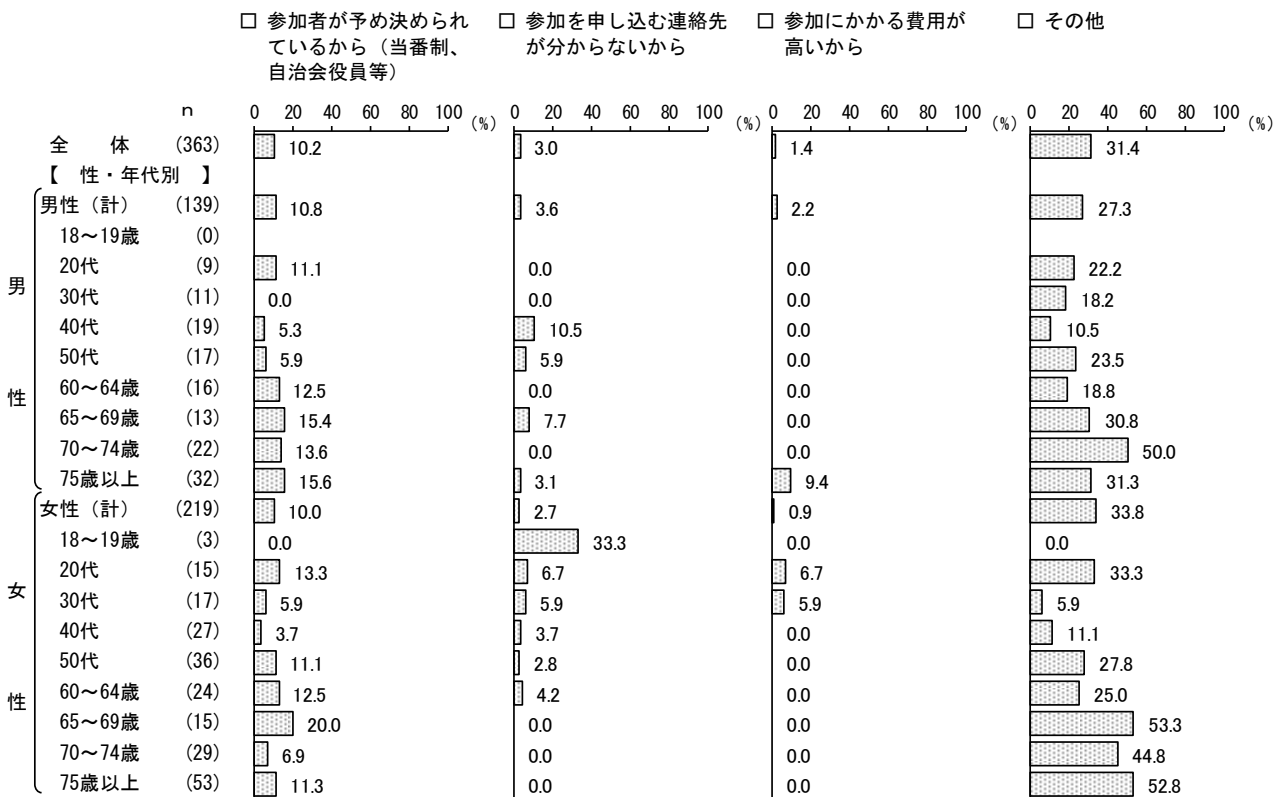
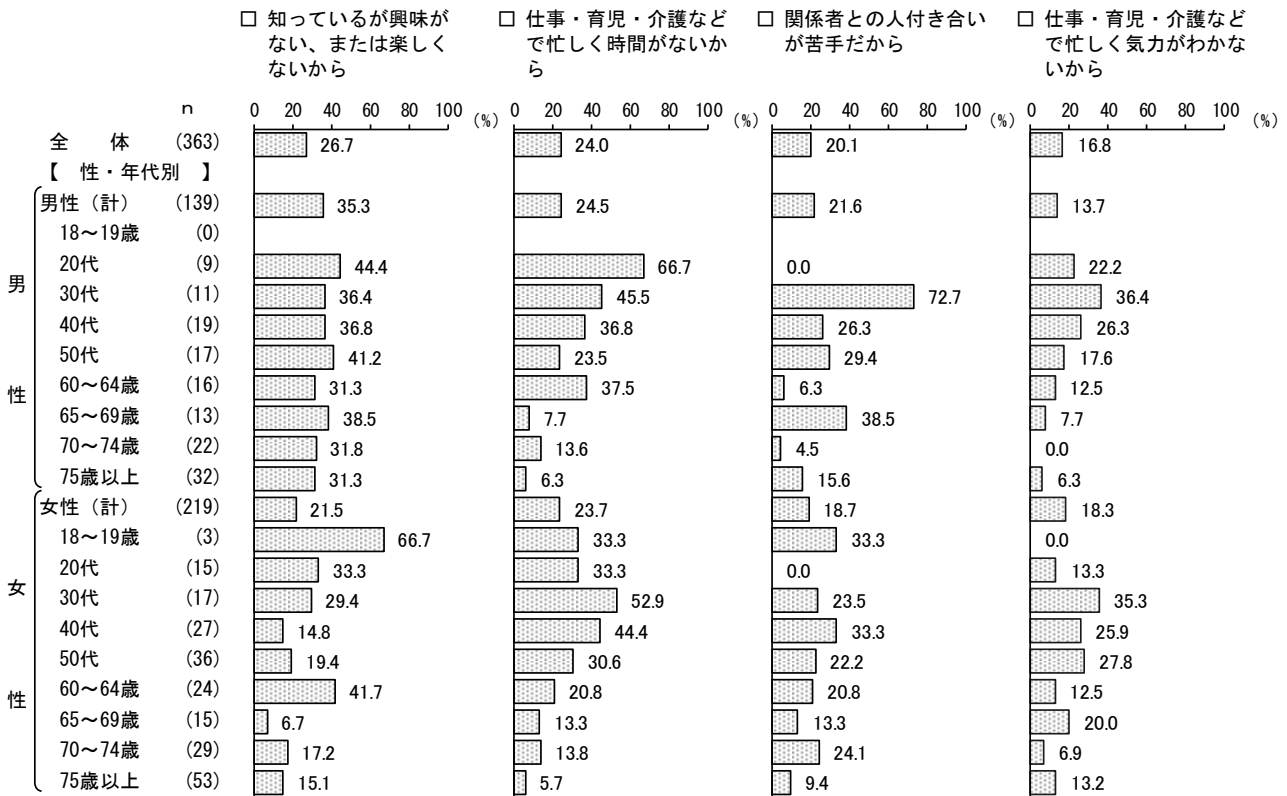
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表3-6) (図表3-7)



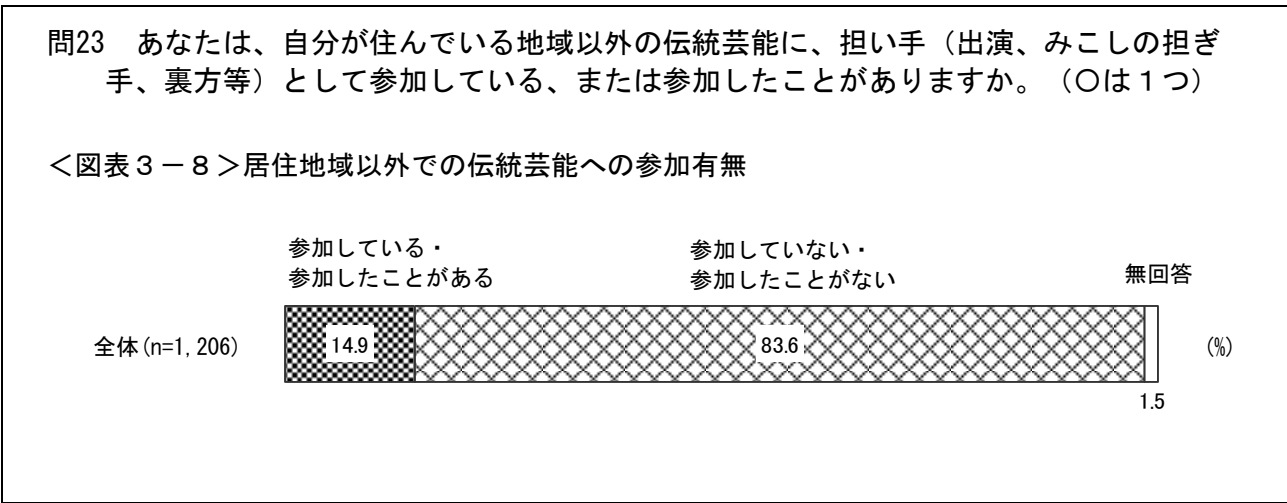


<図表3-7> 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由／性・年代別



(4) 居住地域以外での伝統芸能への参加有無

◇「参加している・参加したことがある」が1割台半ば

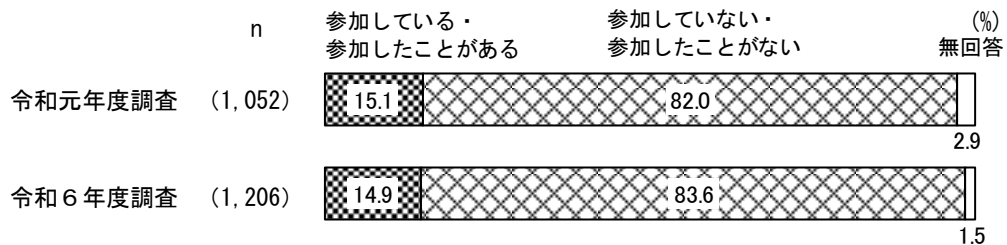


お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があるかを聞いたところ、「参加している・参加したことがある」（14.9%）が1割台半ばとなっている。

一方で「参加していない・参加したことがない」（83.6%）は8割台半ばとなっている。

（図表3-8）

〔参考〕 令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「参加している・参加したことがある」は“君津地域”（28.1%）が約3割で高くなっている。また、回答者数は多くないものの、“香取地域”（33.3%）、“安房地域”（32.1%）が3割を超え、それぞれ高くなっている。

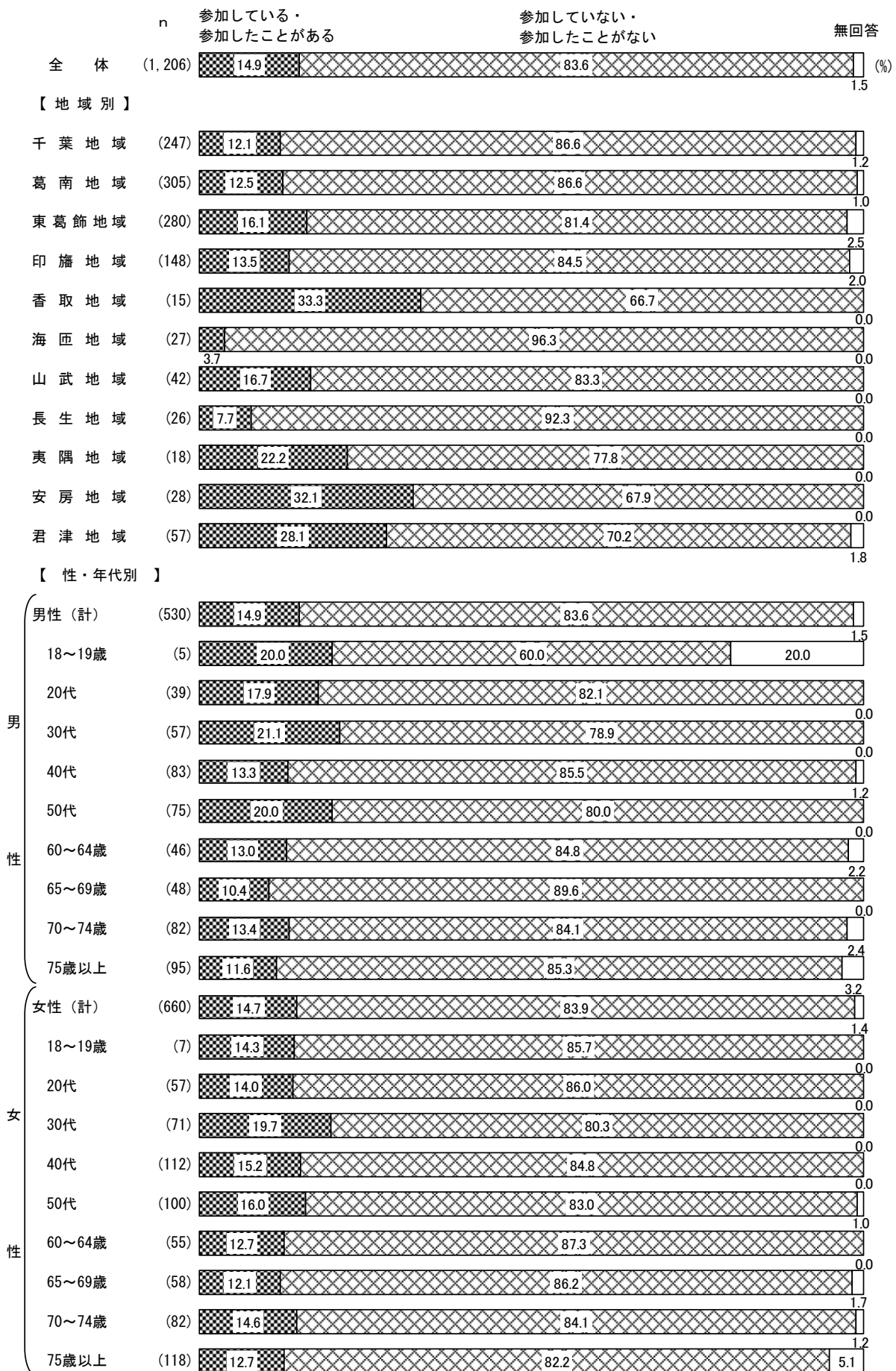
（図表3-9）

【性・年代別】

性・年代別で特に大きな違いは見られない。

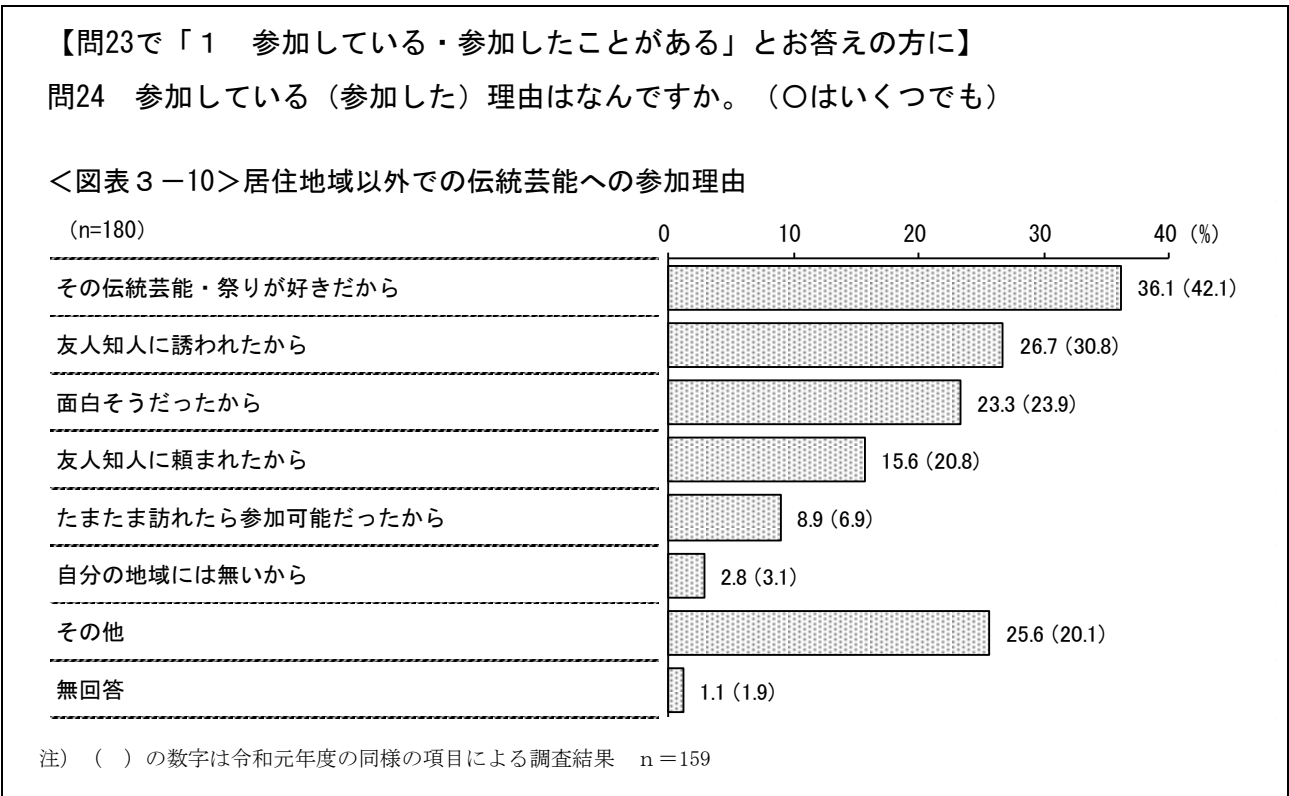
（図表3-9）

<図表3-9> 居住地域以外での伝統芸能への参加有無／地域別、性・年代別



(5) 居住地域以外での伝統芸能への参加理由

◇「その伝統芸能・祭りが好きだから」が3割台半ばで最も高い



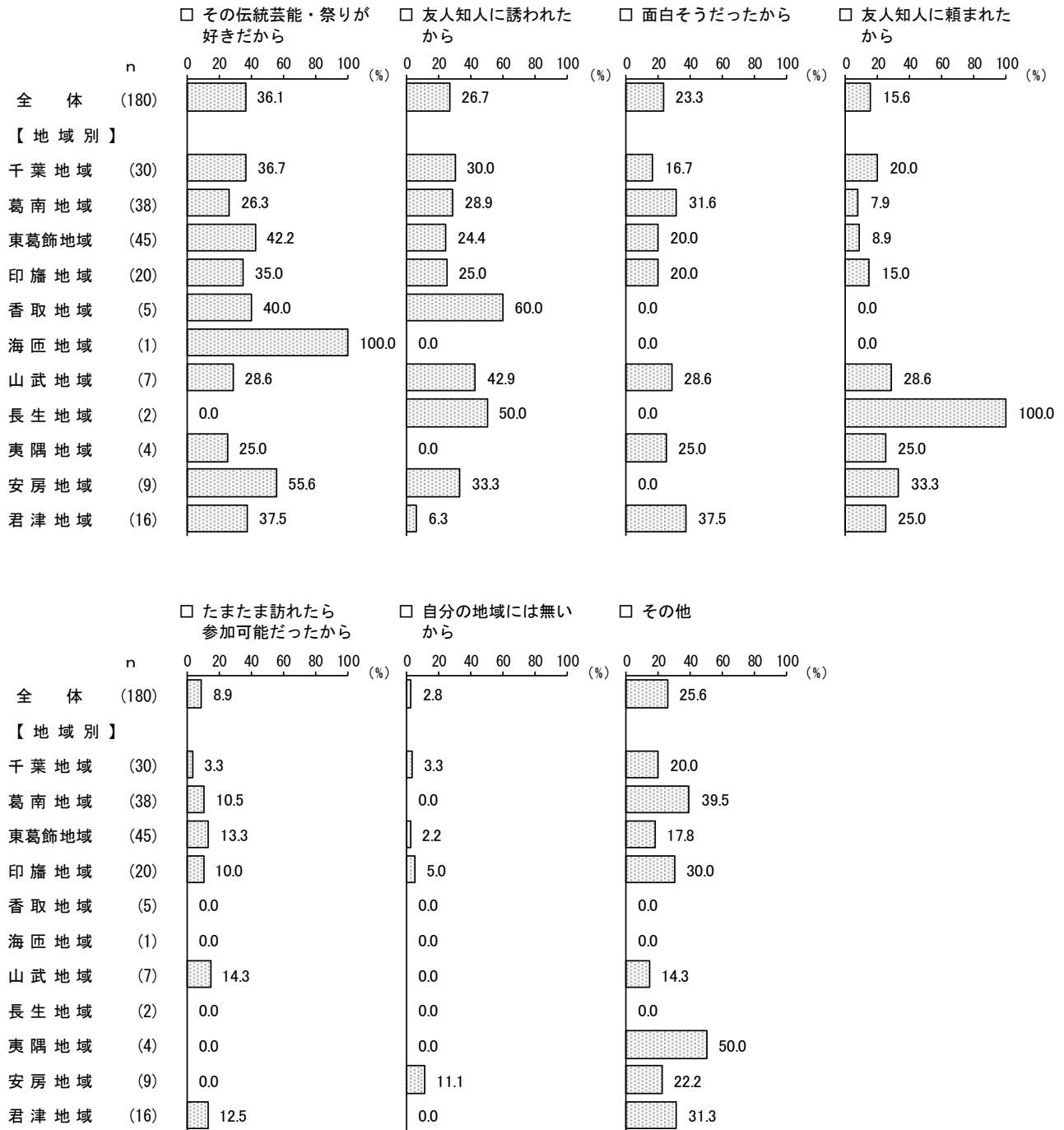
「お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験がある」と回答した180人を対象に、参加理由を聞いたところ、「その伝統芸能・祭りが好きだから」（36.1%）が3割台半ばで最も高く、以下「友人知人に誘われたから」（26.7%）、「面白そうだったから」（23.3%）、「友人知人に頼まれたから」（15.6%）が続く。

(図表3-10)

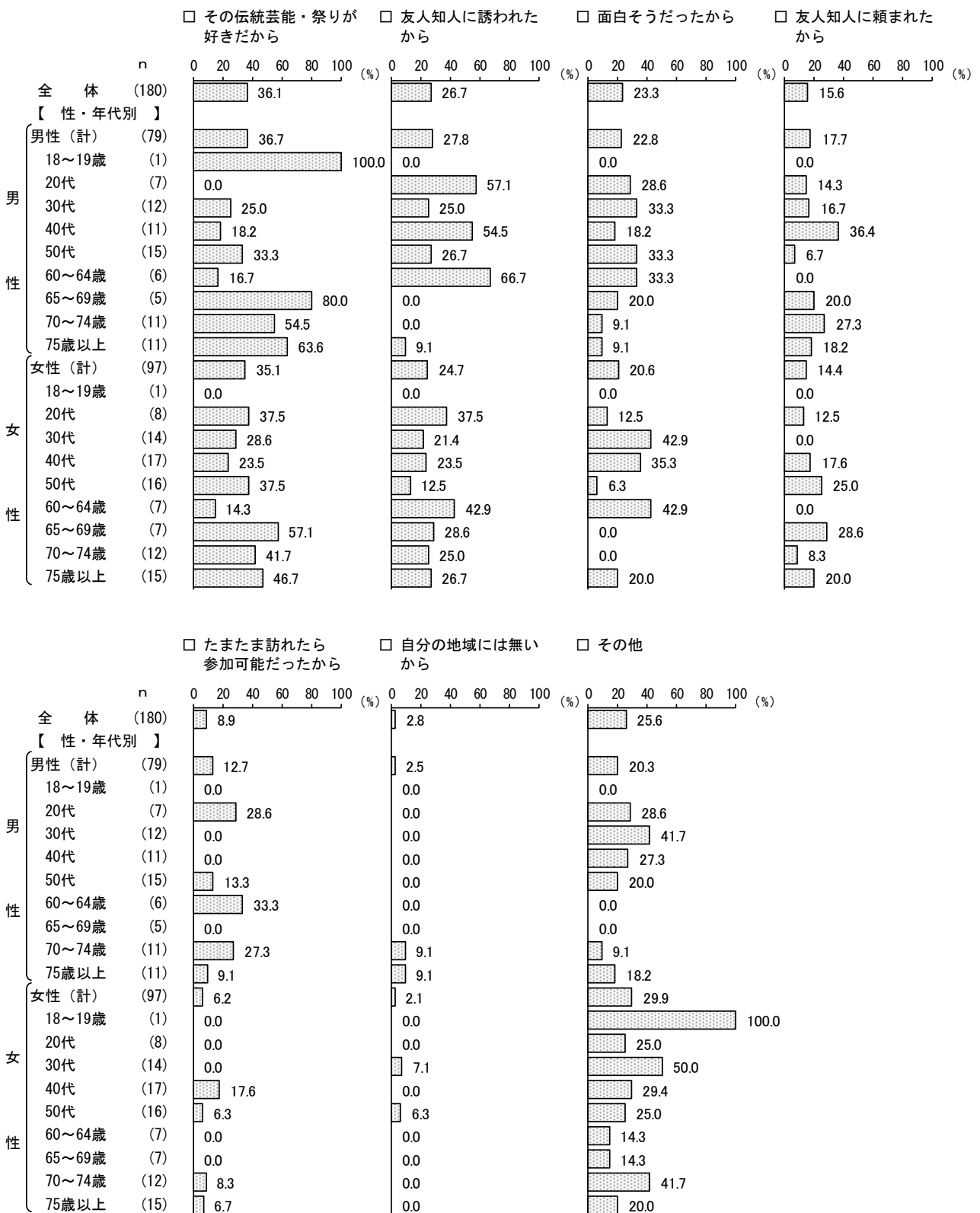
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

(11ページ「報告書の見方(4)」を参照) (図表3-11) (図表3-12)

<図表3-11> 居住地域以外での伝統芸能への参加理由／地域別



<図表3-12> 居住地域以外での伝統芸能への参加理由／地域別、性・年代別



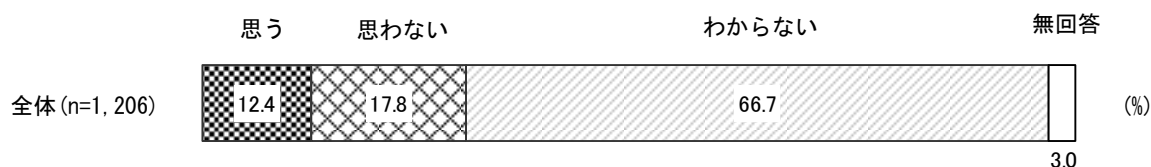
## 4. 障害がある方の文化芸術活動について

### (1) 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会

◇十分にありと「思う」は1割を超える

問25 県では、障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できることが大切だと考えていますが、県内でそのような鑑賞・参加ができる機会は十分だと思いますか。(〇は1つ)

<図表4-1>障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会

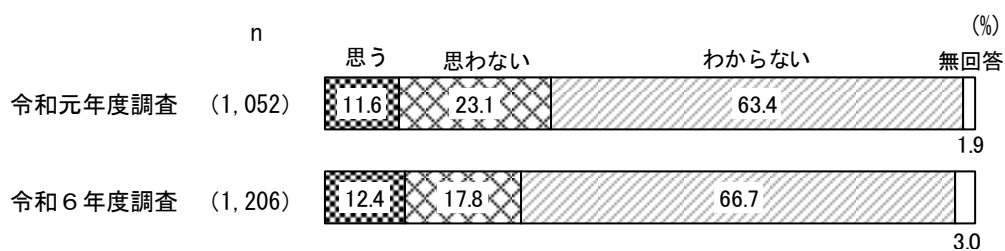


障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会が十分にありと思うかを聞いたところ、「思う」(12.4%)が1割を超えている。

一方で、「思わない」(17.8%)が約2割、「わからない」(66.7%)が6割台半ばとなっている。

(図表4-1)

〔参考〕令和元年度・令和6年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



#### 【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。

(図表4-2)

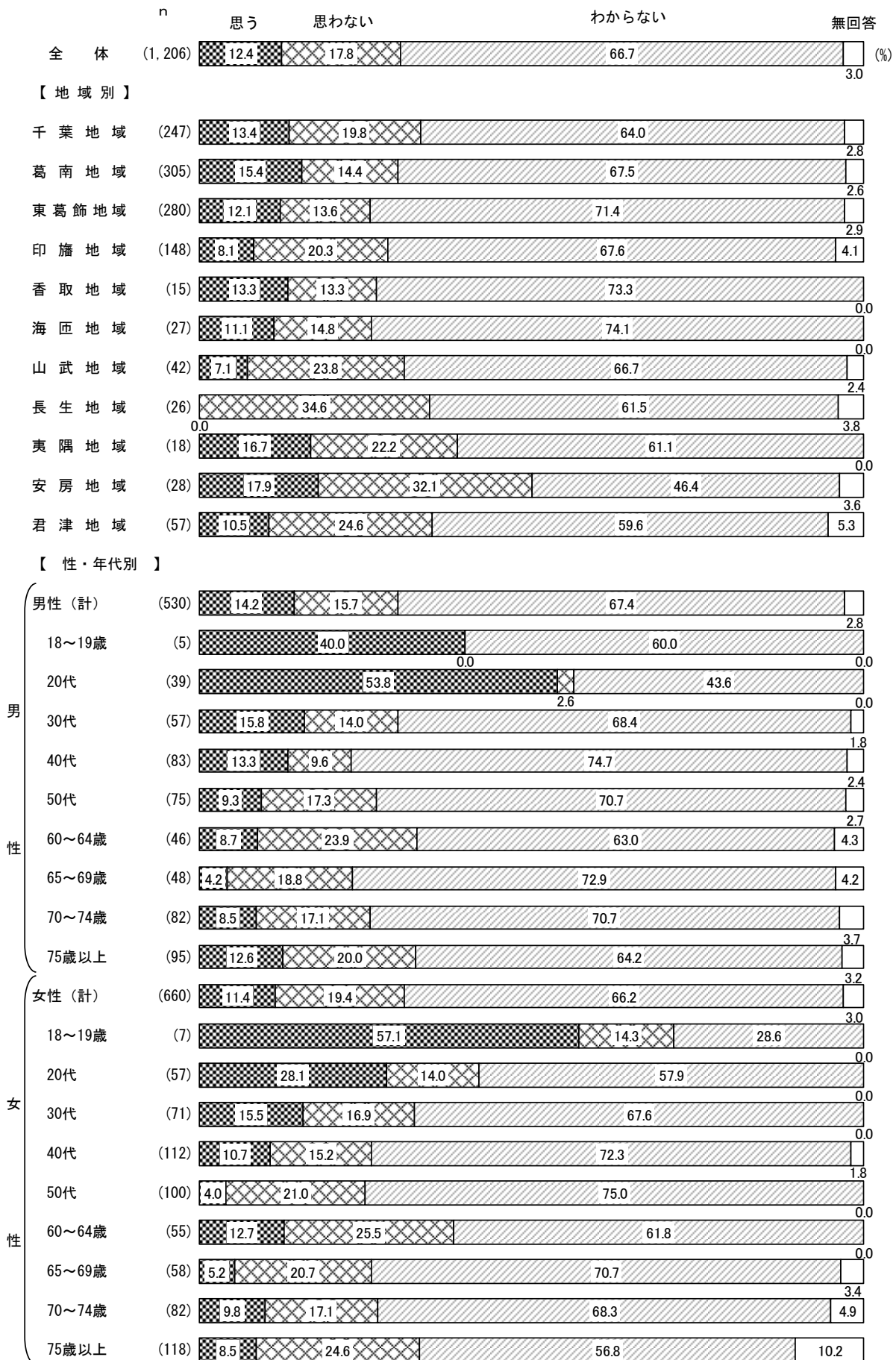
#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「思う」は、男性の20代(53.8%)が5割台半ば、女性の20代(28.1%)が約3割で高くなっている。

(図表4-2)



<図表4-2>障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会／地域別、性・年代別

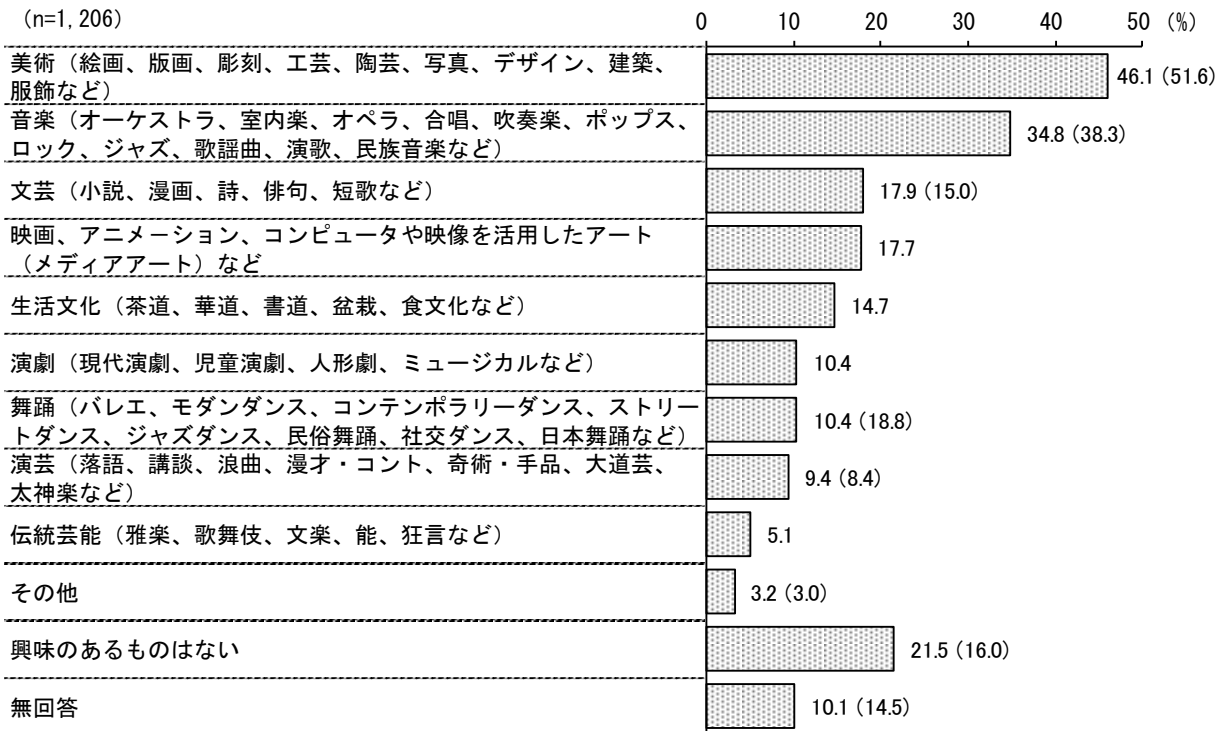


(2) 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの

◇「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が4割台半ばで最も高い

問26 障害のある方による文化芸術活動のうち、あなたが興味のあるものはありますか。  
(〇はいくつでも)

<図表4-3>障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,052

※「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」は、令和元年度では「美術（絵画、彫刻、工芸など）」

※「音楽（オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など）」は、令和元年度では「音楽（合唱、演奏など）」

※「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」は、令和元年度では「文芸（小説、漫画、詩など）」

※「舞踊（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ストリートダンス、ジャズダンス、民俗舞踊、社交ダンス、日本舞踊など）」は、令和元年度では「舞台・舞踊（演劇、ミュージカル、ダンスなど）」

※「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）」は、令和元年度では「演芸（落語、漫才など）」

障害のある方の文化芸術活動で興味があるものを聞いたところ、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」（46.1%）が4割台半ばで最も高く、以下「音楽（オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など）」（34.8%）、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」（17.9%）、「映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（17.7%）が続く。

また、「興味のあるものはない」（21.5%）が2割を超える。

(図表4-3)

### 【地域別】

地域別にみると、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」は、「印旛地域」（56.8%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表4-4）

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」は、女性の40代（61.6%）が6割を超え、女性の65～69歳（58.6%）が約6割で、それぞれ高くなっている。

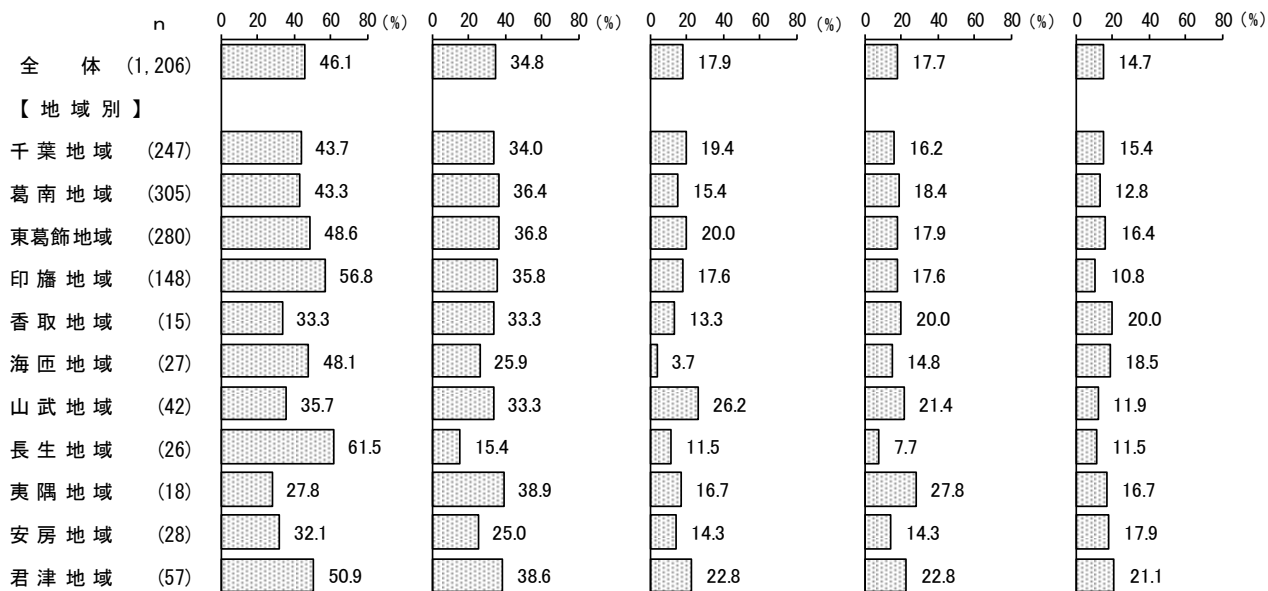
「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」は、女性の40代（25.9%）が2割台半ばで高くなっている。

「映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」は、男性の60～64歳（32.6%）、男性の30代（31.6%）が3割を超え、男性の20代（30.8%）が3割、男性の40代（26.5%）が2割台半ばで、それぞれ高くなっている。

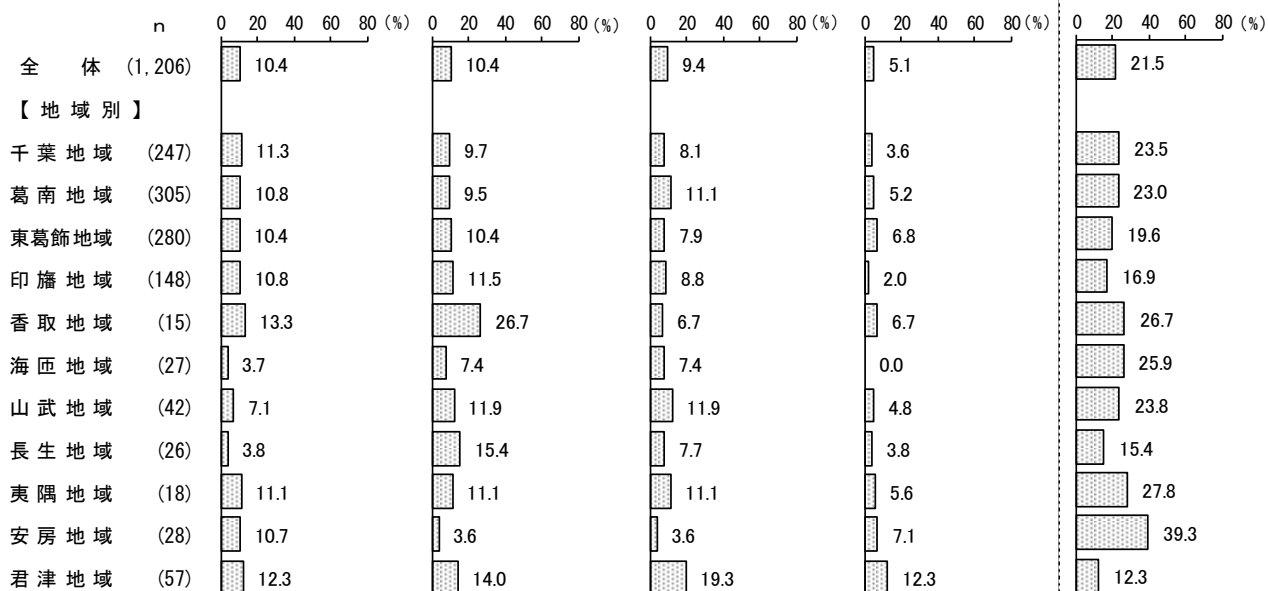
（図表4-5）

＜図表４－４＞障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの／地域別

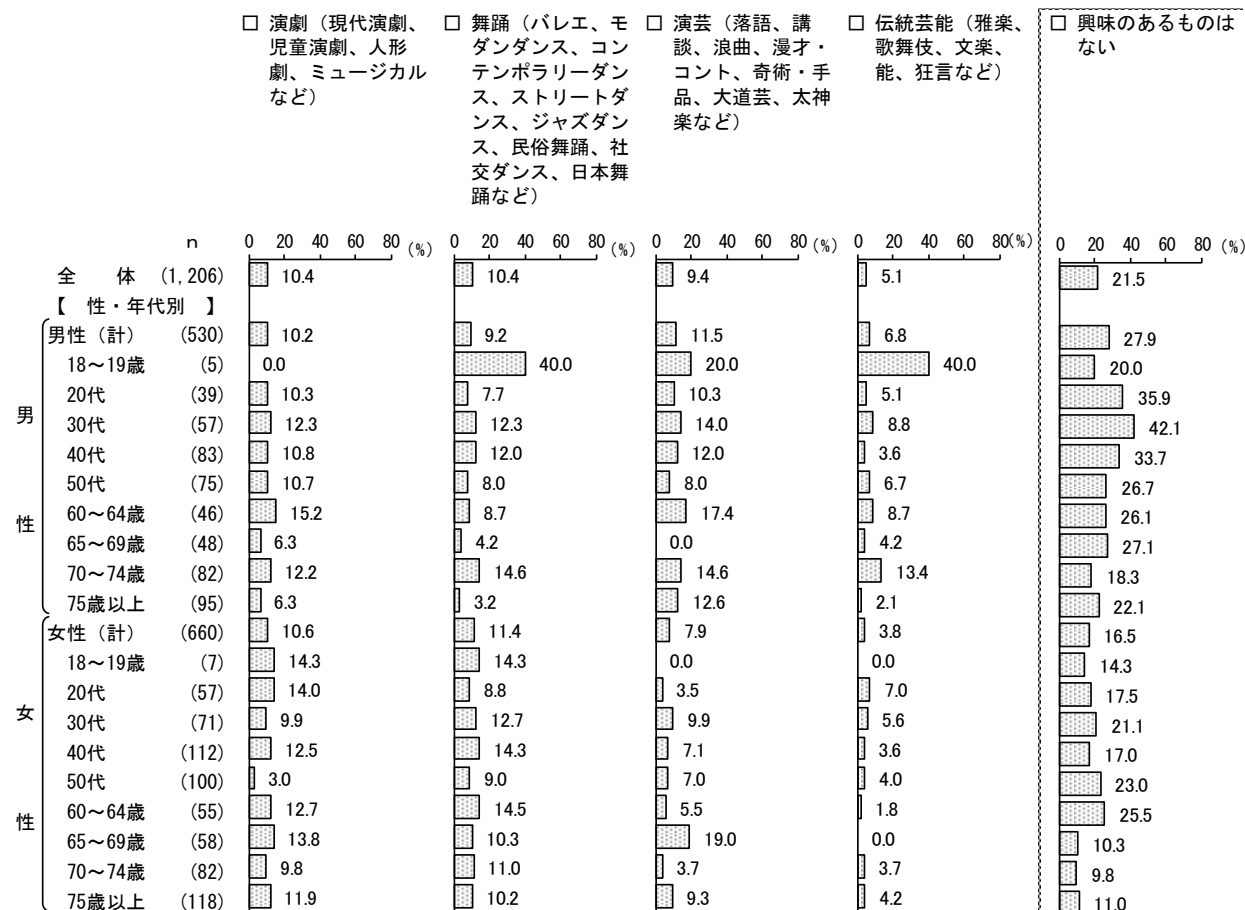
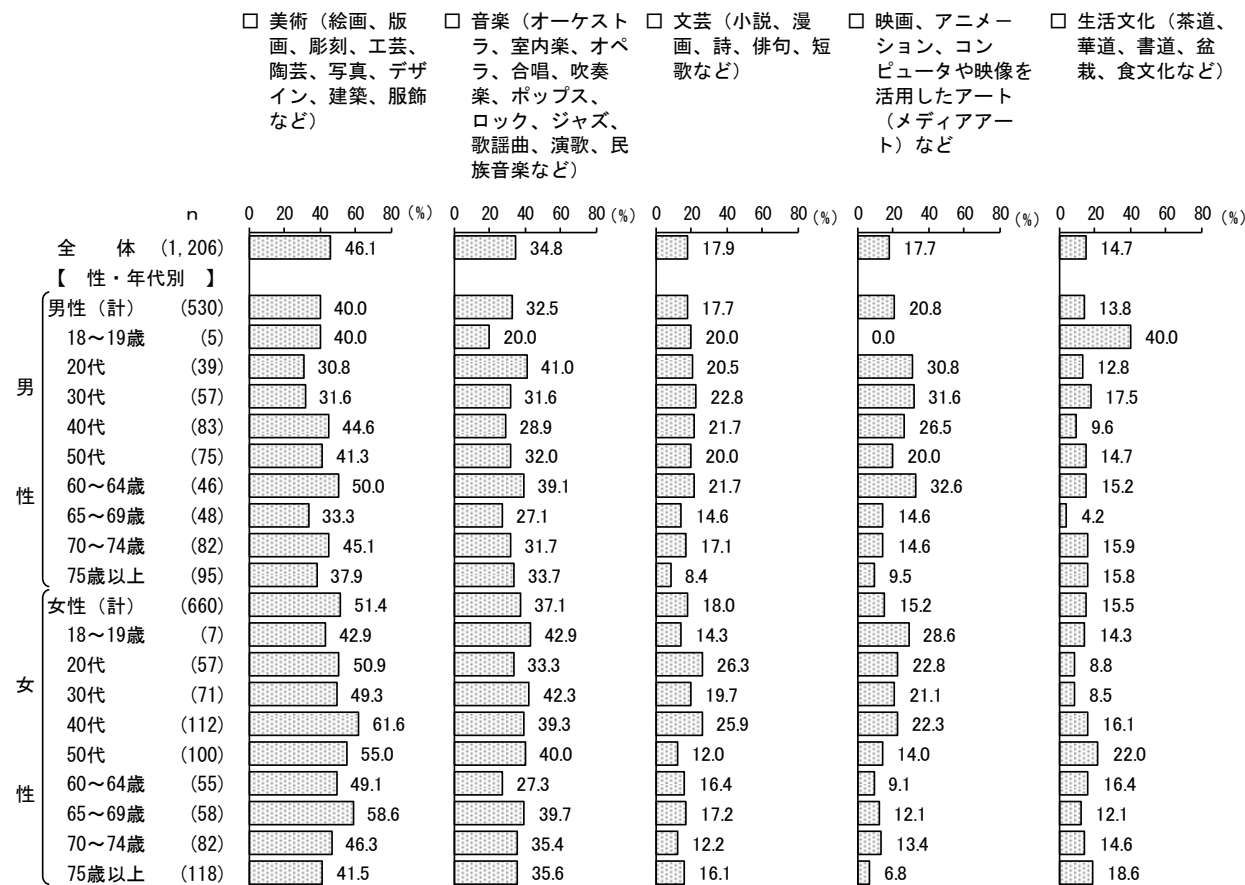
- 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）
- 音楽（オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など）
- 文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）
- 映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
- 生活文化（茶道、華道、書道、盆栽、食文化など）



- 演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 舞踊（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ストリートダンス、ジャズダンス、民俗舞踊、社交ダンス、日本舞踊など）
- 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
- 伝統芸能（雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など）
- 興味のあるものはない



<図表4-5>障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの／性・年代別



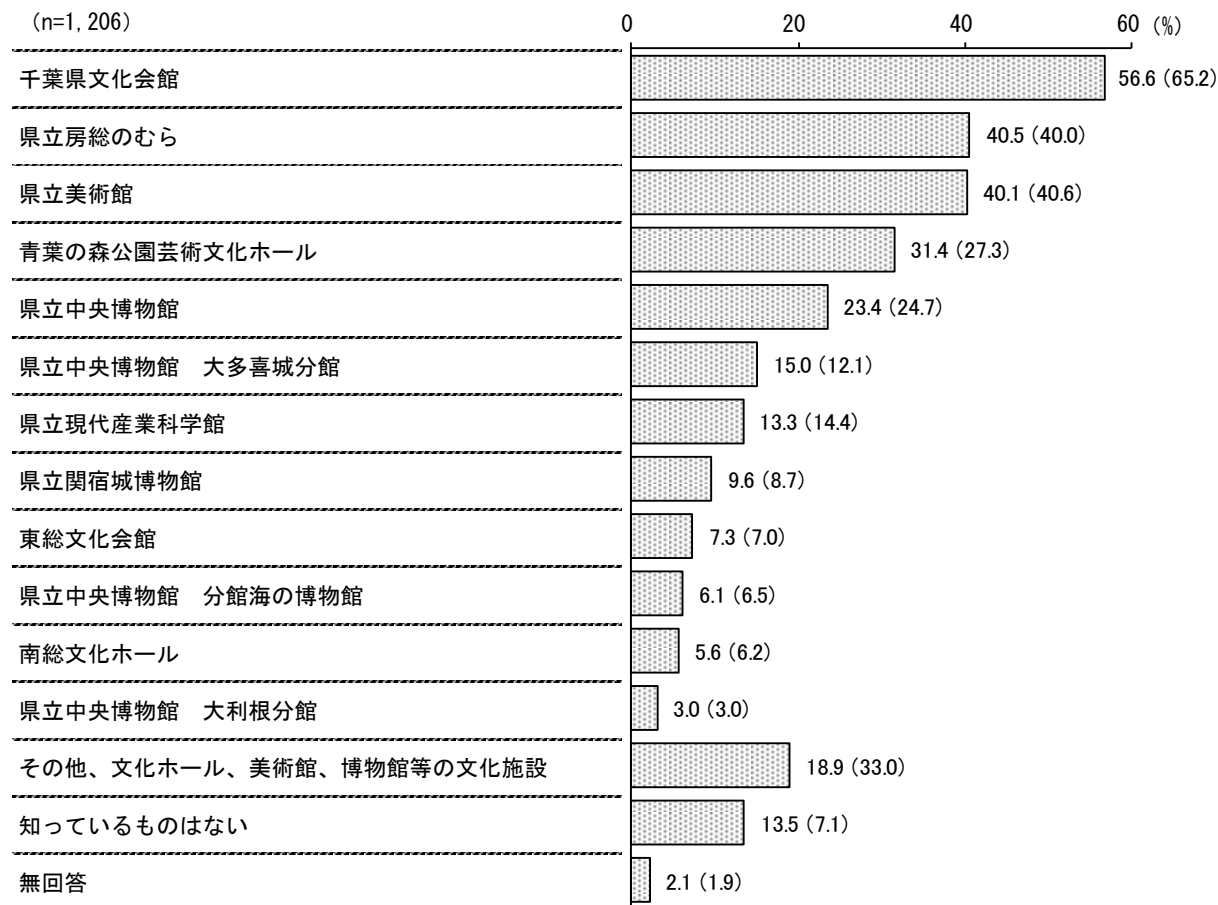
## 5. 文化施設について

### (1) 県内文化施設の認知

◇「千葉県文化会館」が5割台半ばで最も高い

問27 千葉県にある次の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表5-1> 県内文化施設の認知



注) ( )の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,052

※「その他、文化ホール、美術館、博物館等の文化施設」は、令和元年度では「その他、お住まいの市町村にある文化ホール、美術館、博物館等の文化施設」

千葉県内の文化施設で知っているものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(56.6%)が5割台半ばで最も高く、以下「県立房総のむら」(40.5%)、「県立美術館」(40.1%)、「青葉の森公園芸術文化ホール」(31.4%)が続く。

また、「知っているものはない」(13.5%)は1割台半ばとなっている。

(図表5-1)

#### 【地域別】

地域別にみると、「千葉県文化会館」は、“山武地域”(81.0%)が8割を超え、“千葉地域”(78.1%)が約8割で、それぞれ高くなっている。

「県立房総のむら」は、“印旛地域”（70.3%）が7割で高くなっている。

「県立美術館」は、“山武地域”（66.7%）が6割台半ば、“千葉地域”（63.2%）が6割を超え、それぞれ高くなっている。

「青葉の森公園芸術文化ホール」は、“千葉地域”（61.5%）が6割を超え、“山武地域”（47.6%）が約5割、“君津地域”（45.6%）が4割台半ばで、それぞれ高くなっている。

（図表5－2）

#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「千葉県文化会館」は、女性の40代（67.9%）が約7割、女性の50代（66.0%）が6割台半ばで、それぞれ高くなっている。

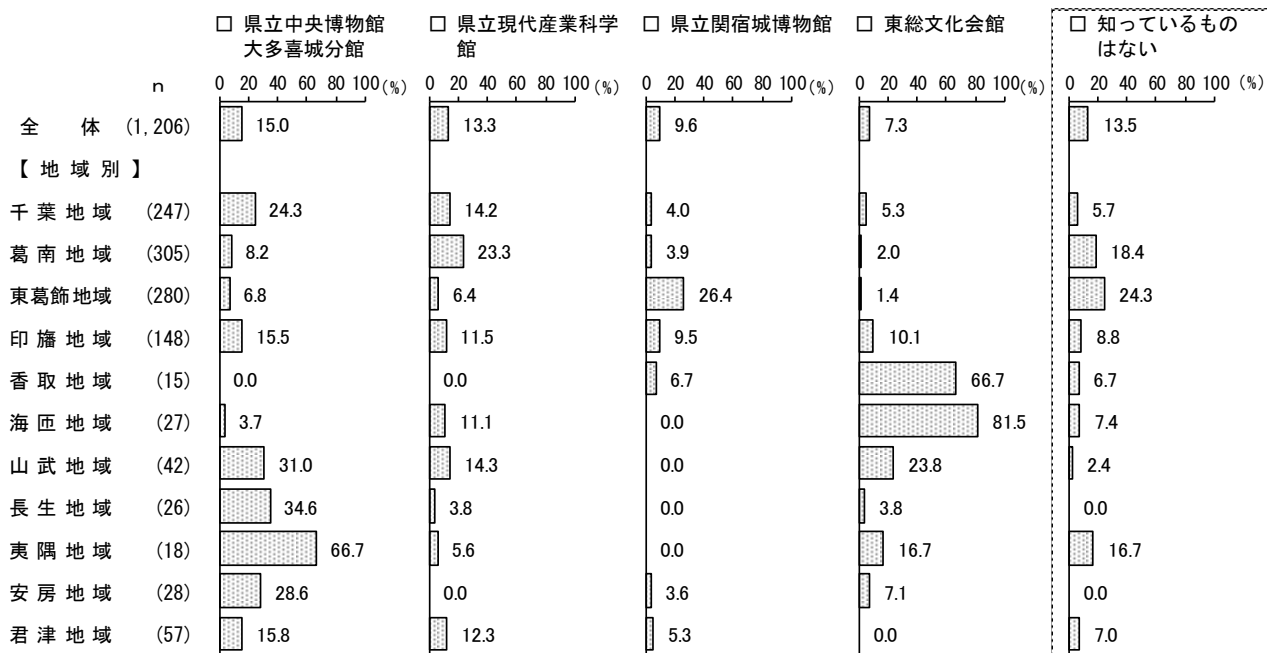
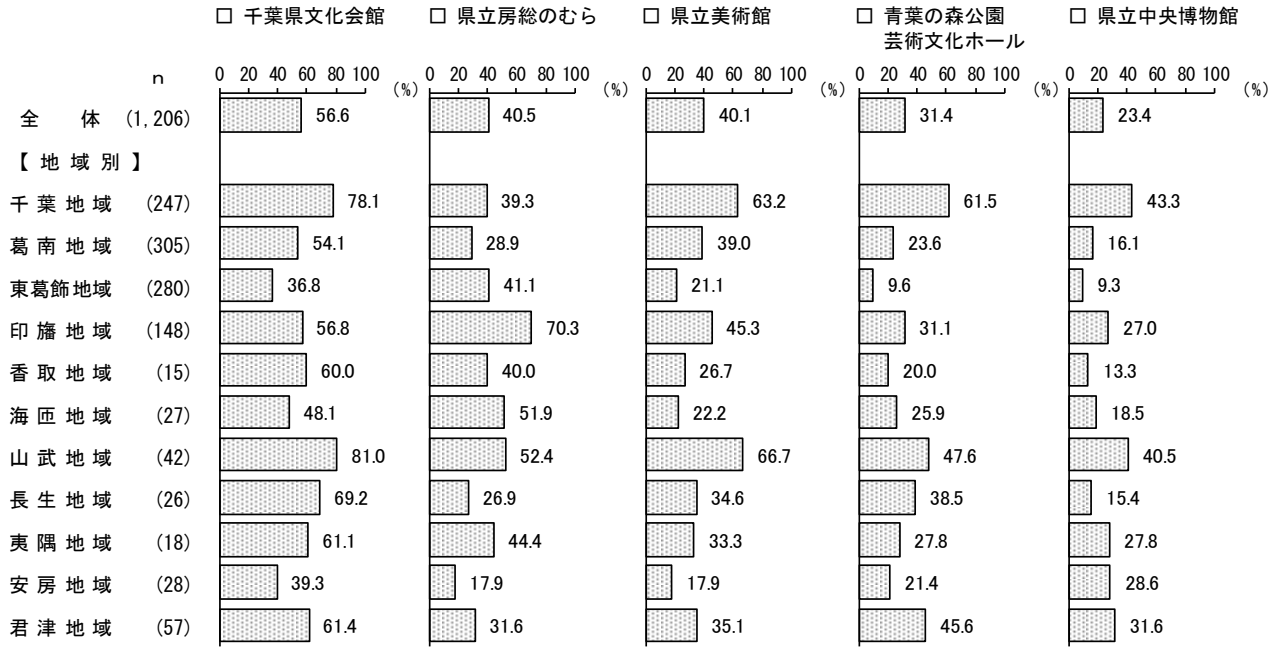
「県立房総のむら」は、女性の65～69歳（53.4%）、女性の70～74歳（51.2%）が5割を超え、それぞれ高くなっている。

「県立美術館」は、女性の50代（50.0%）が5割で高くなっている。

「青葉の森公園芸術文化ホール」は、女性の65～69歳（43.1%）が4割を超え、女性の75歳以上（39.8%）が約4割で、それぞれ高くなっている。

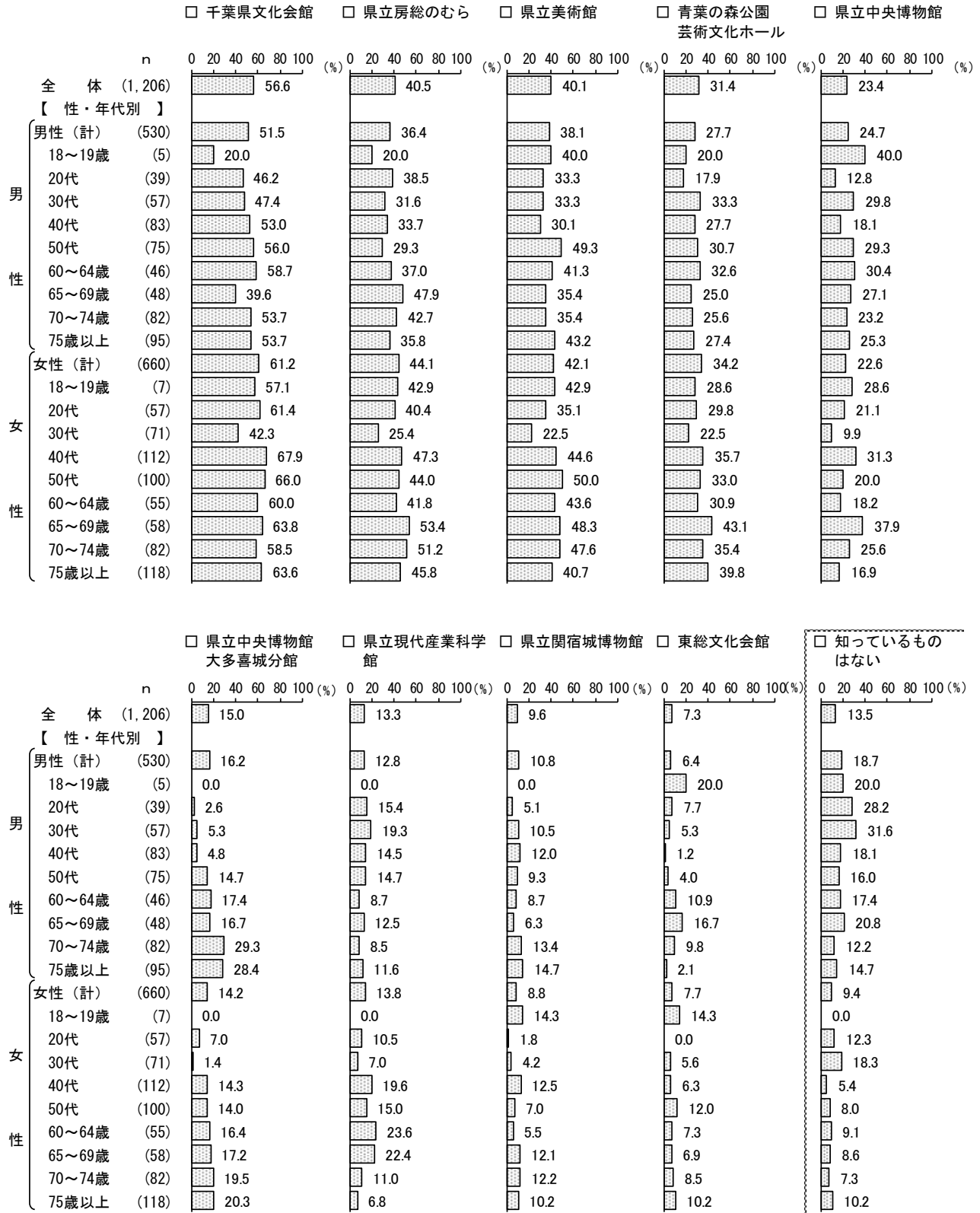
（図表5－3）

<図表5-2> 県内文化施設の認知／地域別（上位9項目+知っているものはない）





<図表5-3> 県内文化施設の認知／性・年代別（上位9項目+知っているものはない）

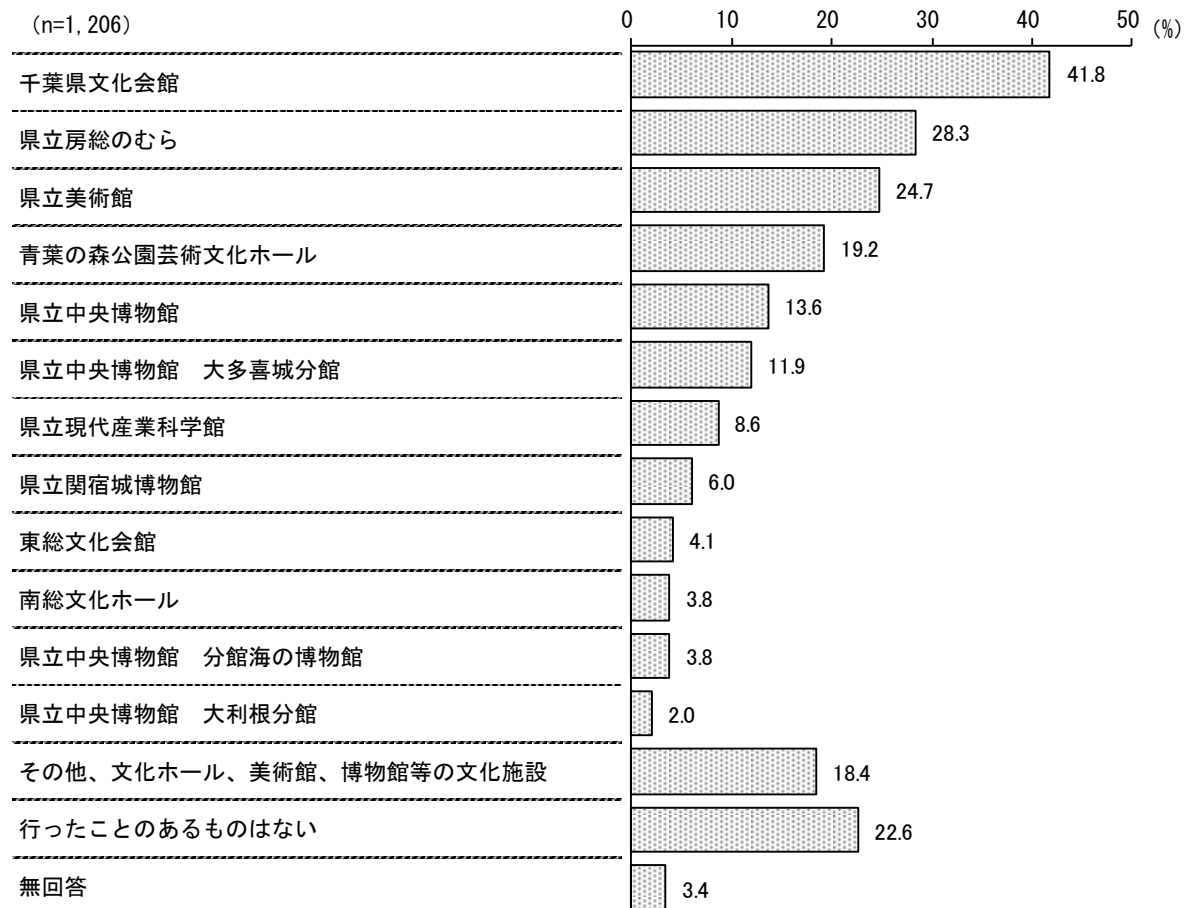


## (2) 県内文化施設の利用経験

◇「千葉県文化会館」が4割を超えて最も高い

問28 千葉県にある次の文化施設のうち、あなたが行ったことのあるものはどれですか。  
(〇はいくつでも)

＜図表5-4＞県内文化施設の利用経験



千葉県内の文化施設で行ったことがあるものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(41.8%)が4割を超えて最も高く、以下「県立房総のむら」(28.3%)、「県立美術館」(24.7%)、「青葉の森公園芸術文化ホール」(19.2%)が続く。

また、「行ったことのあるものはない」(22.6%)は2割を超えている。

(図表5-4)

### 【地域別】

地域別にみると、「千葉県文化会館」は、「山武地域」(66.7%)が6割台半ば、「千葉地域」(62.3%)が6割を超え、それぞれ高くなっている。

「県立房総のむら」は、「印旛地域」(56.1%)が5割台半ばで高くなっている。

「県立美術館」は、「千葉地域」(43.7%)が4割台半ば、「山武地域」(38.1%)が約4割で、それぞれ高くなっている。

「青葉の森公園芸術文化ホール」は、“千葉地域”（37.7%）が約4割で高くなっている。

（図表5-5）

#### 【性・年代別】

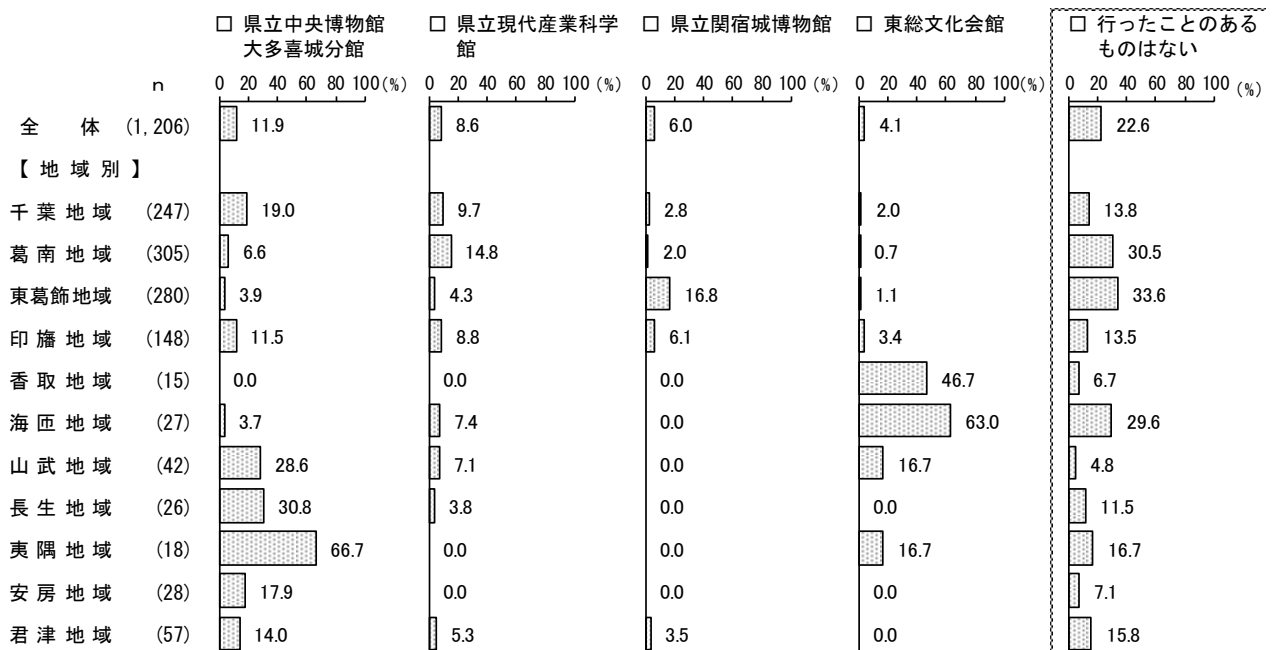
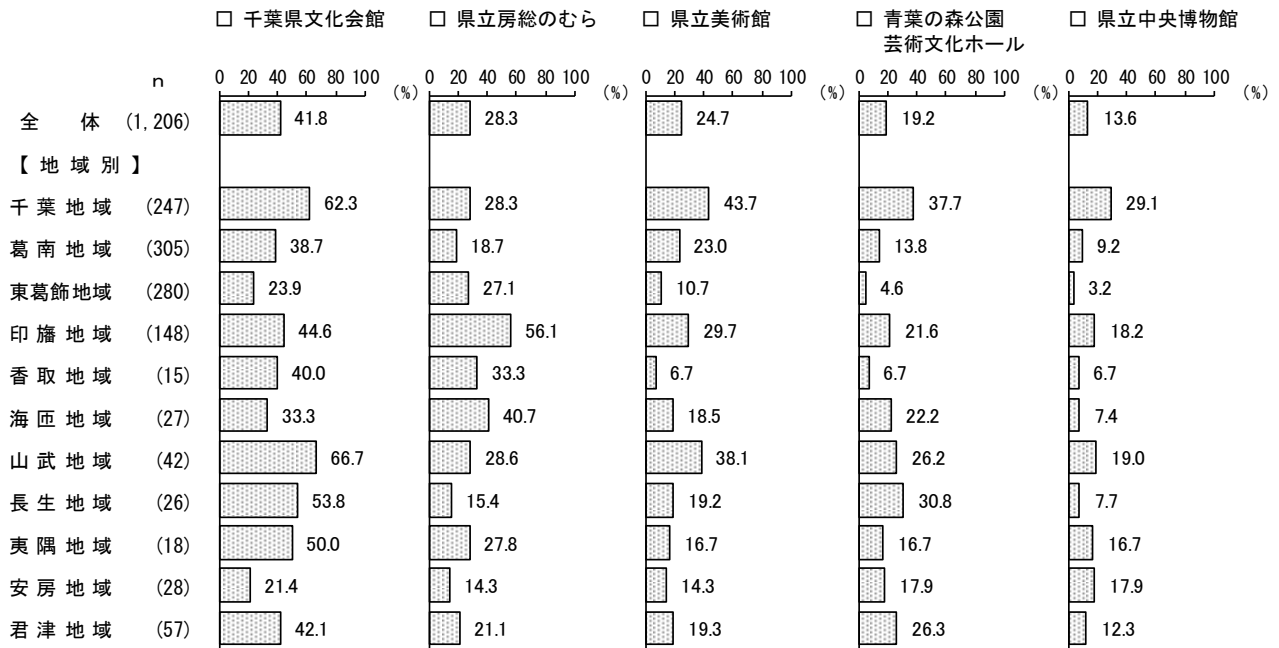
性・年代別でみると、「千葉県文化会館」は、女性の50代（55.0%）が5割台半ばで高くなっている。

「県立房総のむら」は、男性の65～69歳（41.7%）が4割を超え、女性の75歳以上（36.4%）が3割台半ばで、それぞれ高くなっている。

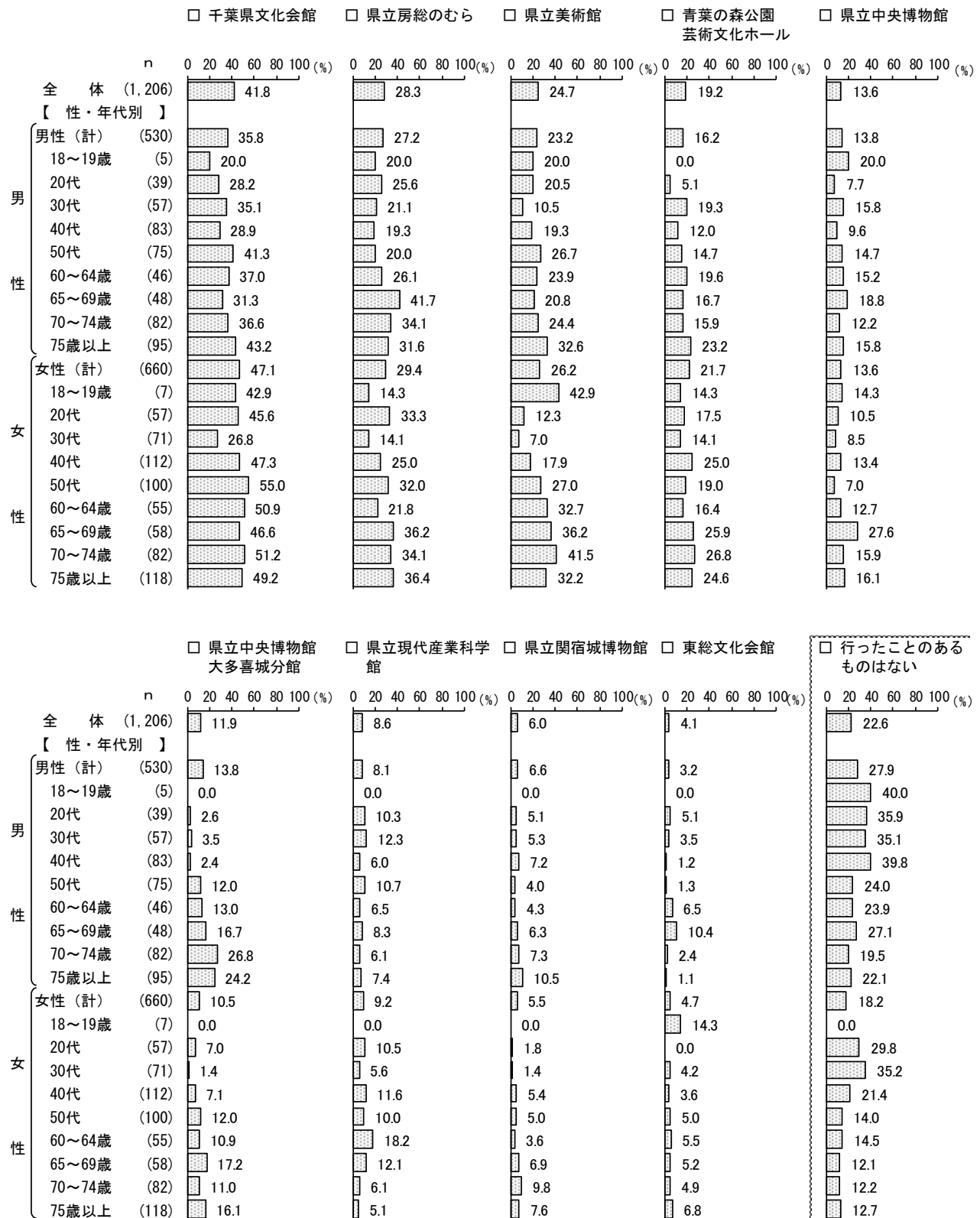
「県立美術館」は、女性の70～74歳（41.5%）が4割を超え、女性の65～69歳（36.2%）が3割台半ば、女性の75歳以上（32.2%）が3割を超え、それぞれ高くなっている。

（図表5-6）

<図表5-5> 県内文化施設の利用経験／地域別（上位9項目+行ったことのあるものはない）



<図表5-6> 県内文化施設の利用経験／性・年代別（上位9項目+行ったことのあるものはない）



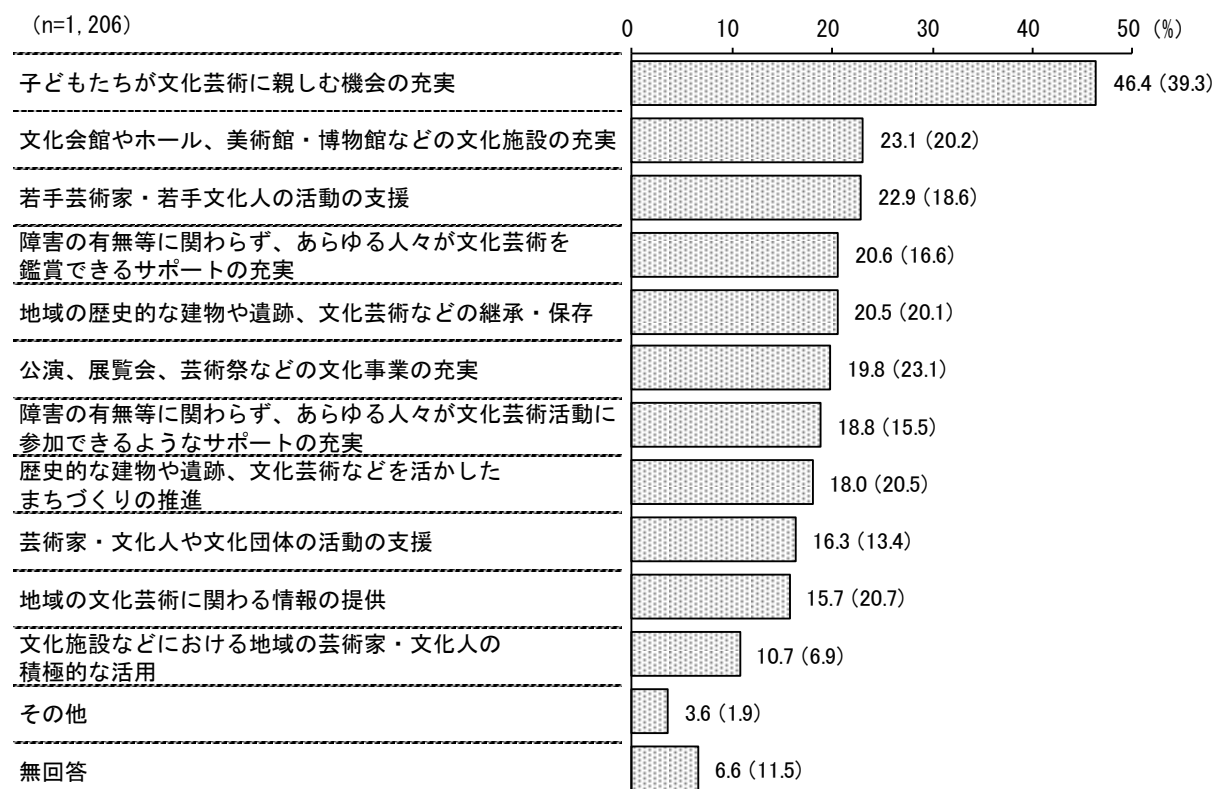
## 6. 県が実施する事業等について

### (1) 県が積極的に取り組むべき分野

◇「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が4割台半ばで最も高い

問29 千葉県の文化芸術を振興するために、県が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

<図表6-1> 県が積極的に取り組むべき分野



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,052

※「障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術を鑑賞できるサポートの充実」は、令和元年度では「障害の有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できるサポートの充実」

※「障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術活動に参加できるようなサポートの充実」は、令和元年度では「障害の有無に関わらず、文化芸術活動に参加できるようなサポートの充実」

千葉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(46.4%)が4割台半ばで最も高く、以下「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(23.1%)、「若手芸術家・若手文化人の活動の支援」(22.9%)、「障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術を鑑賞できるサポートの充実」(20.6%)が続く。

(図表6-1)

#### 【地域別】

地域別にみると、「地域の歴史的な建物や遺跡、文化芸術などの継承・保存」は、“千葉地域”(25.1%)が2割台半ばで高くなっている。

(図表6-2)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」は女性の40代（55.4%）が5割台半ばで高くなっている。

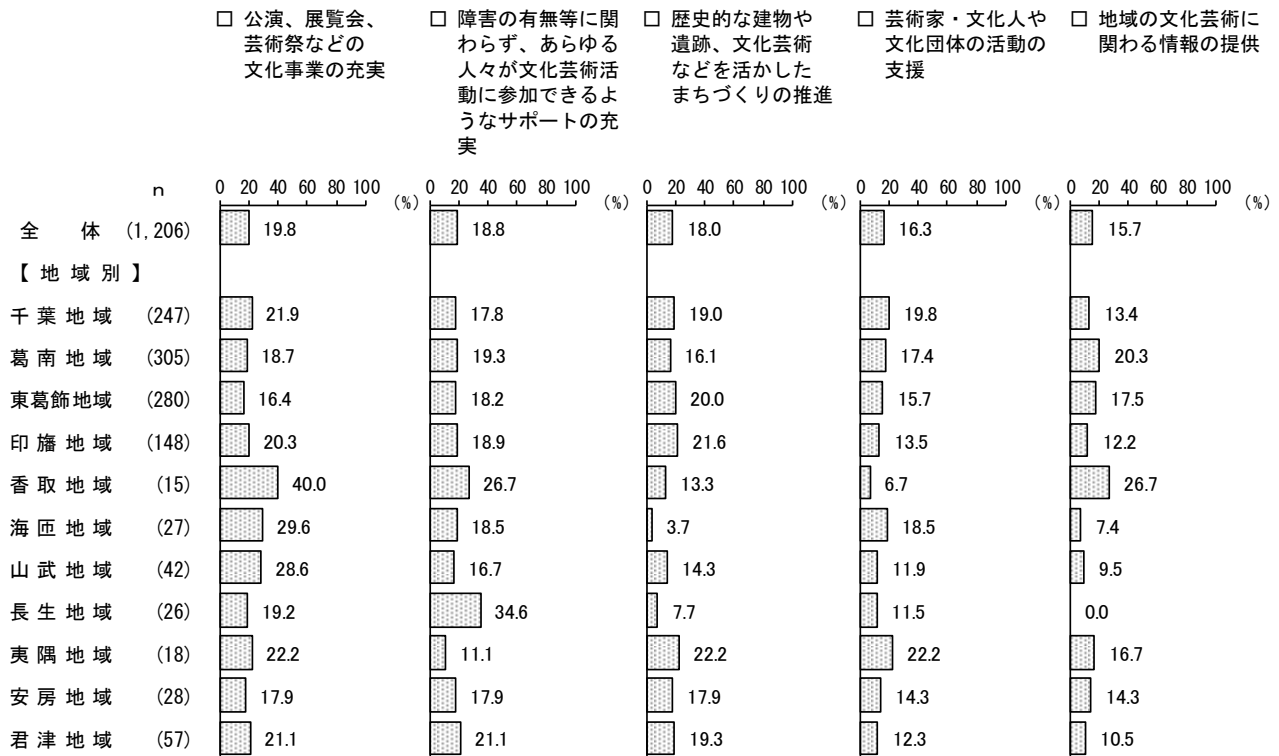
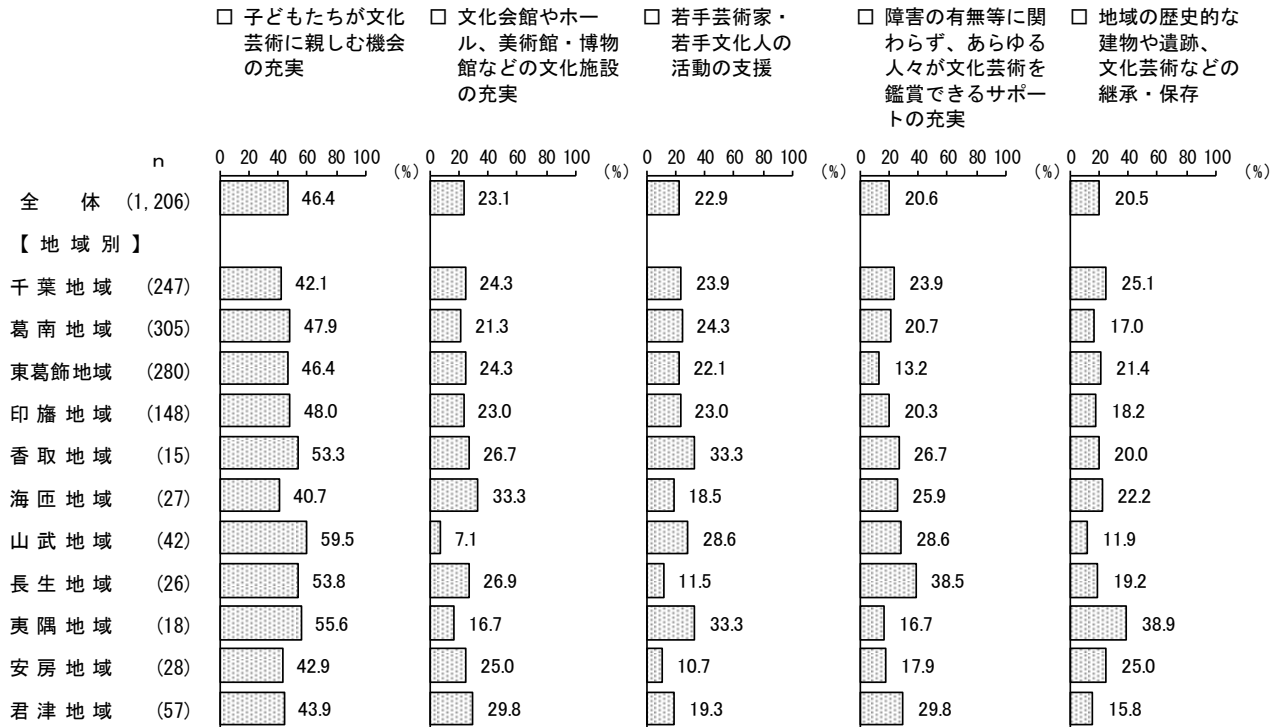
「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」は、女性の60～64歳（38.2%）が約4割、男性の70～74歳（32.9%）が3割を超え、それぞれ高くなっている。

「若手芸術家・若手文化人の活動の支援」は、男性の20代（38.5%）が約4割で高くなっている。

「障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術を鑑賞できるサポートの充実」は、女性の65～69歳（34.5%）が3割台半ばで高くなっている。

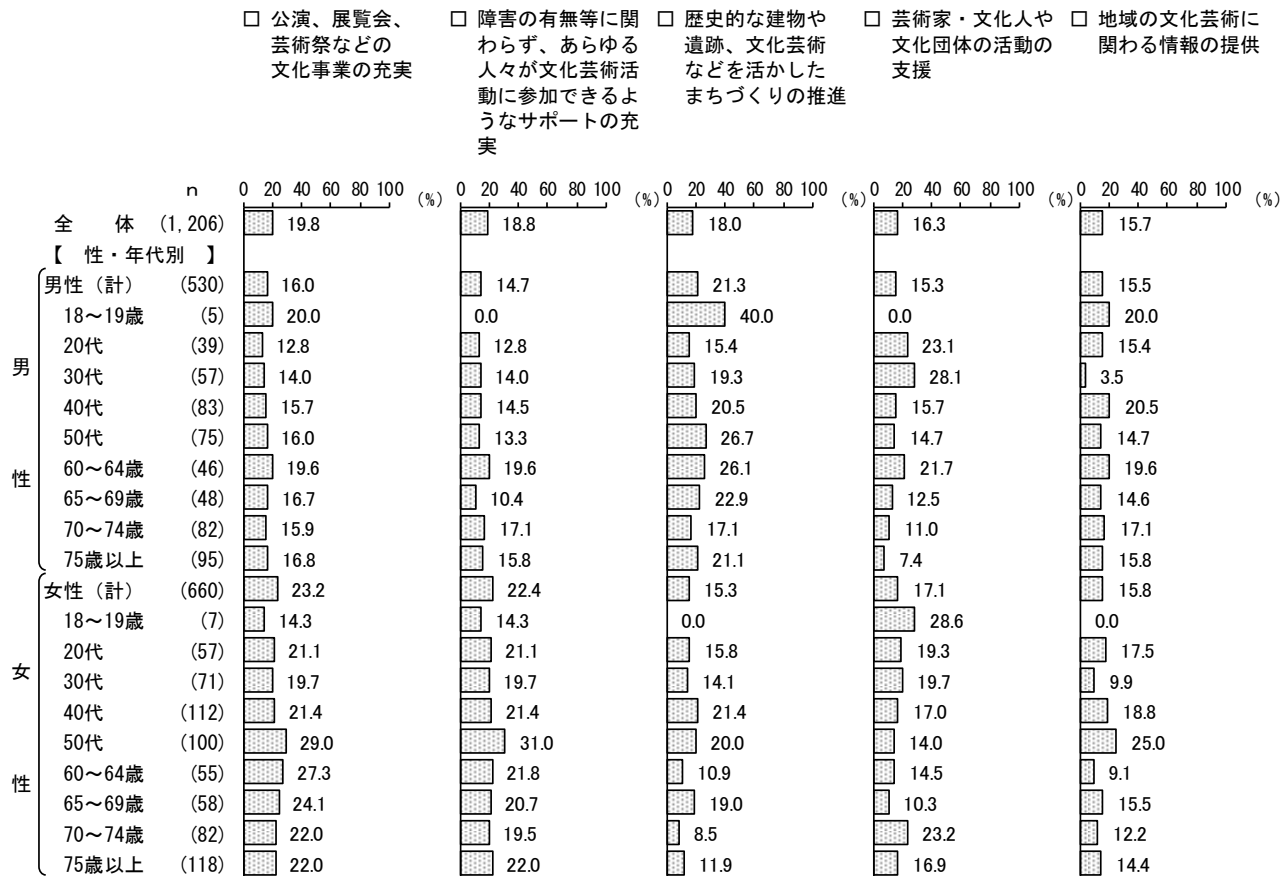
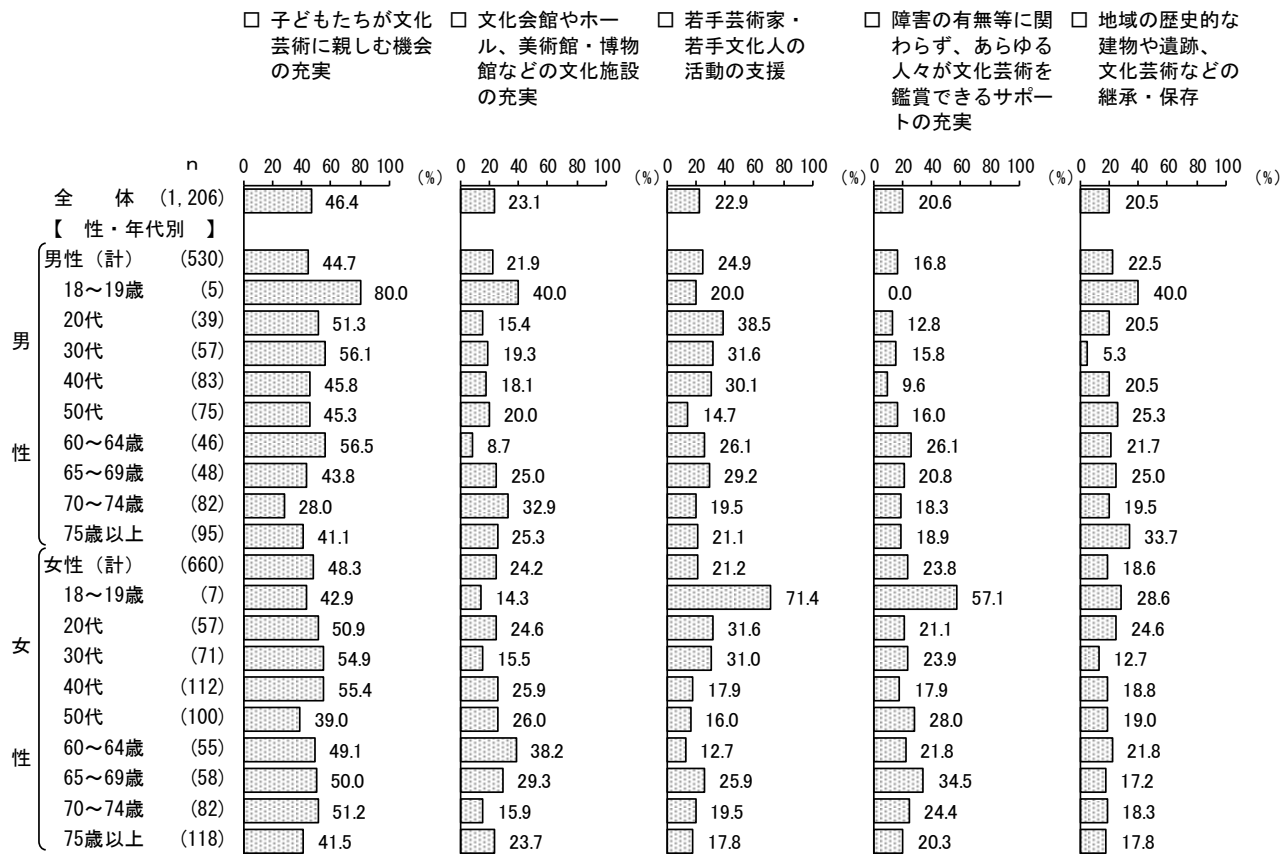
（図表6－3）

<図表6-2> 県が積極的に取り組むべき分野／地域別（上位10項目）





<図表6-3> 県が積極的に取り組むべき分野／性・年代別（上位10項目）



(2) 県が取り組む文化施策等に対するご意見等（自由記述の集計）

◇「広報、情報発信」に関するご意見が最も多い

問30 県が取り組む文化施策等に対してご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

<図表6-4> 県が取り組む文化施策等に対するご意見等（自由記述）

順位	内容	件数
第1位	広報、情報発信	56
第2位	施設の充実	51
第3位	展示やイベント等の充実	40
第4位	子ども・子育てへの支援	28
第5位	文化芸術にふれる機会を増やしてほしい	18
第6位	施設へのアクセス向上	16
第7位	障害者への支援	14
第8位	活動への支援・援助	10
第9位	高齢者への支援	7
第10位	文化芸術に関わる人員の確保	6
第11位	若者への支援	5
//	料金の見直し	5
-	アンケートについて	4
-	その他	36
-	特になし／わからない	46

合 計（延べ件数） 342

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容にわたる場合には、それぞれの項目へ分類。

県が取り組む文化施策等に対するご意見等について聞いたところ、「広報、情報発信」が56件で最も多く、以下「施設の充実」（51件）、「展示やイベント等の充実」（40件）、「子ども・子育てへの支援」（28件）が続く。

（図表6-4）

紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、以下に意見の一部を抜粋して記載する。

## ◇広報、情報発信

- 東京に近い方面に比べて、下に行けば行くほどPR不足が否めないです。企画の内容自体は良くても圧倒的に認知度不足だと思います。今ならGoogle・インスタ広告に力を入れるべきだと思います。大型イベントでも、都内の人は知っているが千葉に住んでる人が知らないなど、。確かに流入も大切だとは思いますが、まずは県内にいるネット世代に向けての配信などで、来場を促すのが効果的なのではないかと考えます。 (女性、20代、千葉地域)
- 少子高齢化、人口減少社会となると、特に地域伝統芸能継承の観点から、他都道府県民に千葉県内の文化芸術をアピールする必要もあると考える。目的として端からそういうもんじゃないのかもしれないが、150周年事業はもう少し千葉県外でも広報してもよかったのではないかと  
思う。 (男性、20代、夷隅地域)
- 今、文化施設がどのような取り組みを実施しているか、何をしていくかなどもっとアナウンスしてほしいです。情報の伝達の仕方をもっと考えてほしい。(女性、60～64歳、東葛飾地域)
- もっとたくさんの人に文化芸術振興をしていることを伝える方法を考えたらいいと思う。そもそも、そんなことをしていると思っていない人の方が大多数と思うので、意識する人、興味のある人へではなく真逆の所にいる人へ情報が届いてこそ、の活動をされたらどうでしょうか。 (女性、40代、千葉地域)

## ◇施設の充実

- 芸術にもっと予算をあてて欲しい。国内で誇れるような文化施設が全くない。 (男性、50代、印旛地域)
- さいたまスーパーアリーナのようなビッグアーティストに対応できる施設が千葉にない。県庁や周辺に於いても芸術性を感じる事が無い。まず足元(本千葉)から文化芸術性のある街づくりを熱望します。 (男性、70～74歳、千葉地域)
- 誰もが気軽に行ける施設で、しかも、その場所が他の施設へ行く事が可能な様に、施設を転々と移動出来る様にしてほしい。たまたま来たら何かの催しが行われているから参加しようと思える。 (男性、50代、君津地域)
- 大きなホールや文化施設でなく、もっと低料金で気軽に利用出来る少人数(100人程度)のための施設があると、幅広い世代の多くの人々が活用しやすいのではないかと思います。 (女性、60～64歳、千葉地域)

## ◇展示やイベント等の充実

- 面白そうな展示会が全て上野あたりで行われてしまうため、千葉県内で何かを見ようという気にならない。もっと情報発信してもらいたいし、インパクトのある展示会をしてもらいたい。それに伴い、周辺の施設の充実にも尽力していただきたいです。（女性、20代、葛南地域）
- 積極的にアニメや漫画のイベント、音楽フェスやライブイベントをやってほしい  
(男性、30代、葛南地域)
- 文化芸術には、とても興味があるのですが、そこへ足を向かわせる為には、もっと付加価値が必要だと思います。ただ学ぶだけではなく、楽しい思い出を老若男女が刻めるようなイベント、祭り、食、環境等を希望します。（女性、50代、東葛飾地域）
- イベントの充実。入館しやすい雰囲気。体験型施設にして欲しい。  
(男性、65～69歳、海匝地域)

## ◇子ども・子育てへの支援

- 子どもがもっと文化芸術に興味を持つような、楽しみながら学べる事業をやってほしい  
(女性、40代、香取地域)
- 日本の伝統芸能、歌舞伎、能、狂言を含め、生の舞台を子供達に親しむ機会をもっと与えられると、実際間近で芸術にふれることで子供達が自分の将来、夢を広げられるのではないかと思います。  
(女性、70～74歳、印旛地域)
- より自由に参加、鑑賞できるようにしていただく。子どもたちがより鑑賞しやすい環境にしていただきたい。働いていると、そういったものに関わる機会が少ないので、子ども経由だと鑑賞、参加しやすいと思う。  
(男性、30代、千葉地域)
- 義務教育9年間の間に、児童・生徒がきちんとしたホールや美術館で、演劇・音楽・美術作品を鑑賞できるプログラムを組んでほしいです。「PTA予算で体育館」のレベルでは十分な体験になりません。「千葉の子は、小中学校の間に全員生の芸術に触れて育っている」となってこそその「文化県」です。是非お願いします。  
(女性、65～69歳、東葛飾地域)

## ◇文化芸術にふれる機会を増やしてほしい

- 内容の拡充よりも、まずは文化芸術に触れるきっかけづくりが重要と感じます。  
(男性、60～64歳、印旛地域)
- スマートフォンでなんでも楽しめる時代だが、生のステージで見る事、聞く事、ふれる事、楽しめる事、あらゆる所で、いろいろな人がふれあう事の出来る活動を希望します。  
(女性、60～64歳、東葛飾地域)
- コロナ禍を経て、自分の時間を充実させることが大事という認識は広まっていると思います。文化芸術とのふれあいはそのためにも重要です。地域の日常の身近なところにそうした機会が増えるといいと思いますし、それを周知していただければいいと思います。県民が主体的に参加することが大事で、行政にはそのための環境づくりなどの支援を期待します。  
(男性、70～74歳、葛南地域)

## ◇施設へのアクセス向上

- 文化施設などへ行く交通手段が不便。  
(女性、75歳以上、印旛地域)
- 文化、施設をもちあげたいが、高齢者が多く、バスが少なくなってきたため、行けないという方が多いと思う。交通手段を考えてほしい。  
(女性、50代、千葉地域)
- どうしてもコンサートや演芸などの施設、催物などは県内より都内へ出かけるほうが、内容の選択肢も多いし時間的にも費用的にもさほど変わらない。私の住んでいる市にも文化会館はあるが、施設が古く交通の便も悪く、障害者への対応ももう一つ。  
(男性、70～74歳、東葛飾地域)

## ◇障害者への支援

- 障害者による発表会等の開催支援。  
(男性、60～64歳、葛南地域)
- 障害のある人達が気がねなく参加見学できる場所を増やしてほしい。バリアフリーの施設、手話通訳者。  
(女性、70～74歳、山武地域)
- 市原市などでお笑いのライブがあり行きたいが、障がい手帳があるけれど、割引きなどが聞いてもわからないといわれていつも断念します。できればそういう割引きがわかりやすいと良いです。  
(男性、30代、千葉地域)

#### ◇活動への支援・援助

- 伝統的なものの歴史を知る機会を大事にするとともに、新しい分野の文化的活動の機会も開拓してほしい。  
(男性、40代、東葛飾地域)
- 観に行く側としては、文化芸術施設はとにかく居住地から遠いので都内に行きがち。近くにあるとありがたいな、と思います。若手としては、とにかくお金がかかるので役所からの支援がいただけると皆目指しやすく、続けられるかと  
(男性、30代、印旛地域)

#### ◇高齢者への支援

- 文化芸術に関心はありますが、高齢のため出掛ける事が出来にくくなりました（体力、交通手段等）。以前は県内外問わず出かけていましたが…。  
(女性、75歳以上、千葉地域)
- 施設入場料割引等、シニア向けのサービスを検討して下さい。(男性、75歳以上、印旛地域)

#### ◇文化芸術に関わる人員の確保

- 地域の祭礼に関しては、お金の使用が不透明なので、開示する様ルールを決めるなどはした方が良かったと思います。他地域から転入してくる人々が参加する事を嫌がらない様な運用も必要なのかと思います。千葉県は高齢化率の高い地域も多いので、転入者の参加が文化継承には必要かと思います。  
(男性、30代、安房地域)

#### ◇若者への支援

- 未来ある子供達や若い世代が夢や希望をもてるようにしてほしい。(女性、50代、君津地域)

#### ◇料金の見直し

- 映画のように割引日等があると来客が増えるのでは  
(男性、30代、葛南地域)

# ( 付 ) 調 査 票

# 文化芸術への意識に関するアンケート調査

## ご回答にあたってのお願い

宛名のご本人様がお答えください。(代筆による回答も可能です。)

本アンケートは10分程度で回答可能です。

**回答方法は「郵送」または「インターネット」のいずれかをお選びいただけます。**

**令和6年7月12日(金)までに**ご回答をお願いします。

※郵送・インターネット共通

### 郵送でお答えいただく場合

- この調査票に直接、黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 調査票はご記入後、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。返信用封筒へのお名前やご住所のご記入、切手は不要です。

### インターネットでお答えいただく場合

- ご回答には、右下に貼られた「利用者ID」「パスワード」が必要になります。
- 「利用者ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人は特定されません。
- インターネットでお答えいただいた方は、この調査票を返送する必要はありません。
- 詳細な手順は、別添の「インターネット回答操作案内」をご覧ください。
- スマートフォンで、右下の2次元コードを読み取ると回答ページに移動します。

ご回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

#### 【調査の趣旨・内容について】

千葉県 環境生活部  
スポーツ・文化局文化振興課 企画調整班  
〒260-8667  
千葉市中央区市場町1番1号  
電話 043-223-2408  
(平日9:00~17:00)



#### 【調査票の記入方法・締切等について】

調査実施機関  
株式会社マーケティングリサーチサービス  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚2-45-8  
ニッセイ大塚駅前ビル 5階  
電話 03-6690-0086  
(平日10:00~18:00)





## 【1 鑑賞※について】

※鑑賞とは、美術館や劇場などの施設へ行って直接鑑賞することや、自宅などで本や漫画を読むこと、テレビやパソコン、スマートフォン等を使い鑑賞することを指します。

問1 あなたが昨年度(2023年4月1日～2024年3月31日)鑑賞した文化芸術はどれですか。  
(○はいくつでも)

- 1 文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)
- 2 オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽
- 3 ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽
- 4 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)
- 5 映画(アニメ含む)
- 6 メディアアート(漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術)
- 7 現代演劇、児童演劇、人形劇
- 8 ミュージカル
- 9 バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
- 10 ストリートダンス(ブレイク、ヒップホップ等)、ジャズダンス、民俗舞踊(フラダンス、サルサ、フラメンコ等)、社交ダンスなど
- 11 日本舞踊
- 12 日本の伝統芸能(雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など)
- 13 地域の伝統芸能(祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など)
- 14 演芸(落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など)
- 15 茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化
- 16 食文化(郷土料理など)の展示、イベント
- 17 国民娯楽(囲碁、将棋など)
- 18 歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)
- 19 歴史系、民俗系の展示・催しなど(博物館や資料館の展示や、伝統的な農法・漁法、技術等の見学など)
- 20 自然(動物・植物)、科学・産業に関する展示・催しなど
- 21 その他(具体的に )

22 鑑賞しなかった

「1」～「21」に○がついた方は、  
3ページ問2へお進みください

「22」に○がついた方は  
5ページ問10へお進みください

(問1で「1」～「21」のいずれかに回答した方に)

問2 昨年度、文化芸術を鑑賞した理由はなんですか。

(○はいくつでも)

- 1 自分が興味のある内容だったから
- 2 家族・友人などから誘われたから
- 3 家族・友人などが出演・出品などをしているから
- 4 自宅の近くで開催していたから
- 5 無料（もしくは低料金）だったから
- 6 学校行事として実施されたから
- 7 パソコンやスマートフォンなどで気軽に鑑賞できるから
- 8 その他（具体的に

)

問3 昨年度、文化芸術をどこで鑑賞しましたか。

(○はいくつでも)

- 1 ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）
- 2 ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県外）
- 3 美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県内）
- 4 美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県外）
- 5 映画館（県内）
- 6 映画館（県外）
- 7 神社・仏閣（県内）
- 8 神社・仏閣（県外）
- 9 街中（駅前・公園・商業施設など）（県内）
- 10 街中（駅前・公園・商業施設など）（県外）
- 11 自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で）
- 12 自宅や通勤・通学・移動途中など（書籍など、電子機器以外で）
- 13 その他（具体的に

)

問4 昨年度、どのくらいの頻度で鑑賞しましたか。

(○は1つ)

- 1 年に1回程度
- 2 年に数回程度
- 3 月に1～3回程度
- 4 週に1回程度
- 5 週に複数回

(ひきつづき、問1で「1」～「21」のいずれかに回答した方に)

問5 問4で回答した頻度は、2020年4月以前(新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前)と比較して、増加したと思いますか、減少したと思いますか。(○は1つ)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 増加した  | 3 減少した  |
| 2 変わらない | 4 わからない |

問6 2020年4月以前(新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前)と比べて、文化芸術を鑑賞することに対して何か変化はありましたか。(例えば「自宅での鑑賞が増えた」、「鑑賞に対する気持ちが変わった」など)どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。


問7 昨年度、文化芸術を鑑賞した回数や内容に満足できましたか。(○は1つ)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1 満足できた | 2 満足できなかった |
|---------|------------|

> (問7で「1」とお答えの方に)

問8 満足できた理由はなんですか。(○はいくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 自分にとって十分な回数だったから               |
| 2 観賞した回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから |
| 3 その他(具体的に )                     |

(問7で「2」とお答えの方に) <

問9 満足できなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1 観賞した回数は十分だが、満足できる鑑賞経験を得られなかったから         |
| 2 鑑賞をしたかったが、興味のある内容のもの(催し・配信・出版等)が少なかったから |
| 3 仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する機会がなかったから             |
| 4 自分の都合のよい日時に開催(配信・放映)されていなかったから          |
| 5 近隣に文化施設がないから                            |
| 6 スマートフォン・パソコン等の鑑賞環境が整っていないから             |
| 7 催し物の料金が高かったから                           |
| 8 催し物の情報が得られなかったから                        |
| 9 その他(具体的に )                              |

(問1で、昨年度文化芸術を「22 鑑賞しなかった」とお答えの方に)

問10 昨年度、文化芸術を鑑賞しなかった理由はなんですか。 (○はいくつでも)

- 1 興味のある内容の催し物(配信・出版含む)がないから
- 2 仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する時間がないから
- 3 仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する気力がわからないから
- 4 自分の都合のよい日時に開催されていないから
- 5 近隣に文化施設がないから
- 6 スマートフォン・パソコン等の鑑賞環境が整っていないから
- 7 催し物の料金が安いから
- 8 催し物の情報が得られないから
- 9 エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから
- 10 バリアフリー対策の情報が入手できないから
- 11 字幕表示、展示による案内等の鑑賞サポートが不十分だから
- 12 文化芸術に興味がないから
- 13 その他(具体的に )

(ひきつづき、問1で、昨年度文化芸術を「22 鑑賞しなかった」とお答えの方に)

問11 普段の余暇時間※に鑑賞しているもの、活動していることは何かありますか。  
(例: スポーツ観戦をしている、ゲームをしている 等)

※余暇時間とは、いわゆる生活時間のうち、労働および睡眠・食事・家事その他の生活を営む上で必要となる時間を除いた、自分の好きに過ごせる時間のことを指します。


## 【2 自分自身の参加・出演について】

※活動とは、自ら創作・演奏、舞台等へ出演することや、習い事や地域の祭りに参加すること、スマートフォン等を使い自分で撮った写真等を投稿することなどを指します。

(すべての方に)

問12 あなたは文化芸術を鑑賞するだけでなく、自分で行う(活動する)ことに興味・関心がありますか。(○は1つ)

1 興味・関心がある

2 興味・関心がない

→ (問12で「1」とお答えの方に)

→ 問20へお進みください

問13 あなたは文化芸術活動を行っていますか。(○は1つ)

1 行っている

2 行っていない

→ (問13で「1」とお答えの方に)

→ 問18へお進みください

問14 あなたが行っている文化芸術活動のジャンルはなんですか。(○はいくつでも)

- 1 文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)
- 2 オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽
- 3 ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽
- 4 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)
- 5 映画(アニメ含む)
- 6 メディアアート(漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術)
- 7 現代演劇、児童演劇、人形劇
- 8 ミュージカル
- 9 バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
- 10 ストリートダンス(ブレイク、ヒップホップ等)、ジャズダンス、民俗舞踊(フラダンス、サルサ、フラメンコ等)、社交ダンスなど
- 11 日本舞踊
- 12 日本の伝統芸能(雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など)
- 13 地域の伝統芸能(祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など)
- 14 演芸(落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など)
- 15 茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化
- 16 食文化(郷土料理など)
- 17 国民娯楽(囲碁、将棋など)
- 18 歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)の保存
- 19 歴史系、民俗系の展示・催しなど(博物館や資料館の展示や、伝統的な農法・漁法、技術等)
- 20 自然(動物・植物)、科学・産業に関する展示・催しなど
- 21 その他(具体的に )

(ひきつづき、問13で「1」とお答えの方に)

問15 問14で回答した文化芸術活動を始めた理由はなんですか。 (○はいくつでも)

- 1 もともと好きだった、物心ついたときには始めていた
- 2 家族・友人などから誘われたから
- 3 家族・友人などが出演・出品などをしているから
- 4 自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから
- 5 学校行事で鑑賞・体験したから
- 6 学校の部活動や同好会に参加したから
- 7 メディア（テレビ、本、インターネットなど）を通じて興味を持ったから
- 8 その他（具体的に )

問16 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の以前）と比べて、文化芸術活動をするに対して何か変化はありましたか。（例えば、「活動方法が変わった」、「活動に対する気持ちが変わった」など）  
どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。


問17 問14で回答した文化芸術活動を行う際に課題と感じる点はなんですか。 (○はいくつでも)

- 1 練習・制作のための場所が少ない・遠い
- 2 発表の場が少ない・遠い
- 3 活動に必要な費用が高額である
- 4 新規加入者が少ない
- 5 指導者が少ない
- 6 その他（具体的に )
- 7 特に課題に感じる点はない

(問12で「1 興味・関心がある」とお答えで、問13で「2 行っていない」とお答えの方に)

問18 興味・関心がある文化芸術活動のジャンルはなんですか。(○はいくつでも)

- 1 文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)
- 2 オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽
- 3 ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽
- 4 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)
- 5 映画(アニメ含む)
- 6 メディアアート(漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術)
- 7 現代演劇、児童演劇、人形劇
- 8 ミュージカル
- 9 バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
- 10 ストリートダンス(ブレイク、ヒップホップ等)、ジャズダンス、民俗舞踊(フラダンス、サルサ、フラメンコ等)、社交ダンスなど
- 11 日本舞踊
- 12 日本の伝統芸能(雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など)
- 13 地域の伝統芸能(祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など)
- 14 演芸(落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など)
- 15 茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化
- 16 食文化(郷土料理など)
- 17 国民娯楽(囲碁、将棋など)
- 18 歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)の保存
- 19 歴史系、民俗系の展示・催しなど(博物館や資料館の展示や、伝統的な農法・漁法、技術等)
- 20 自然(動物・植物)、科学・産業に関する展示・催しなど
- 21 その他(具体的に )

(ひきつづき、問12で「1 興味・関心がある」とお答えで、問13で「2 行っていない」とお答えの方に)

問19 興味・関心があるが文化芸術活動を行っていない理由はなんですか。

(○は3つまで)

- 1 仕事・育児・介護などで忙しく参加できないから
- 2 自分の都合のよい日時に実施されていないから
- 3 近隣で実施されていないから
- 4 スマートフォン・パソコン等の活動環境が整っていないから
- 5 活動に必要な経費が高いから
- 6 活動に関する情報が得られないから
- 7 活動を一緒に行う仲間がいないから
- 8 その他(具体的に )

### 【3 各地域における伝統芸能について】

(すべての方に)

問20 あなたが住んでいる地域では、継承されている祭り、踊り、笛・太鼓の音楽等の伝統芸能がありますか。 (○は1つ)

1 ある	2 ない	3 あるかどうか知らない
------	------	--------------

→ 問23へお進みください

→ (問20で「1」とお答えの方に)

問21 あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。 (○は1つ)

1 参加しているし、今後も続けたいと思う
2 参加しているが、今後は続けたいとは思わない
3 参加していないが、今後参加したいと思う
4 参加していないし、今後参加したいとも思わない

→ (問21で「2」または「4」とお答えの方に)

問22 あなたが担い手（出演、神輿の担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない、又は参加したいと思わない理由はなんですか。 (○は3つまで)

1 仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから
2 仕事・育児・介護などで忙しく気力がわからないから
3 参加を申し込む連絡先が分からないから
4 参加者が予め決められているから（当番制、自治会役員等）
5 関係者との人付き合いが苦手だから
6 参加にかかる費用が高いから
7 知っているが興味がない、または楽しくないから
8 その他（具体的に

(すべての方に)

問23 あなたは、自分が住んでいる地域以外の伝統芸能に、担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加している、または参加したことがありますか。 (○は1つ)

1 参加している・参加したことがある	2 参加していない・参加したことがない
--------------------	---------------------

→ 10 ページ問 24 へお進みください

→ 10 ページ問 25 へお進みください



(問23で「1」とお答えの方に)

問24 参加している(参加した)理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- |   |                   |   |             |
|---|-------------------|---|-------------|
| 1 | その伝統芸能・祭りが好きだから   | 5 | 友人知人に頼まれたから |
| 2 | 面白そうだったから         | 6 | 自分の地域には無いから |
| 3 | たまたま訪れたら参加可能だったから | 7 | その他         |
| 4 | 友人知人に誘われたから       |   | (具体的に )     |

#### 【4 障害がある方の文化芸術活動について】

(すべての方に)

問25 県では、障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できることが大切だと考えていますが、県内でそのような鑑賞・参加ができる機会は十分だと思いますか。(〇は1つ)

- |   |    |   |      |   |       |
|---|----|---|------|---|-------|
| 1 | 思う | 2 | 思わない | 3 | わからない |
|---|----|---|------|---|-------|

問26 障害のある方による文化芸術活動のうち、あなたが興味のあるものはありますか。(〇はいくつでも)

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)  |
| 2  | 音楽(オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など)         |
| 3  | 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)                           |
| 4  | 映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など                      |
| 5  | 演劇(現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど)                                   |
| 6  | 舞踊(バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ストリートダンス、ジャズダンス、民俗舞踊、社交ダンス、日本舞踊など) |
| 7  | 伝統芸能(雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など)                                       |
| 8  | 演芸(落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など)                          |
| 9  | 生活文化(茶道、華道、書道、盆栽、食文化など)                                      |
| 10 | その他(具体的に )   |
| 11 | 興味のあるものはない   |

#### 【5 文化施設について】

問27 千葉県にある次の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |   |                 |    |                         |
|---|-----------------|----|-------------------------|
| 1 | 千葉県文化会館         | 9  | 県立中央博物館 大多喜城分館          |
| 2 | 東総文化会館          | 10 | 県立現代産業科学館               |
| 3 | 青葉の森公園芸術文化ホール   | 11 | 県立房総のむら                 |
| 4 | 南総文化ホール         | 12 | 県立関宿城博物館                |
| 5 | 県立美術館           | 13 | その他、文化ホール、美術館、博物館等の文化施設 |
| 6 | 県立中央博物館         |    | (具体的に )                 |
| 7 | 県立中央博物館 分館海の博物館 | 14 | 知っているものはない              |
| 8 | 県立中央博物館 大利根分館   |    |                         |

問28 千葉県にある次の文化施設のうち、あなたが行ったことのあるものはどれですか。  
(○はいくつでも)

- |                   |                                |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 千葉県文化会館         | 9 県立中央博物館 大多喜城分館               |
| 2 東総文化会館          | 10 県立現代産業科学館                   |
| 3 青葉の森公園芸術文化ホール   | 11 県立房総のむら                     |
| 4 南総文化ホール         | 12 県立関宿城博物館                    |
| 5 県立美術館           | 13 その他、文化ホール、美術館、<br>博物館等の文化施設 |
| 6 県立中央博物館         | (具体的に )                        |
| 7 県立中央博物館 分館海の博物館 | 14 行ったことのあるものはない               |
| 8 県立中央博物館 大利根分館   |                                |

### 【6 県が実施する事業等について】

問29 千葉県の文化芸術を振興するために、県が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。  
(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1 芸術家・文化人や文化団体の活動の支援                         |
| 2 若手芸術家・若手文化人の活動の支援                          |
| 3 文化施設などにおける地域の芸術家・文化人の積極的な活用                |
| 4 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実                       |
| 5 子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実                        |
| 6 文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実                 |
| 7 歴史的な建物や遺跡、文化芸術などを活かしたまちづくりの推進              |
| 8 地域の歴史的な建物や遺跡、文化芸術などの継承・保存                  |
| 9 地域の文化芸術に関わる情報の提供                           |
| 10 障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術を鑑賞できるサポートの充実      |
| 11 障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術活動に参加できるようなサポートの充実 |
| 12 その他 (具体的に )                               |

問30 県が取り組む文化施策等に対してご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。


以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 (○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

F 2 あなたは満何歳ですか。(令和6年4月1日時点) (○は1つ)

1 18～19歳	4 40～49歳	7 65～69歳
2 20～29歳	5 50～59歳	8 70～74歳
3 30～39歳	6 60～64歳	9 75歳以上

F 3 あなたのご職業は何ですか。 (○は1つ)

1 自営業者	4 主婦・主夫	7 無職
2 正規社員・職員	5 学生	
3 パート・アルバイト・契約社員	6 その他 ( )	

F 4 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。 (○は1つ)

1 千葉市	15 佐倉市	29 匝瑳市	43 勝浦市
2 市原市	16 四街道市	30 東金市	44 いすみ市
3 船橋市	17 八街市	31 山武市	45 夷隅郡大多喜町
4 市川市	18 印西市	32 大網白里市	46 夷隅郡御宿町
5 習志野市	19 白井市	33 山武郡九十九里町	47 館山市
6 八千代市	20 富里市	34 山武郡芝山町	48 鴨川市
7 浦安市	21 印旛郡酒々井町	35 山武郡横芝光町	49 南房総市
8 松戸市	22 印旛郡栄町	36 茂原市	50 安房郡鋸南町
9 野田市	23 香取市	37 長生郡一宮町	51 木更津市
10 柏市	24 香取郡神崎町	38 長生郡睦沢町	52 君津市
11 流山市	25 香取郡多古町	39 長生郡長生村	53 富津市
12 我孫子市	26 香取郡東庄町	40 長生郡白子町	54 袖ヶ浦市
13 鎌ヶ谷市	27 銚子市	41 長生郡長柄町	
14 成田市	28 旭市	42 長生郡長南町	

以上で質問はすべて終わりです。

最後までご協力いただき、ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、  
**7月12日(金)までに**、郵便ポストにご投函ください。  
なお、返信用封筒へのお名前やご住所の記入、切手は不要です。